

令和3年度 静岡市
自殺対策に関する市民意識調査
調査結果報告書



生きる！を支えるみんなの隊長 いきるん

令和4年3月

静岡市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	自殺の現状等について	9
(3)	悩みやストレスに関することについて	15
(4)	悩みやストレスに関することについて	51
(5)	本市自殺対策に必要な取組等について	71

I 調査の概要

1 調査の目的

静岡市自殺対策行動計画（第3期）の評価指標の評価を行うとともに、本市自殺対策の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

静岡市在住の20歳以上を5,000人無作為抽出

3 調査期間

令和3年9月17日から令和3年10月4日

4 調査方法

郵送による配布・回収（WEBによる回答も併用）

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
5,000通	1,927通	38.5%

6 調査結果の表示方法

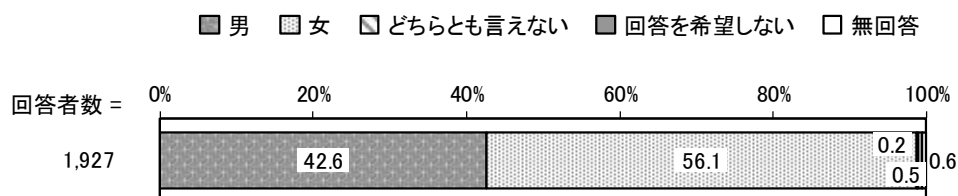
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

(1) 回答者属性

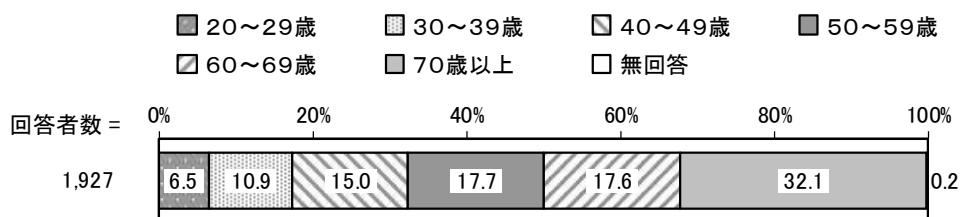
F 1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

「女」の割合が56.1%と最も高く、次いで「男」の割合が42.6%となっています。



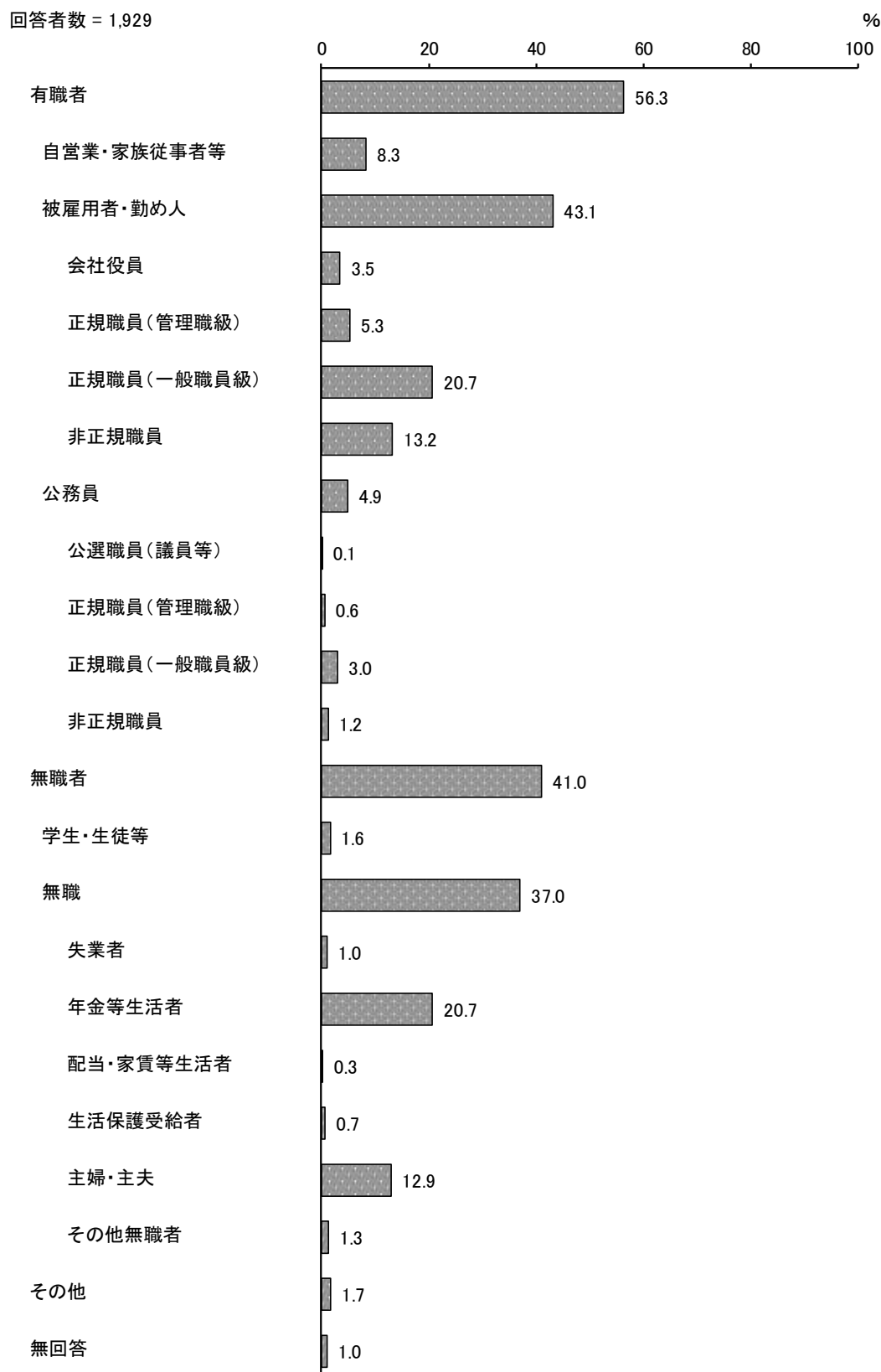
F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和3年8月1日現在)(1つに○)

「70歳以上」の割合が32.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が17.7%、「60～69歳」の割合が17.6%となっています。



**F 3 あなたのご職業はなんですか。複数ある場合は主たるものを回答ください。
(1つに○)**

「有職者」の割合が56.3%と最も高く、次いで「無職者」の割合が41.0%となっています。有職者の中では、「被雇用者・勤め人」の割合が43.1%と最も高く、無職者の中では、「無職」の割合が37.0%と最も高くなっています。



【生活のゆとり別】

生活のゆとり別でみると、他に比べ、生活にゆとりがあるで「被雇用者・勤め人」の割合が、生活にゆとりがないで「無職」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	生活にゆとりがある	ゆとりはないが生活できている	生活にゆとりがない	生活に困窮している	無回答
有職者	1086	30.2	61.9	6.2	1.4	0.4
自営業・家族従事者等	161	25.5	65.8	5.6	3.1	—
被雇用者・勤め人	831	29.6	62.2	6.5	1.2	0.5
会社役員	67	41.8	56.7	1.5	—	—
正規職員(管理職級)	102	38.2	55.9	2.9	2.9	—
正規職員(一般職員級)	399	33.3	60.2	5.5	0.3	0.8
非正規職員	255	17.3	69.4	10.6	2.4	0.4
公務員	94	43.6	52.1	4.3	—	—
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	12	50.0	50.0	—	—	—
正規職員(一般職員級)	58	50.0	44.8	5.2	—	—
非正規職員	24	25.0	70.8	4.2	—	—
無職者	791	21.4	67.3	8.5	1.6	1.3
学生・生徒等	30	50.0	46.7	—	3.3	—
無職	713	20.2	67.6	9.3	1.7	1.3
失業者	19	—	68.4	21.1	10.5	—
年金等生活者	400	16.5	72.0	9.3	1.3	1.0
配当・家賃等生活者	6	33.3	66.7	—	—	—
生活保護受給者	14	—	21.4	57.1	21.4	—
主婦・主夫	249	28.1	63.9	5.6	0.4	2.0
その他無職者	25	24.0	60.0	12.0	4.0	—
その他	32	25.0	53.1	6.3	15.6	—

【新型コロナウイルスの影響別】

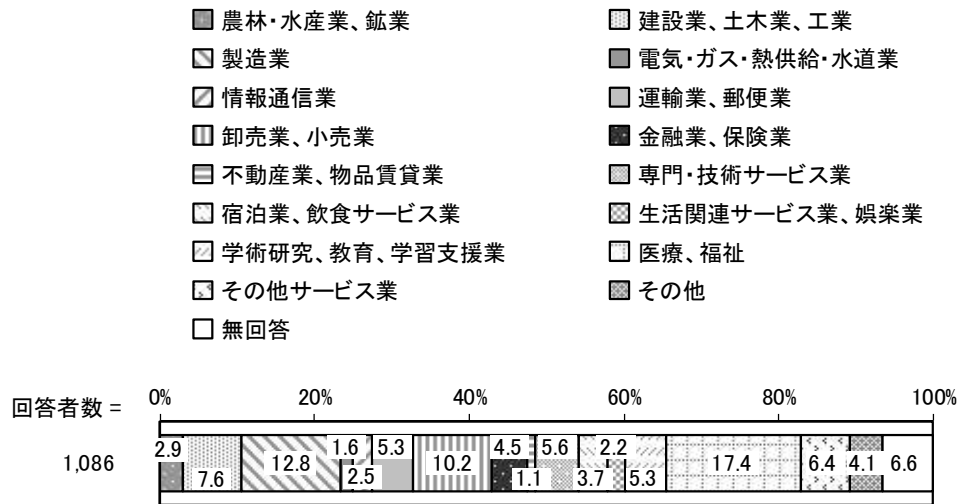
新型コロナウイルスの影響別でみると、他に比べ、大いに影響があったで「自営業・家族従事者等」の割合が、さほど影響なかったで「無職」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	大いに影響があった	影響があった	さほど影響なかった	無回答
有職者	1086	18.1	39.4	42.3	0.2
自営業・家族従事者等	161	26.1	37.9	36.0	—
被雇用者・勤め人	831	17.2	39.4	43.2	0.2
会社役員	67	28.4	41.8	28.4	1.5
正規職員(管理職級)	102	14.7	41.2	44.1	—
正規職員(一般職員級)	399	15.8	40.9	43.1	0.3
非正規職員	255	17.3	34.9	47.8	—
公務員	94	12.8	42.6	44.7	—
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	12	8.3	41.7	50.0	—
正規職員(一般職員級)	58	13.8	43.1	43.1	—
非正規職員	24	12.5	41.7	45.8	—
無職者	791	12.0	35.4	50.4	2.1
学生・生徒等	30	16.7	40.0	43.3	—
無職	713	11.9	35.5	50.2	2.4
失業者	19	26.3	31.6	42.1	—
年金等生活者	400	9.0	32.8	56.0	2.3
配当・家賃等生活者	6	—	33.3	66.7	—
生活保護受給者	14	28.6	35.7	35.7	—
主婦・主夫	249	14.9	39.8	42.2	3.2
その他無職者	25	12.0	40.0	48.0	—
その他	32	25.0	15.6	53.1	6.3

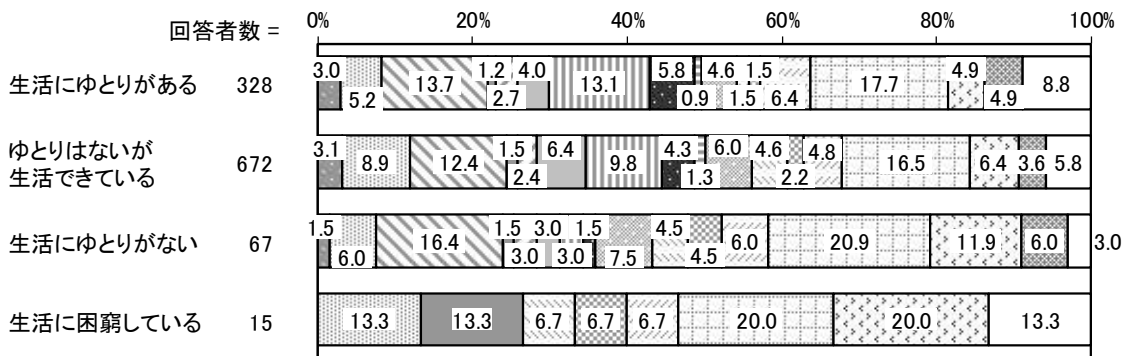
**F 3-1 あなたの業種は何ですか。複数ある場合は主たるものを回答してください。
(1つに○)**

「医療、福祉」の割合が17.4%と最も高く、次いで「製造業」の割合が12.8%、「卸売業、小売業」の割合が10.2%となっています。



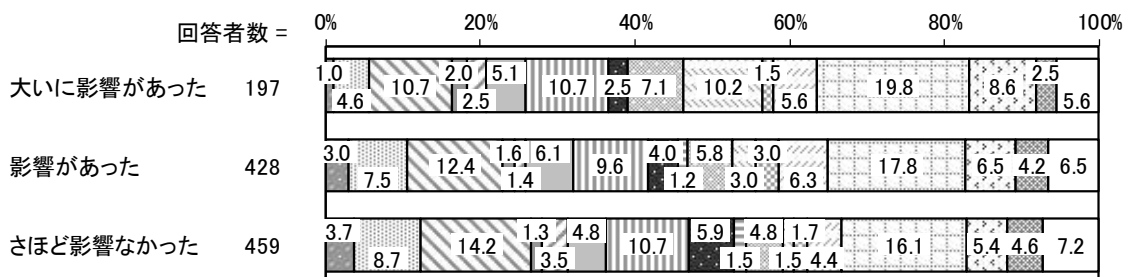
【生活のゆとり別】

生活のゆとり別でみると、他に比べ、生活にゆとりがあるで「卸売業、小売業」の割合が、生活にゆとりがないで「製造業」の割合が高くなっています。また、生活に困窮しているで「電気・ガス・熱供給・水道業」の割合が高くなっています。



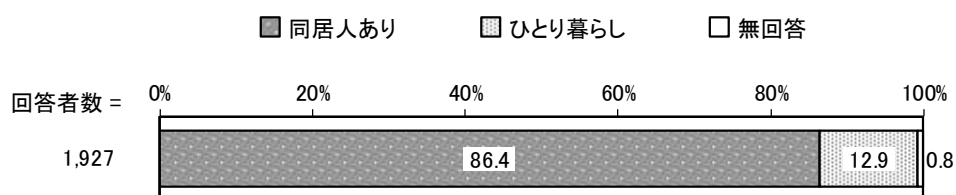
【新型コロナウイルスの影響別】

新型コロナウイルスの影響別でみると、他に比べ、大いに影響があったで「宿泊業、飲食サービス業」の割合が高くなっています。



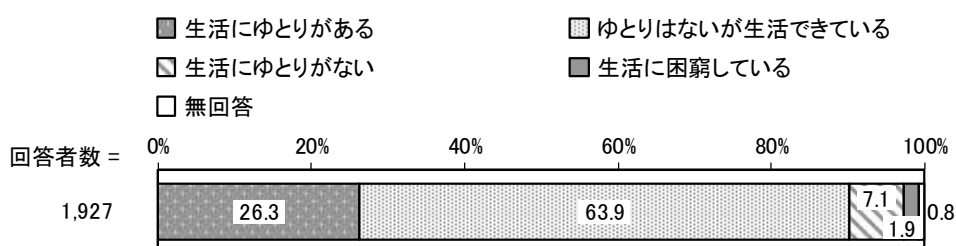
F 4 あなたの世帯構成を教えてください。(1つに○)

「同居人あり」の割合が86.4%、「ひとり暮らし」の割合が12.9%となっています。



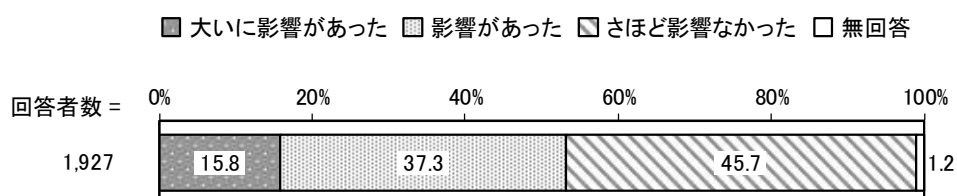
F 5 あなたの生活について教えてください(1つに○)

「ゆとりはないが生活できている」の割合が63.9%と最も高く、次いで「生活にゆとりがある」の割合が26.3%となっています。



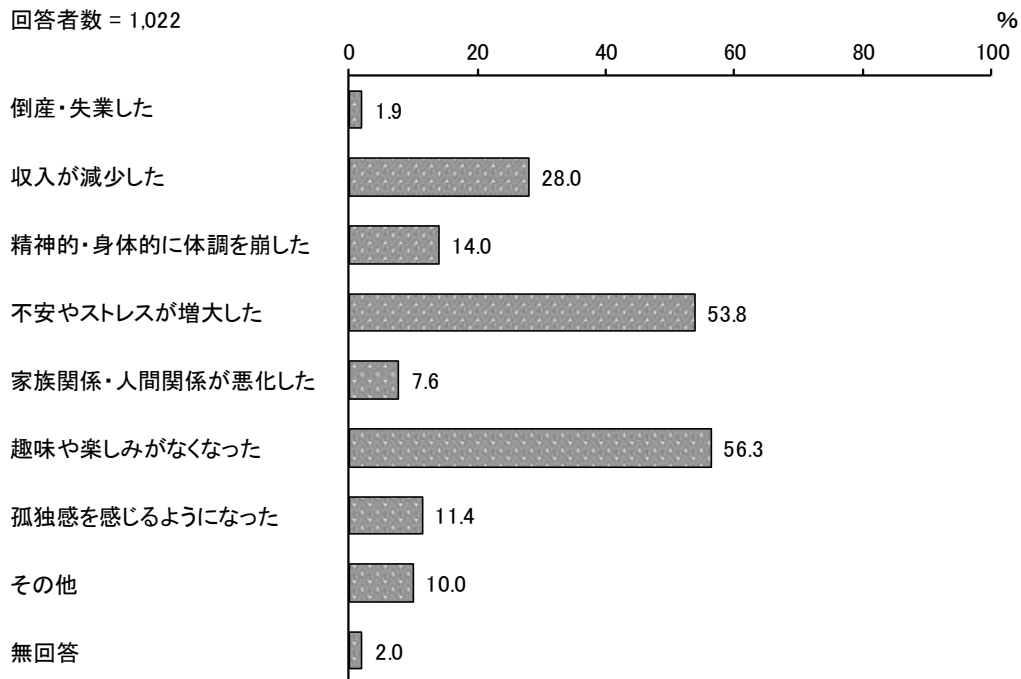
F 6 新型コロナウイルス感染症の生活への影響について教えてください。(1つに○)

「さほど影響なかった」の割合が45.7%と最も高く、次いで「影響があった」の割合が37.3%、「大いに影響があった」の割合が15.8%となっています。



F 6 - 1 具体的にどういった影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

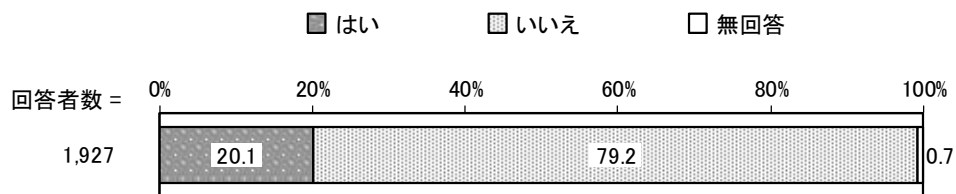
「趣味や楽しみがなくなった」の割合が56.3%と最も高く、次いで「不安やストレスが増大した」の割合が53.8%、「収入が減少した」の割合が28.0%となっています。



(2) 自殺の現状等について

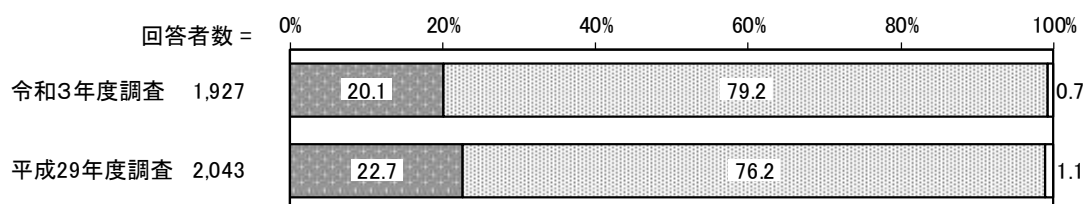
問1 静岡市では、毎年100人以上の方々が自殺により尊い命を落とされている現状です。あなたは、このような状況を知っていましたか。(1つに○)

「はい」の割合が20.1%、「いいえ」の割合が79.2%となっています。



【経年比較】

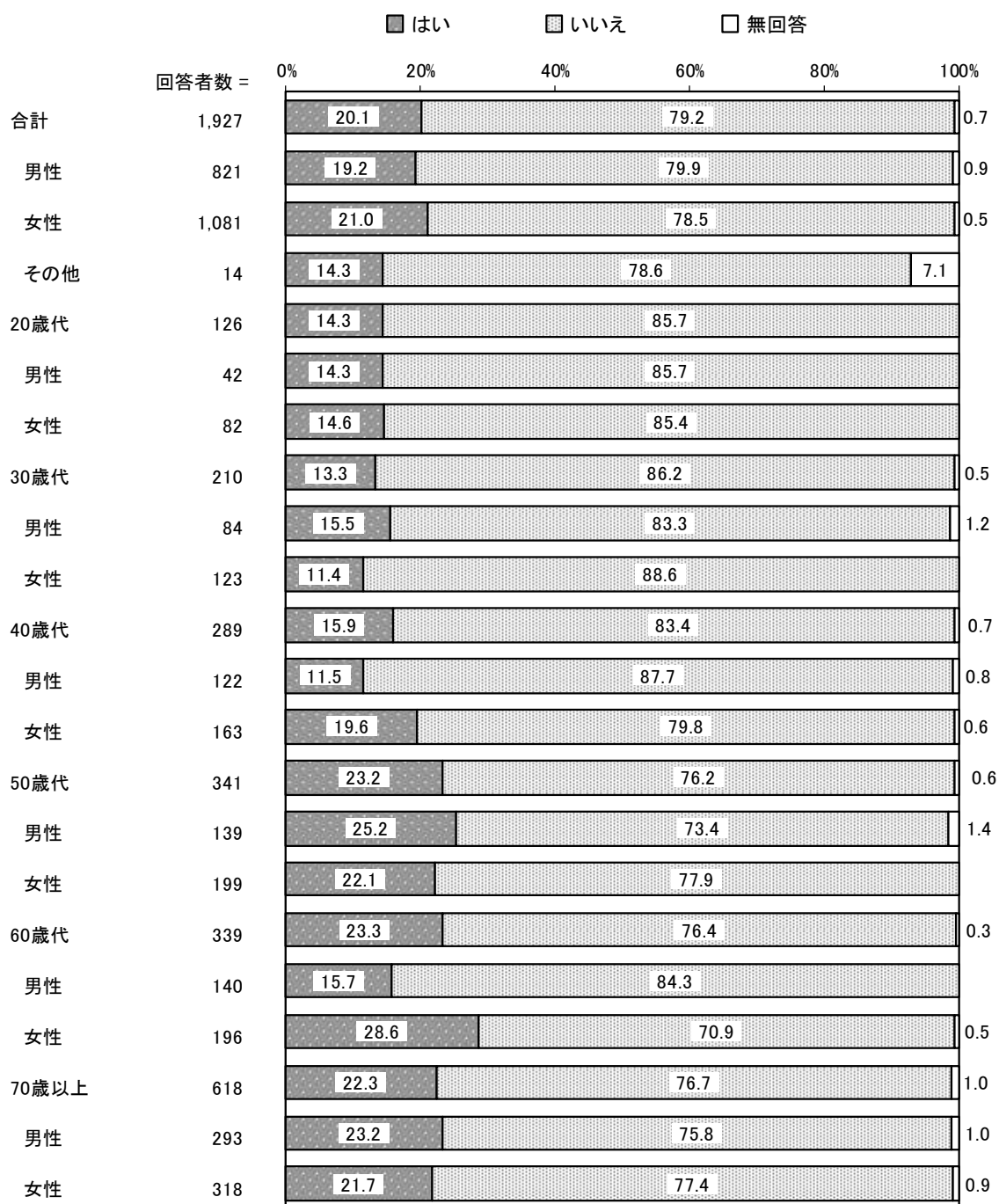
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

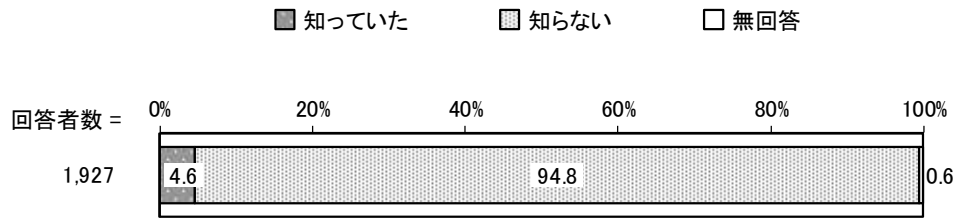
性別で見ると、大きな差異はみられません。

年齢別で見ると、他に比べ、50歳代、60歳代、70歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



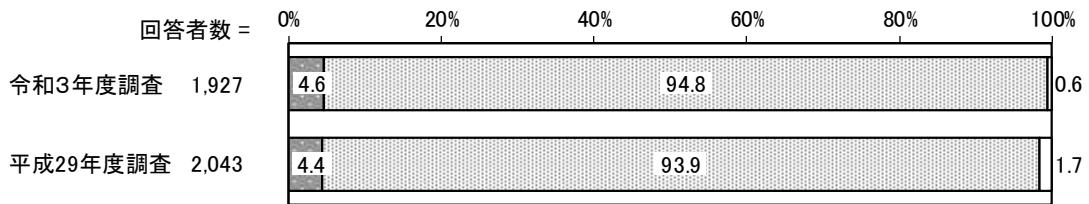
問2 あなたは、静岡市の自殺対策啓発キャラクター「生きる！を支えるみんなの隊長いきるん」を知っていますか。（1つに○）

「知らない」の割合が94.8%、「知っていた」の割合が4.6%となっています。



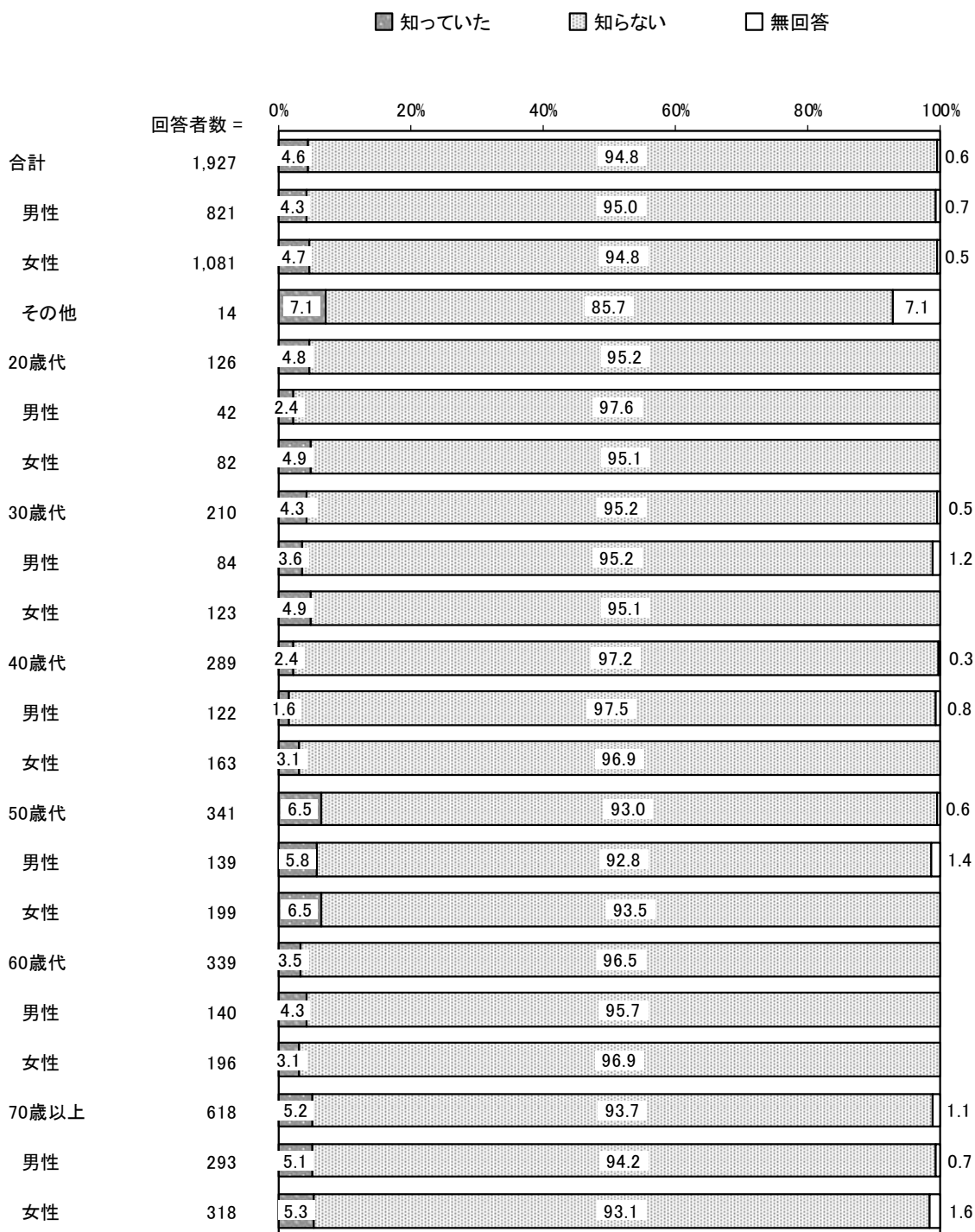
【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



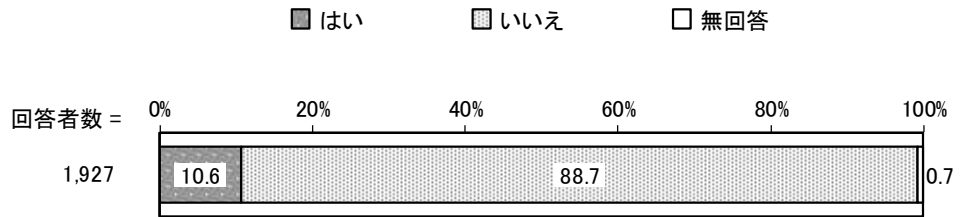
【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。
 年齢別でみると、大きな差異はみられません。



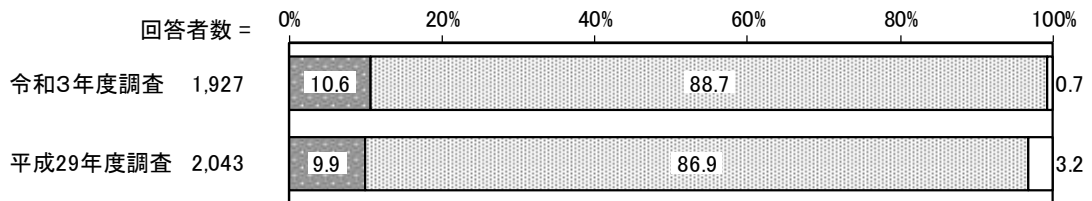
問3 あなたは、「ゲートキーパー」について聞いたことがありますか。(1つに○)

「はい」の割合が10.6%、「いいえ」の割合が88.7%となっています。



【経年比較】

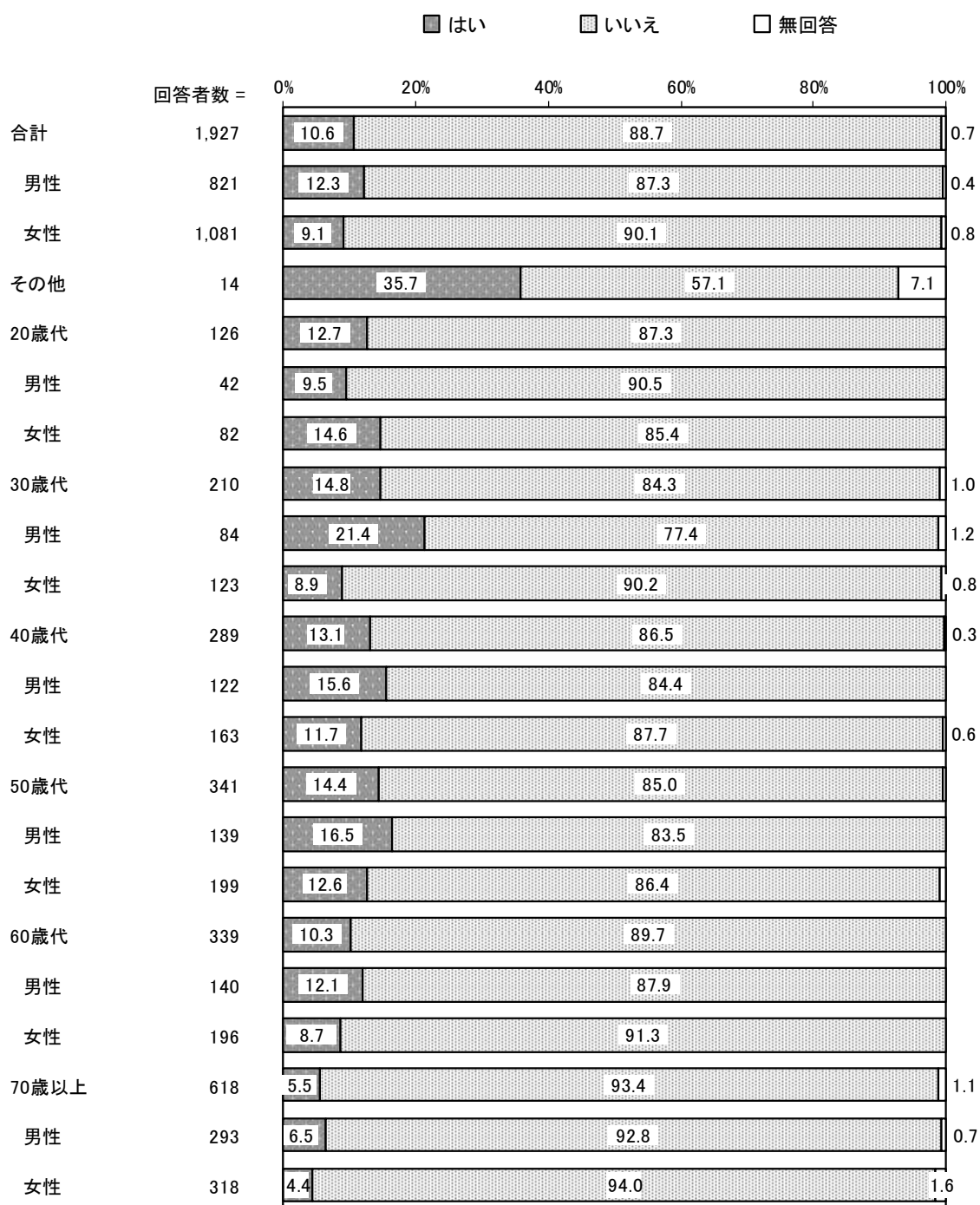
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

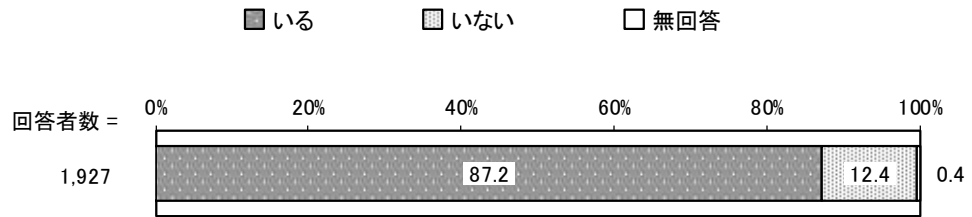
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



(3) 悩みやストレスに関することについて

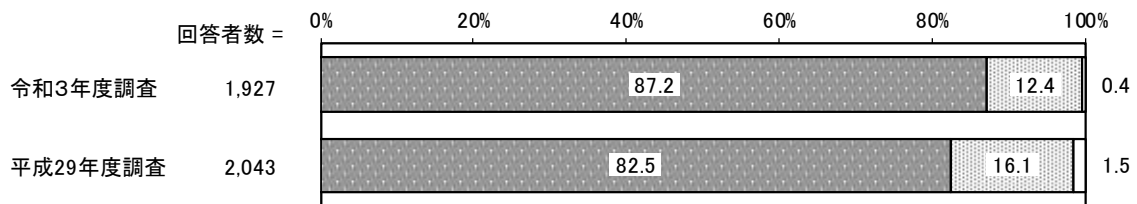
問4 あなたには、普段から何気ない日常会話や悩みを相談できる相手がありますか。
(1つに○)

「いる」の割合が87.2%、「いない」の割合が12.4%となっています。



【経年比較】

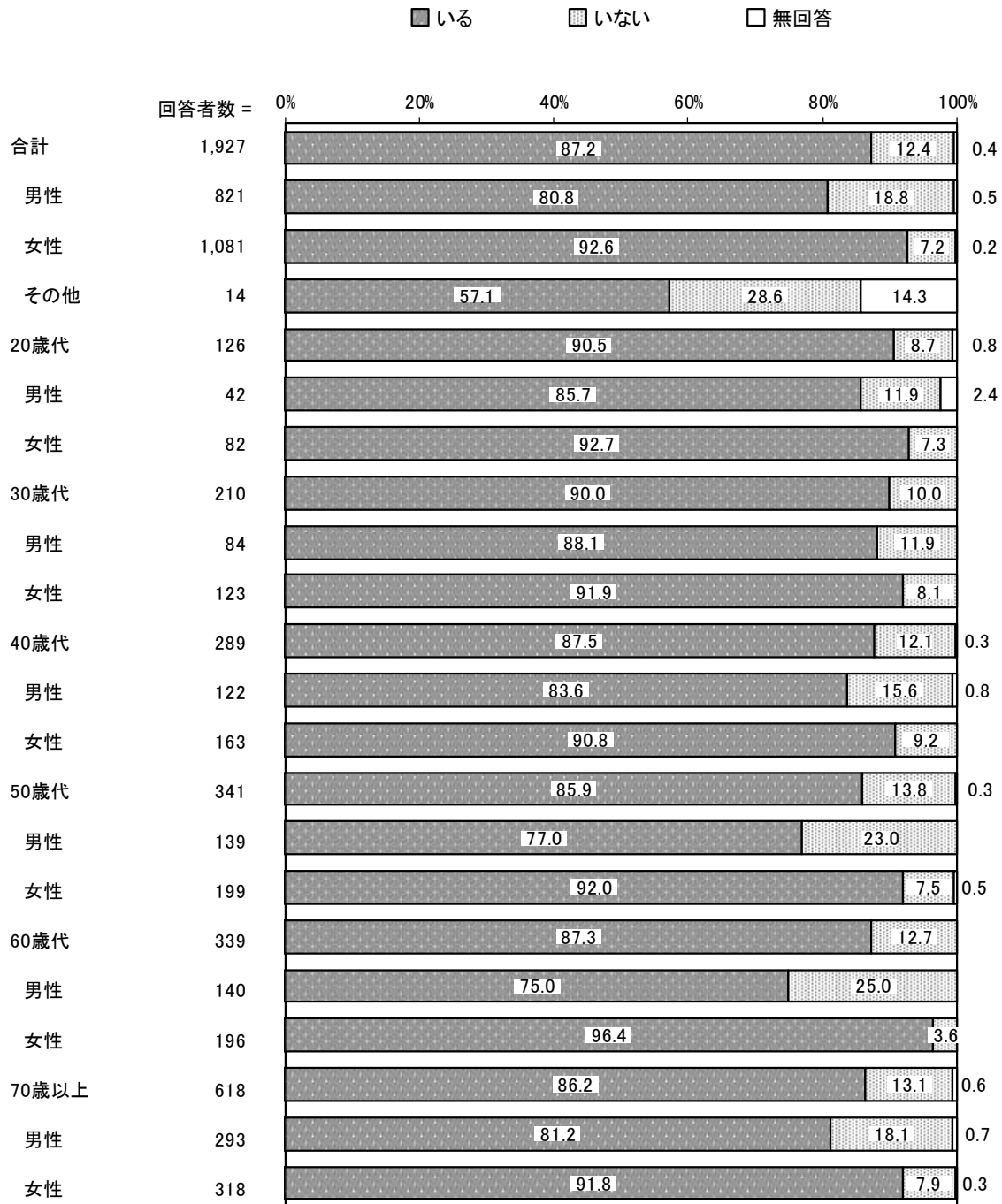
平成29年度調査と比較すると、「いる」と回答した方がやや増加しました。



【性別・年齢別】

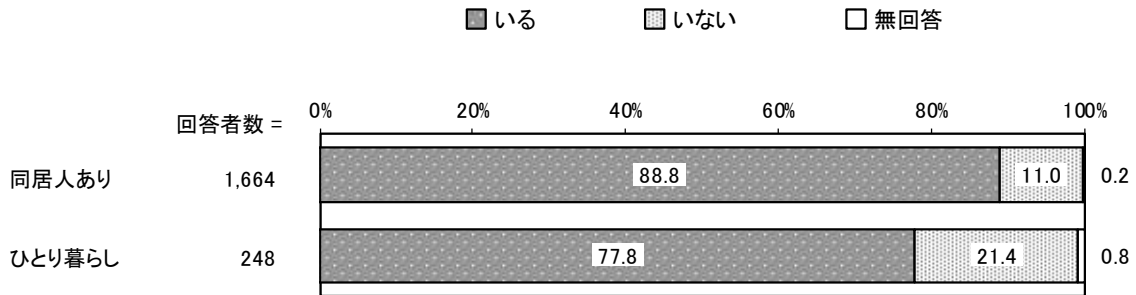
性別でみると、男性に比べ、女性で「いる」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「いる」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

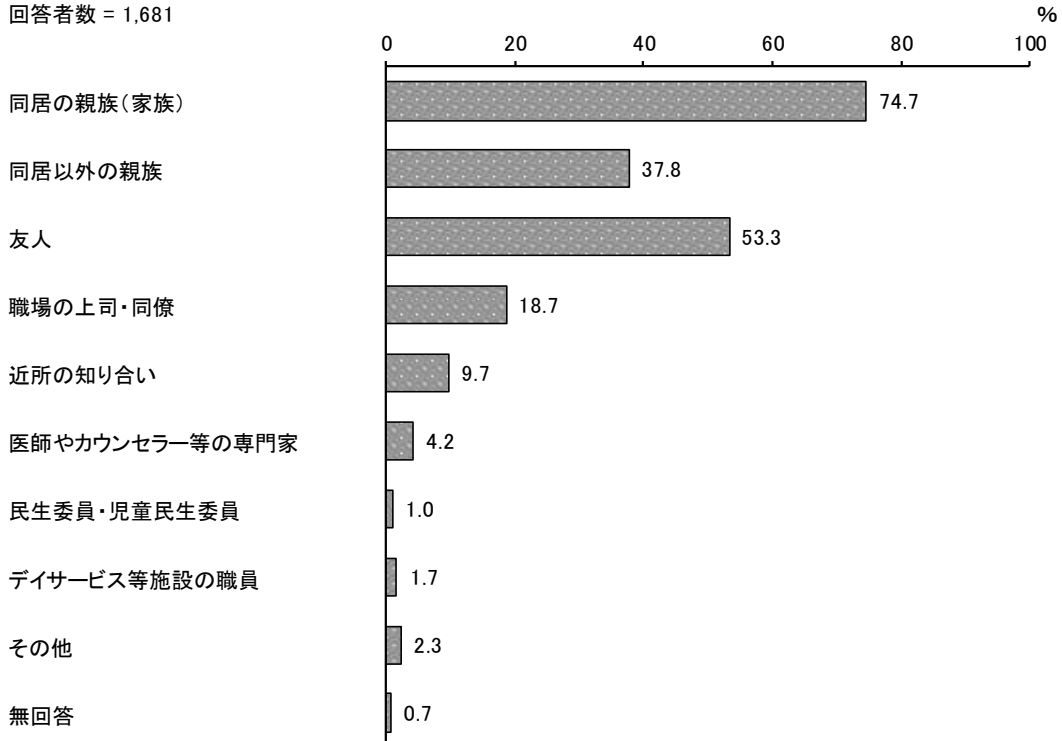
世帯構成別でみると、他に比べ、同居人ありで「いる」の割合が、ひとり暮らしで「いない」の割合が高くなっています。



問4で「1. いる」と答えた方にお聞きします。

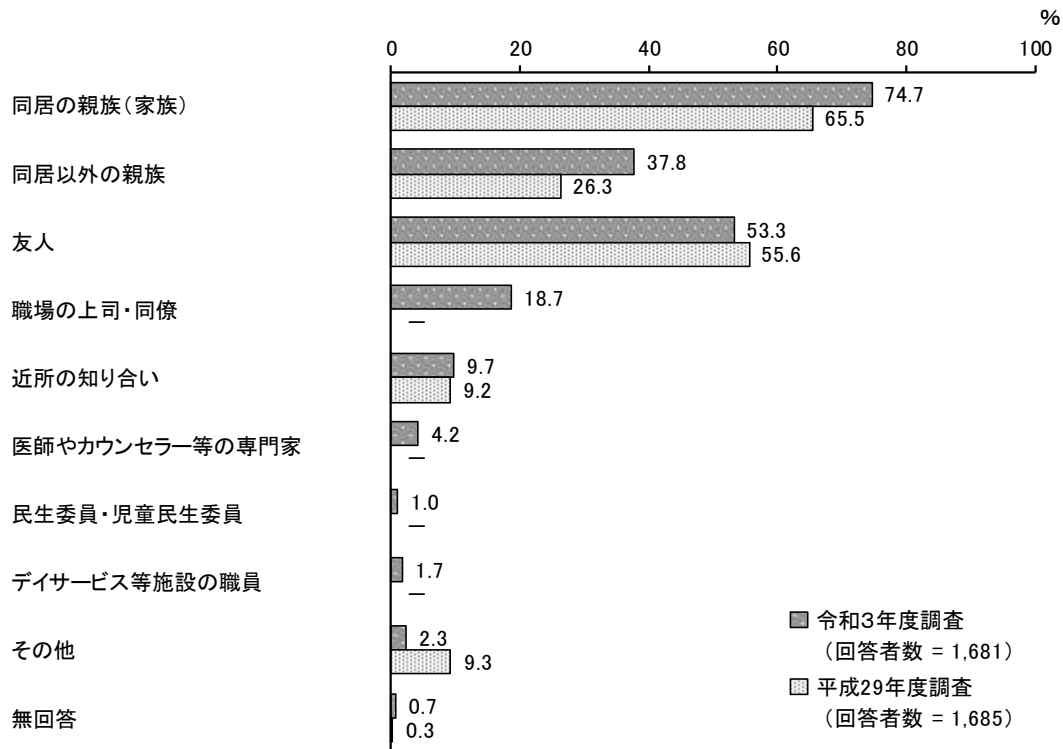
問4-1 その相手はどのような人ですか。(あてはまるものすべてに○)

「同居の親族(家族)」の割合が74.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が53.3%、「同居以外の親族」の割合が37.8%となっています。



【経年比較】

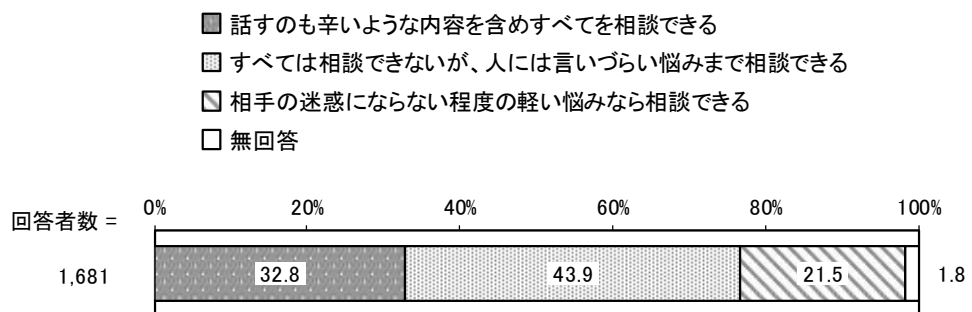
平成 29 年度調査と比較すると、「同居の親族（家族）」「同居以外の親族」の割合が増加しています。



※平成 29 年度調査では、「職場の上司・同僚」「医師やカウンセラー等の専門家」「民生委員・児童民生委員」「デイサービス等施設の職員」の選択肢はありませんでした。

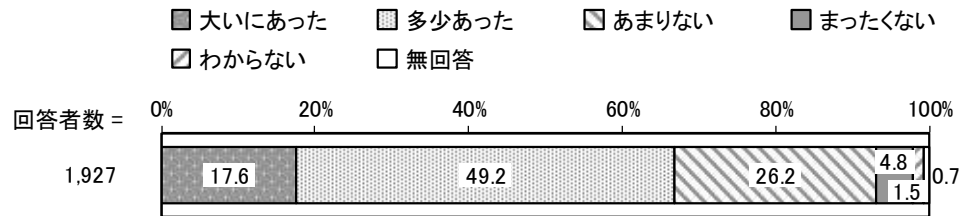
問 4-2 その相手にどの程度の悩みまで相談することができますか。相手によって異なる場合は、あなたが最も信頼できる相手について回答してください。(1つに○)

「すべては相談できないが、人には言いづらい悩みまで相談できる」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「話すのも辛いような内容を含めすべてを相談できる」の割合が 32.8%、「相手の迷惑にならない程度の軽い悩みなら相談できる」の割合が 21.5%となっています。



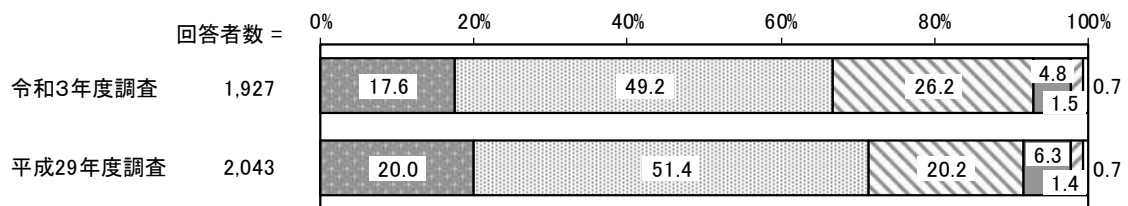
問5 あなたは、この1か月間に日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどがありましたか。(1つに〇)

「大いにあった」と「多少あった」をあわせた“あった”の割合が66.8%と最も高く、「あまりない」と「まったくない」をあわせた“ない”の割合が31.0%となっています。



【経年比較】

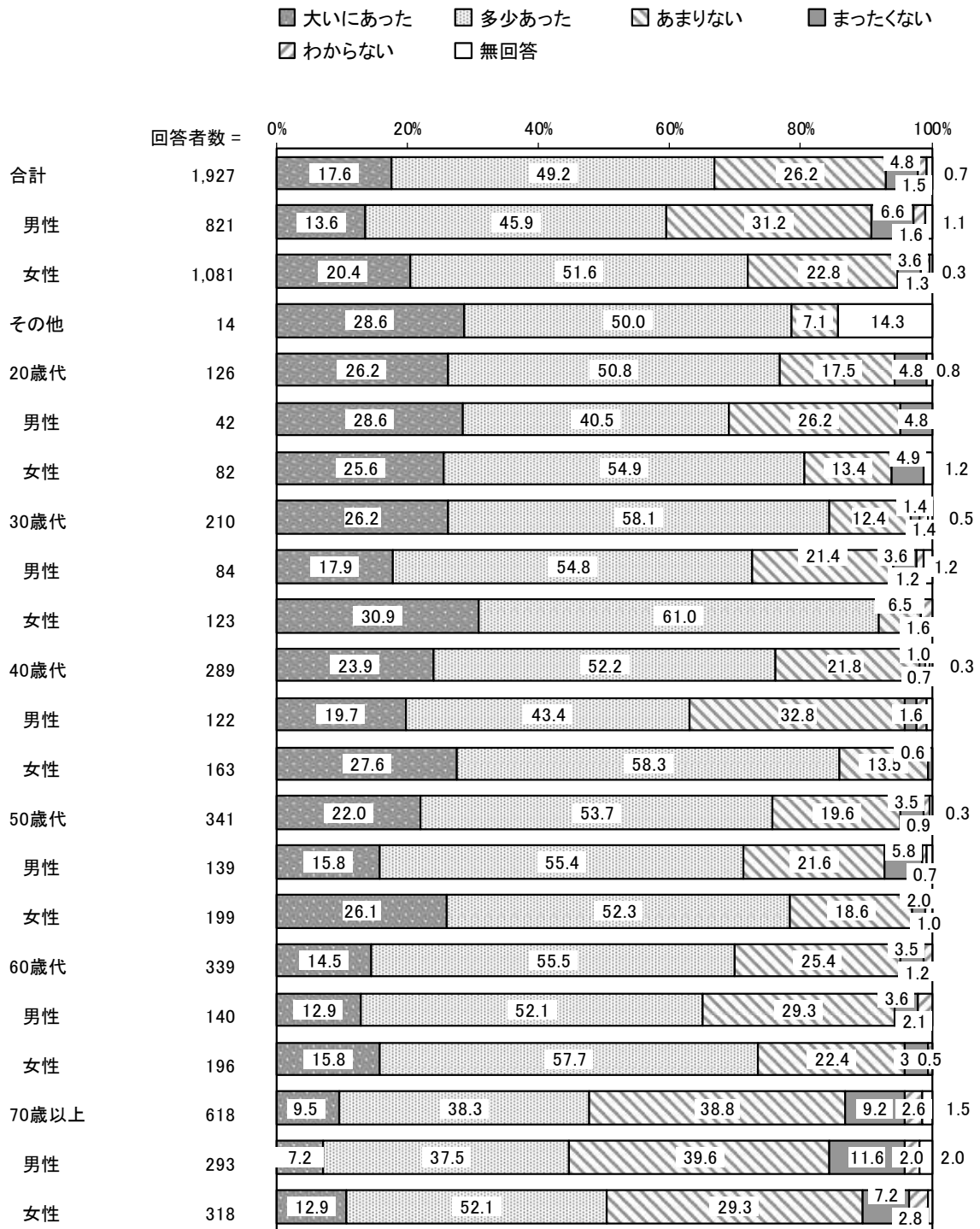
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

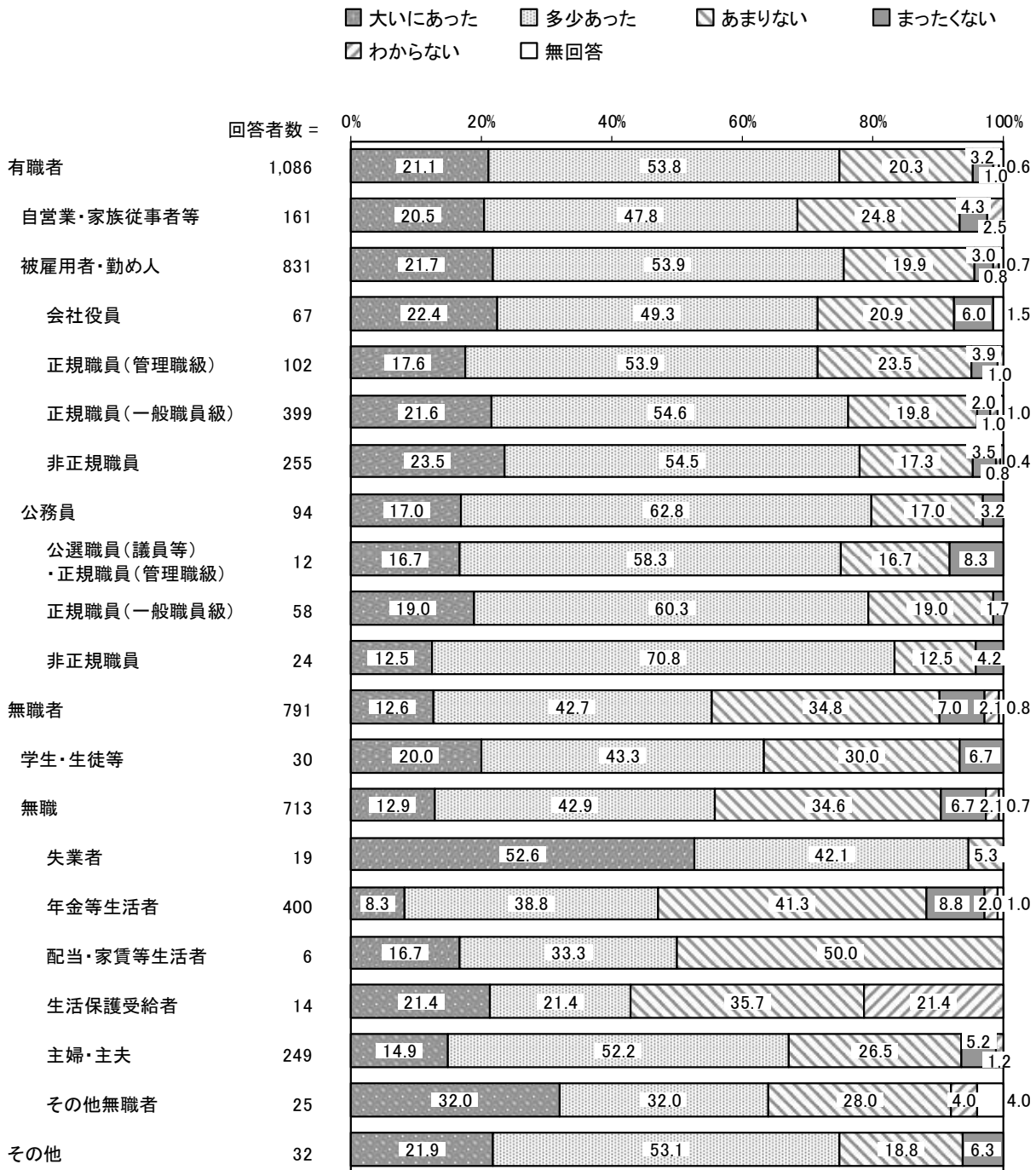
性別でみると、他に比べ、その中で“あった”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“あった”の割合が高くなっています。



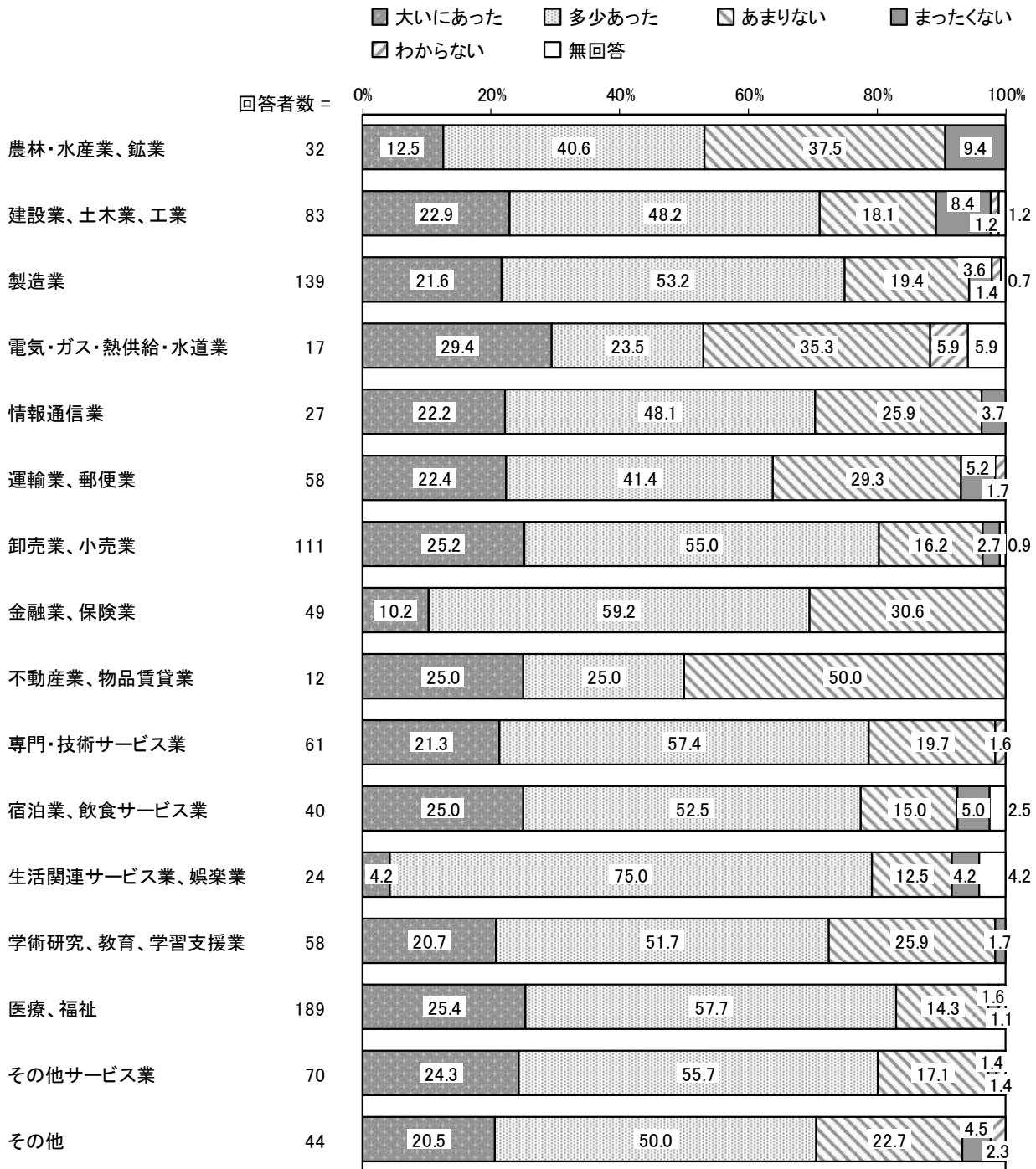
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、公務員の非正規職員で“あった”の割合が、年金等生活者で“ない”の割合が高くなっています。



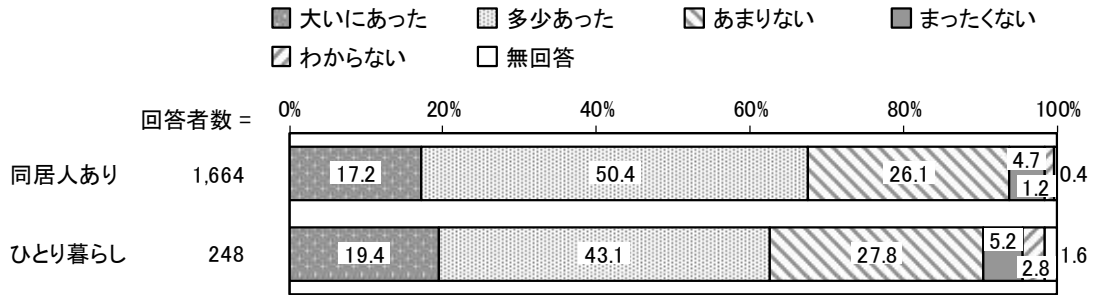
【職種別】

職種別でみると、他に比べ、卸売業、小売業、医療、福祉で“あった”の割合が、農林・水産業、鉱業、不動産業、物品賃貸業で“なかった”の割合が高くなっています。



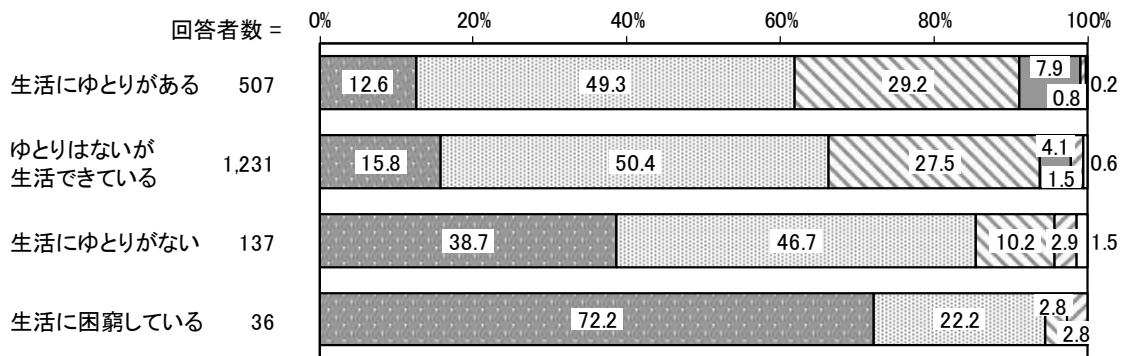
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、同居人ありで“あった”の割合が高くなっています。



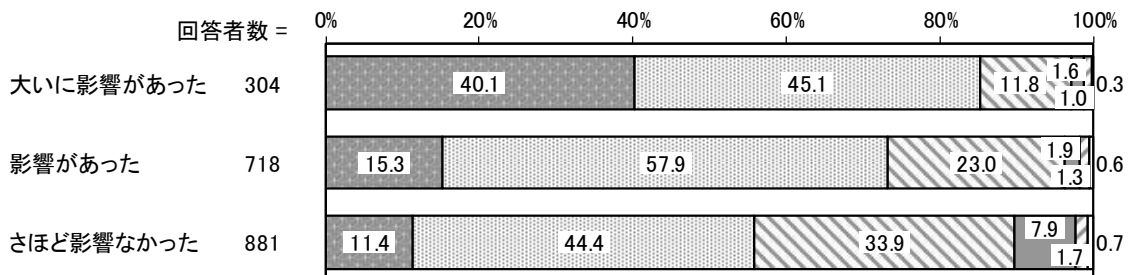
【生活のゆとり別】

生活のゆとり別で見ると、他に比べ、生活にゆとりがあるで“ない”の割合が、生活に困窮しているで“あった”の割合が高くなっています。



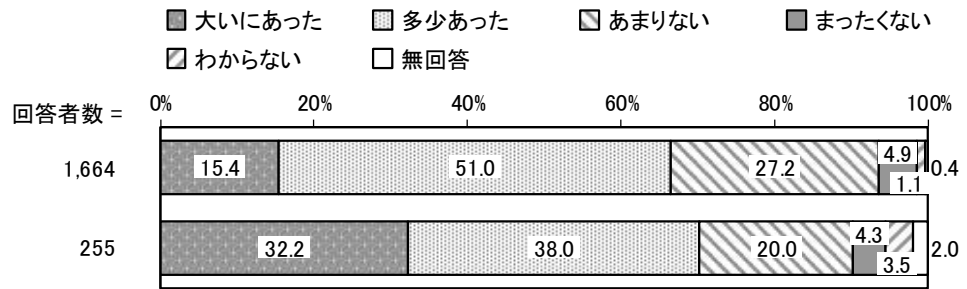
【新型コロナウイルスの影響別】

新型コロナウイルスの影響別で見ると、他に比べ、大いに影響があったで“あった”の割合が、さほど影響なかったで“ない”の割合が高くなっています。



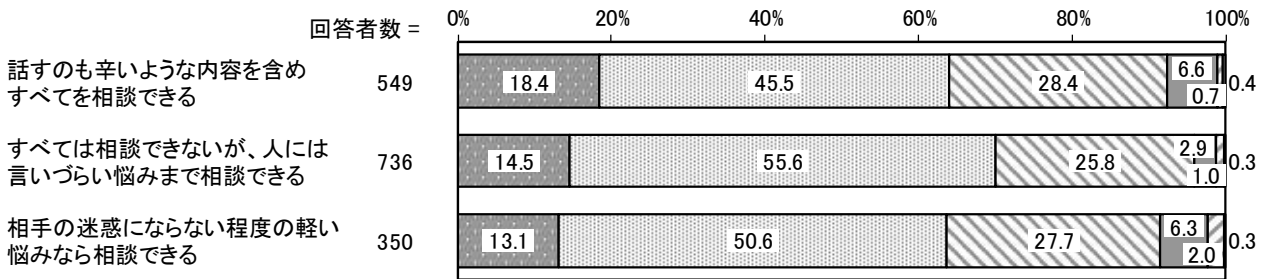
【相談できる相手の有無別】

相談できる相手の有無別でみると、他に比べ、いるで“ない”の割合が高くなっています。



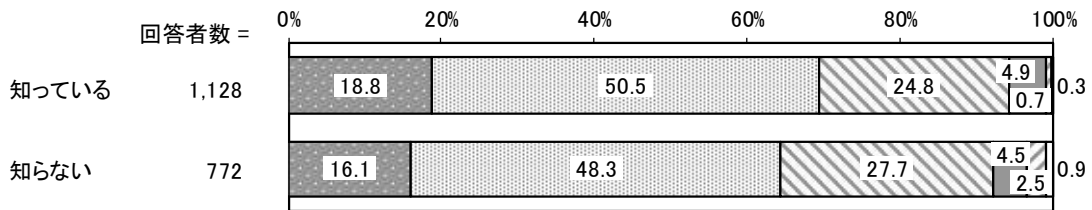
【相談できる程度別】

相談できる程度別でみると、他に比べ、すべては相談できないが、人には言いづらい悩みまで相談できるで“あった”の割合が高くなっています。



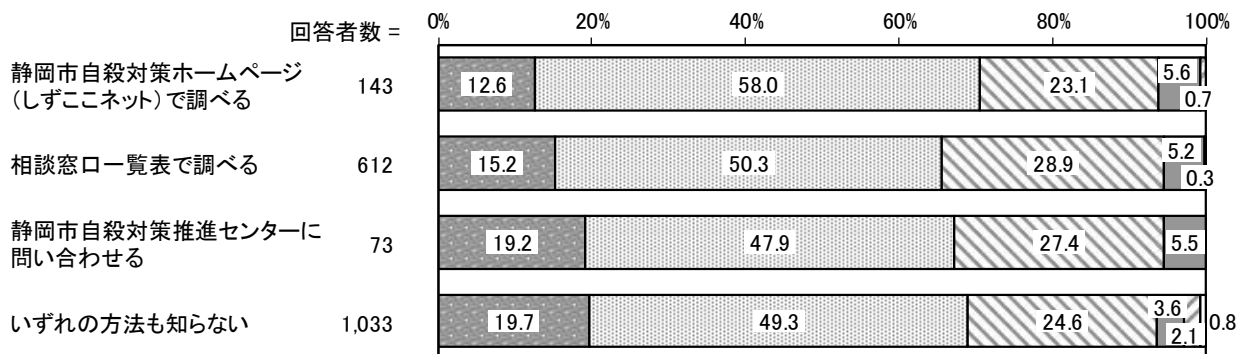
【相談機関の認知度別】

相談機関の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



【相談先の調べ方の認知度別】

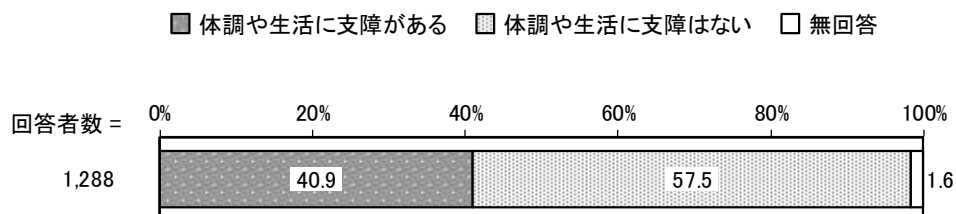
相談先の調べ方の認知度別でみると、他に比べ、静岡市自殺対策ホームページ（しずここネット）で調べるで“あった”の割合が高くなっています。



問5で「1. 大いにあった」、「2. 多少あった」と答えた方にお聞きします。

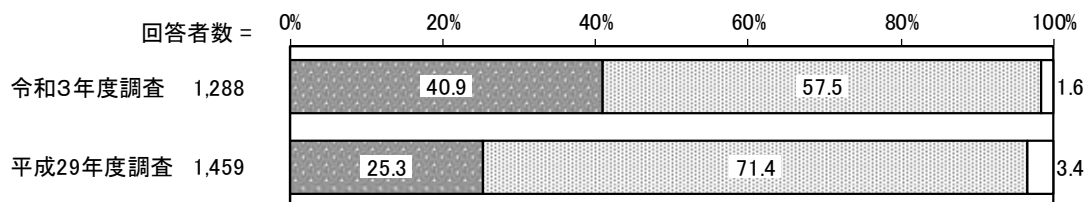
問5-1 その悩みやストレスなどは体調や生活に支障があるものですか。(1つに○)

「体調や生活に支障がある」の割合が40.9%、「体調や生活に支障はない」の割合が57.5%となっています。



【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、「体調や生活に支障がある」の割合が増加しています。一方、「体調や生活に支障はない」の割合が減少しています。

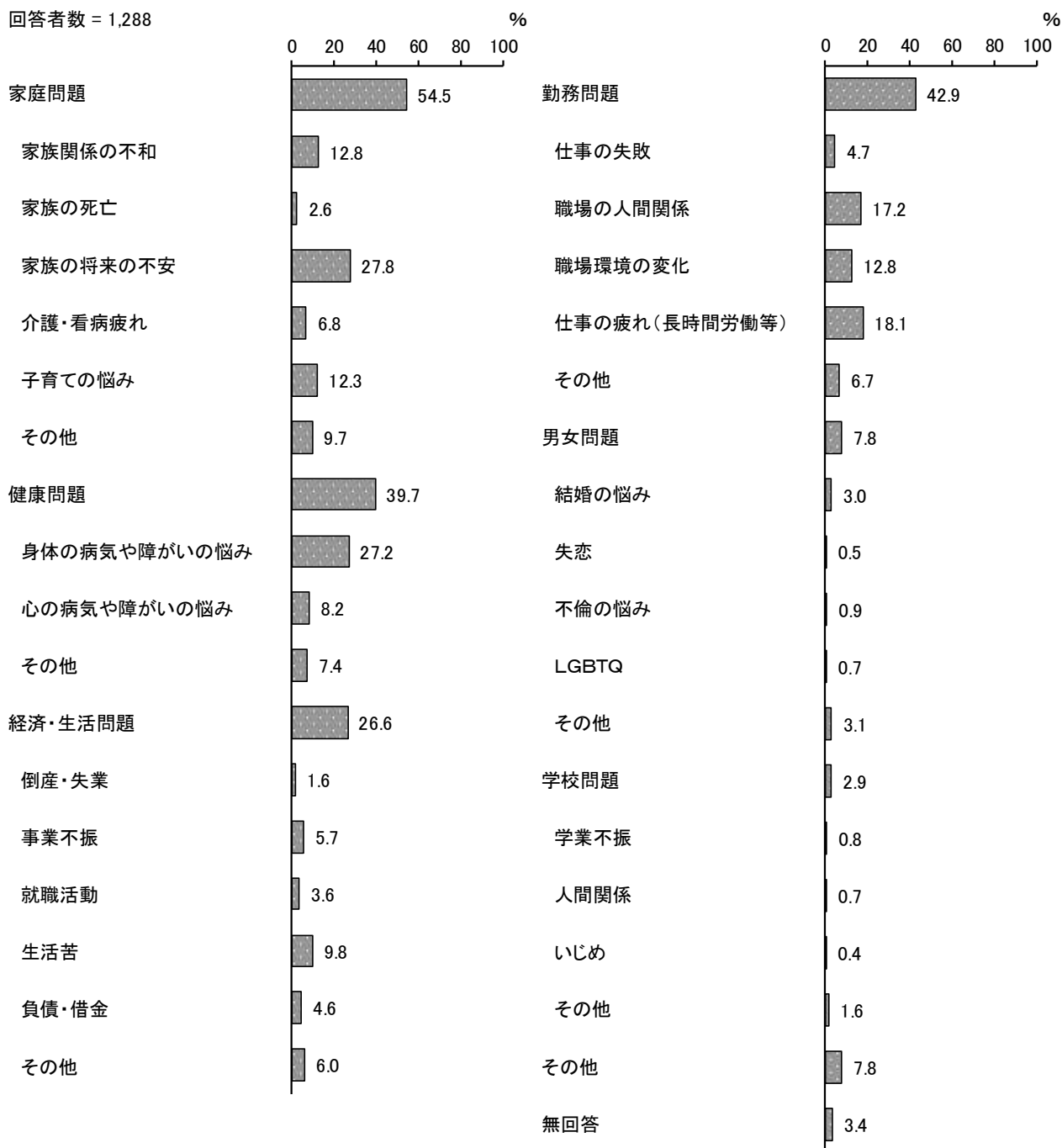


※平成29年度調査では、「Q9-1 その悩みやストレスなどは適度なもの（体調や生活に支障をきたさない程度のもの）ですか。(1つに○)」の設問に対し「適度である」「適度ではない」の選択肢だったため、本年度調査での「体調や生活に支障がある（＝適度ではない）」「体調や生活に支障はない（＝適切である）」にあてはめて比較しています。

問5-2 それは、どのような事柄が原因ですか。(あてはまるものすべてに○)

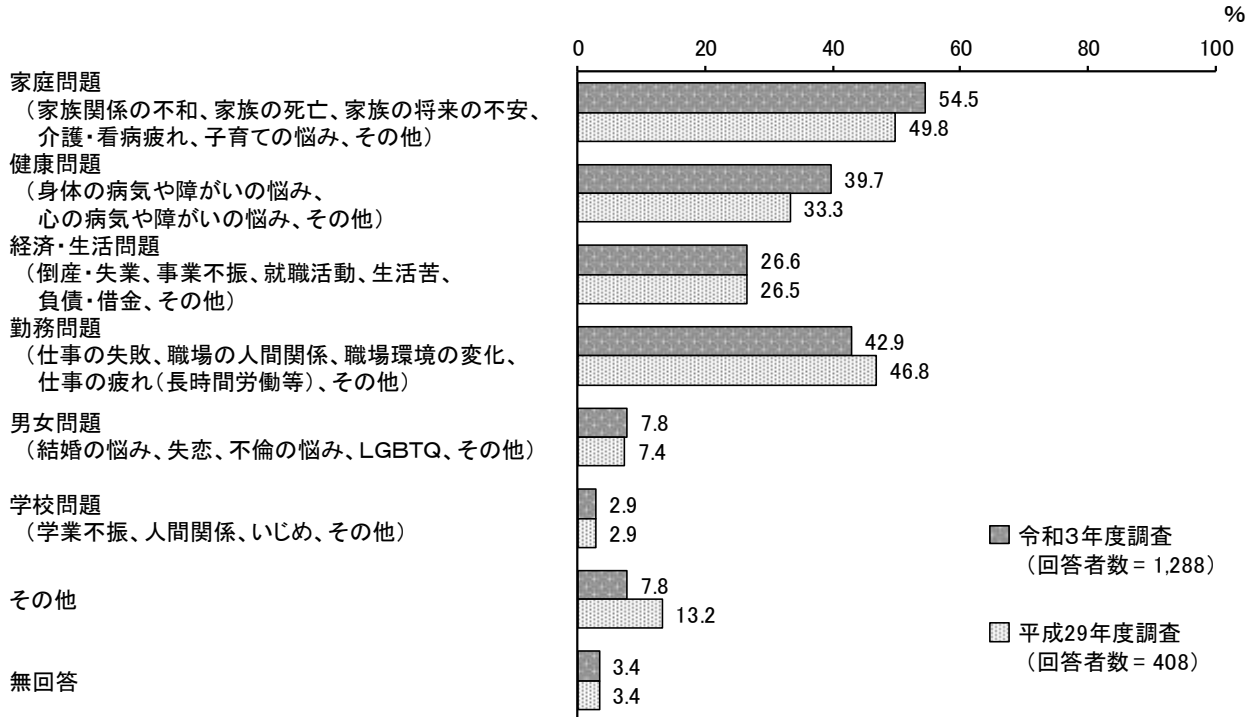
「家庭問題」の割合が54.5%と最も高く、次いで「勤務問題」の割合が42.9%、「健康問題」の割合が39.7%となっています。

回答者数 = 1,288



【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、「健康問題（身体の病気や障がいの悩み、心の病気や障がいの悩み、その他）」の割合が増加しています。



【性別・年齢別】

性別でみると、他に比べ、女性で「子育ての悩み」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「家族関係の不和」の割合が、60歳代、70歳以上で「家族の将来の不安」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭問題	家族関係の不和	家族の死亡	家族の将来の不安	介護・看病疲れ	子育ての悩み	その他	健康問題	身体の病気や障がいの悩み	心の病気や障がいの悩み	その他
合計	1288	54.5	12.8	2.6	27.8	6.8	12.3	9.7	39.7	27.2	8.2	7.4
男性	489	47.4	10.0	2.5	26.8	4.1	8.2	8.8	39.1	28.6	8.0	5.7
女性	779	58.5	14.8	2.6	28.1	8.5	14.8	10.3	39.9	26.1	8.3	8.5
その他	11	54.5	9.1	—	18.2	—	9.1	18.2	45.5	27.3	9.1	9.1
20歳代	97	40.2	10.3	3.1	17.5	1.0	13.4	8.2	30.9	19.6	11.3	7.2
男性	29	27.6	10.3	3.4	13.8	—	3.4	6.9	20.7	13.8	3.4	6.9
女性	66	45.5	10.6	3.0	19.7	1.5	16.7	9.1	36.4	22.7	15.2	7.6
30歳代	177	54.2	14.1	0.6	24.3	2.3	29.9	10.7	22.0	13.0	12.4	2.3
男性	61	45.9	9.8	1.6	23.0	1.6	21.3	9.8	26.2	14.8	23.0	—
女性	113	58.4	15.9	—	25.7	2.7	34.5	11.5	18.6	11.5	6.2	3.5
40歳代	220	55.5	15.0	1.8	24.1	4.1	27.3	7.7	30.9	16.8	10.0	6.8
男性	77	49.4	19.5	2.6	20.8	3.9	18.2	6.5	24.7	16.9	3.9	5.2
女性	140	57.9	12.9	1.4	25.0	4.3	32.1	7.9	34.3	16.4	13.6	7.9
50歳代	258	52.3	15.5	1.9	25.6	8.5	7.4	11.2	32.6	21.7	8.1	5.4
男性	99	38.4	8.1	3.0	18.2	4.0	8.1	7.1	26.3	17.2	7.1	4.0
女性	156	62.2	20.5	1.3	30.8	11.5	7.1	14.1	36.5	24.4	9.0	6.4
60歳代	237	57.0	11.8	3.4	31.6	9.3	4.2	9.7	43.9	30.8	5.1	9.3
男性	91	46.2	7.7	1.1	29.7	4.4	4.4	7.7	41.8	26.4	4.4	9.9
女性	144	63.2	14.6	4.9	32.6	12.5	4.2	10.4	45.8	34.0	5.6	9.0
70歳以上	296	58.4	9.8	4.4	34.5	9.8	1.0	9.8	62.5	47.6	6.1	11.1
男性	131	59.5	7.6	3.1	39.7	6.1	—	12.2	65.6	55.7	7.6	6.9
女性	160	56.9	11.9	4.4	29.4	12.5	1.9	8.1	59.4	40.6	4.4	14.4

次ページへつづく

単位：%

区分	経済・生活問題	倒産・失業	事業不振	就職活動	生活苦	負債・借金	その他	勤務問題	仕事の失敗	職場の人間関係	職場環境の変化	仕事の疲れ（長時間労働等）	その他
合計	26.6	1.6	5.7	3.6	9.8	4.6	6.0	42.9	4.7	17.2	12.8	18.1	6.7
男性	30.3	2.2	8.0	3.3	9.2	5.3	6.3	51.3	4.9	17.8	17.6	23.1	7.2
女性	24.3	1.3	4.2	3.9	9.9	4.0	5.8	37.6	4.6	16.7	9.9	15.3	6.2
その他	27.3	—	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	—	27.3	9.1	9.1	9.1
20歳代	28.9	2.1	1.0	13.4	10.3	—	6.2	58.8	9.3	23.7	24.7	38.1	7.2
男性	34.5	6.9	3.4	13.8	10.3	—	6.9	69.0	10.3	34.5	34.5	48.3	6.9
女性	27.3	—	—	13.6	10.6	—	6.1	53.0	9.1	19.7	19.7	34.8	6.1
30歳代	23.7	1.1	5.1	5.1	12.4	5.6	3.4	59.9	9.0	28.2	16.4	26.0	4.5
男性	23.0	—	4.9	4.9	9.8	1.6	4.9	72.1	8.2	26.2	21.3	37.7	3.3
女性	23.9	1.8	5.3	4.4	13.3	8.0	2.7	54.0	9.7	29.2	14.2	19.5	5.3
40歳代	27.7	2.3	5.0	2.3	12.7	5.5	5.9	60.0	6.8	25.0	17.3	30.9	7.7
男性	22.1	3.9	5.2	—	11.7	5.2	3.9	77.9	6.5	28.6	29.9	44.2	7.8
女性	31.4	1.4	5.0	3.6	13.6	5.7	7.1	50.7	7.1	22.9	10.7	24.3	7.9
50歳代	26.0	2.3	8.9	4.7	7.4	5.8	3.9	51.9	5.4	24.4	17.1	20.2	4.7
男性	33.3	4.0	15.2	4.0	6.1	8.1	4.0	62.6	8.1	23.2	25.3	26.3	5.1
女性	21.2	1.3	4.5	5.1	8.3	3.8	3.8	45.5	3.8	25.0	12.2	16.7	4.5
60歳代	27.0	1.3	6.3	1.7	6.8	5.5	6.8	32.9	2.5	9.7	9.7	9.7	6.8
男性	33.0	1.1	9.9	2.2	4.4	9.9	3.3	42.9	3.3	11.0	11.0	12.1	9.9
女性	22.9	1.4	4.2	1.4	8.3	2.8	8.3	26.4	2.1	8.3	8.3	8.3	4.9
70歳以上	27.0	1.0	4.7	1.4	10.1	2.7	8.8	14.9	—	2.4	2.0	2.4	8.8
男性	33.6	0.8	5.3	2.3	13.0	3.1	12.2	19.1	—	4.6	3.1	3.8	8.4
女性	21.3	1.3	4.4	0.6	6.9	2.5	6.3	10.6	—	0.6	1.3	1.3	8.1

次ページへつづく

単位：%

区分	男女問題	結婚の悩み	失恋	不倫の悩み	LGBTQ	その他	学校問題	学業不振	人間関係	いじめ	その他	その他	無回答
合計	7.8	3.0	0.5	0.9	0.7	3.1	2.9	0.8	0.7	0.4	1.6	7.8	3.4
男性	7.4	2.2	0.6	0.6	0.8	3.7	2.7	1.4	0.2	0.4	1.0	6.3	2.9
女性	8.0	3.6	0.5	1.2	0.4	2.7	2.8	0.4	0.9	0.4	1.8	8.7	3.7
その他	18.2	—	—	—	18.2	—	—	—	—	—	—	9.1	—
20歳代	19.6	9.3	—	2.1	4.1	5.2	8.2	4.1	2.1	1.0	4.1	11.3	2.1
男性	13.8	3.4	—	—	6.9	6.9	10.3	10.3	—	—	3.4	17.2	—
女性	21.2	12.1	—	3.0	1.5	4.5	7.6	1.5	3.0	1.5	4.5	9.1	3.0
30歳代	13.6	7.3	2.8	0.6	0.6	4.0	1.1	—	1.1	—	—	6.8	2.8
男性	13.1	3.3	3.3	—	—	8.2	—	—	—	—	—	6.6	1.6
女性	13.3	9.7	2.7	0.9	—	1.8	1.8	—	1.8	—	—	7.1	3.5
40歳代	5.9	4.5	—	0.9	—	0.5	3.6	1.4	0.9	0.5	1.4	5.0	1.8
男性	6.5	6.5	—	1.3	—	—	5.2	3.9	1.3	1.3	—	1.3	1.3
女性	5.7	3.6	—	0.7	—	0.7	2.1	—	0.7	—	1.4	7.1	2.1
50歳代	5.8	1.9	0.8	1.2	0.8	1.9	1.9	0.8	0.4	0.4	0.8	5.0	1.9
男性	7.1	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	1.0	—	1.0	1.0	4.0	2.0
女性	5.1	1.9	0.6	1.3	0.6	1.9	1.3	0.6	0.6	—	0.6	5.1	1.3
60歳代	4.6	0.4	—	1.3	0.8	2.1	1.7	0.4	0.4	0.8	0.8	11.8	4.2
男性	4.4	1.1	—	1.1	1.1	1.1	—	—	—	—	—	9.9	5.5
女性	4.9	—	—	1.4	0.7	2.8	2.8	0.7	0.7	1.4	1.4	13.2	3.5
70歳以上	6.4	0.3	—	0.3	—	5.7	3.4	—	0.3	—	3.4	8.4	6.1
男性	6.1	—	—	—	—	6.1	2.3	—	—	—	2.3	6.1	3.8
女性	6.3	0.6	—	0.6	—	5.0	3.8	—	—	—	3.8	10.6	8.1

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、公務員の非正規職員で「家族関係の不和」の割合が、公務員の非正規職員、年金等生活者、主婦・主夫、その他無職者で「家族の将来の不安」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家庭問題	家族関係の不和	家族の死亡	家族の将来の不安	介護・看病疲れ	子育ての悩み	その他	健康問題	身体の病気や障がいの悩み	心の病気や障がいの悩み	その他
有職者	813	50.7	12.8	2.1	24.8	5.5	14.3	9.0	30.9	20.4	6.9	5.8
自営業・家族従事者等	110	57.3	7.3	1.8	32.7	11.8	8.2	9.1	30.0	19.1	3.6	4.5
被雇用者・勤め人	628	50.2	13.7	2.4	23.9	4.5	16.2	9.4	31.7	21.3	7.6	6.1
会社役員	48	45.8	8.3	4.2	18.8	10.4	12.5	8.3	45.8	31.3	12.5	6.3
正規職員(管理職級)	73	37.0	6.8	2.7	20.5	1.4	13.7	6.8	19.2	12.3	6.8	2.7
正規職員(一般職員級)	304	46.1	13.5	2.6	20.7	4.3	15.5	9.2	28.3	18.4	7.6	6.6
非正規職員	199	62.8	17.6	1.5	31.7	4.5	19.6	11.1	37.7	26.6	7.0	6.0
公務員	75	45.3	13.3	—	21.3	5.3	6.7	5.3	25.3	14.7	5.3	5.3
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	9	44.4	11.1	—	22.2	11.1	—	11.1	22.2	11.1	—	11.1
正規職員(一般職員級)	46	34.8	6.5	—	15.2	4.3	10.9	4.3	28.3	17.4	8.7	4.3
非正規職員	20	70.0	30.0	—	35.0	5.0	—	5.0	20.0	10.0	—	5.0
無職者	438	61.9	13.2	3.9	33.1	9.4	8.9	10.3	55.7	40.2	10.3	9.8
学生・生徒等	19	26.3	10.5	5.3	5.3	—	5.3	10.5	26.3	15.8	10.5	5.3
無職	398	63.6	13.3	3.5	34.9	9.3	9.5	10.6	57.0	41.2	10.1	10.6
失業者	18	55.6	22.2	—	27.8	5.6	5.6	16.7	50.0	16.7	44.4	16.7
年金等生活者	188	58.0	10.1	3.7	34.0	9.6	1.6	9.0	64.4	48.9	5.9	11.2
配当・家賃等生活者	3	33.3	—	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—	33.3
生活保護受給者	6	83.3	33.3	—	50.0	—	16.7	33.3	100.0	50.0	50.0	16.7
主婦・主夫	167	70.7	13.8	3.6	36.5	10.2	19.8	10.8	47.9	35.3	7.8	9.0
その他無職者	16	62.5	31.3	6.3	37.5	6.3	—	6.3	62.5	43.8	31.3	6.3
その他	24	45.8	12.5	—	16.7	—	8.3	20.8	41.7	16.7	16.7	16.7

次ページへつづく

単位：％

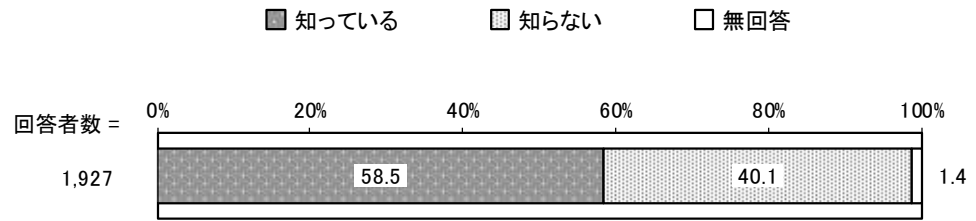
区分	回答者数(件)	経済・生活問題	倒産・失業	事業不振	就職活動	生活苦	負債・借金	その他	勤務問題	仕事の失敗	職場の人間関係	職場環境の変化	仕事の疲れ(長時間労働等)	その他
有職者	813	25.6	1.4	8.2	2.2	8.1	4.9	5.2	60.6	6.5	25.5	18.8	27.1	6.9
自営業・家族従事者等	110	43.6	1.8	31.8	0.9	6.4	10.0	1.8	28.2	4.5	6.4	10.0	11.8	4.5
被雇用者・勤め人	628	24.4	1.4	5.1	2.7	9.2	4.3	5.7	65.0	6.7	27.7	20.4	29.1	7.2
会社役員	48	37.5	2.1	25.0	2.1	6.3	8.3	8.3	60.4	4.2	22.9	25.0	20.8	6.3
正規職員(管理職級)	73	13.7	—	1.4	—	5.5	5.5	2.7	79.5	6.8	31.5	21.9	39.7	13.7
正規職員(一般職員級)	304	20.7	1.6	5.6	2.3	6.6	3.0	3.9	69.4	8.9	27.3	22.0	35.2	7.2
非正規職員	199	30.7	1.5	1.0	4.5	15.6	5.0	9.0	54.8	4.0	28.1	16.6	18.6	5.0
公務員	75	9.3	—	—	—	1.3	2.7	5.3	72.0	8.0	34.7	18.7	32.0	8.0
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	9	11.1	—	—	—	—	—	11.1	77.8	22.2	33.3	22.2	44.4	—
正規職員(一般職員級)	46	8.7	—	—	—	2.2	2.2	4.3	78.3	4.3	37.0	23.9	37.0	8.7
非正規職員	20	10.0	—	—	—	—	5.0	5.0	55.0	10.0	30.0	5.0	15.0	10.0
無職者	438	27.2	2.1	1.1	5.5	12.1	3.0	7.5	8.9	0.7	1.4	1.8	1.8	5.7
学生・生徒等	19	42.1	—	—	26.3	15.8	—	5.3	15.8	5.3	5.3	10.5	10.5	—
無職	398	27.1	2.3	1.3	4.8	12.3	3.3	7.5	9.0	0.5	1.3	1.5	1.5	6.3
失業者	18	72.2	27.8	—	50.0	27.8	16.7	5.6	38.9	5.6	16.7	22.2	11.1	11.1
年金等生活者	188	22.9	1.1	1.1	0.5	11.7	1.1	9.0	6.4	—	—	0.5	1.1	5.9
配当・家賃等生活者	3	100.0	—	—	—	—	66.7	33.3	33.3	—	—	—	—	33.3
生活保護受給者	6	83.3	16.7	—	—	33.3	16.7	33.3	50.0	—	—	—	—	50.0
主婦・主夫	167	21.6	0.6	1.8	4.2	9.6	3.0	3.6	4.8	0.6	1.2	0.6	0.6	2.4
その他無職者	16	50.0	—	—	12.5	25.0	—	18.8	31.3	—	—	—	6.3	25.0
その他	24	41.7	—	4.2	16.7	16.7	12.5	4.2	62.5	12.5	25.0	8.3	12.5	16.7

単位：%

区分	回答者数 (件)	男女問題	結婚の悩み	失恋	不倫の悩み	LGBTQ	その他	学校問題	学業不振	人間関係	いじめ	その他	その他	無回答
有職者	813	8.0	4.1	0.5	0.9	0.6	2.6	1.6	0.4	0.2	—	1.0	4.9	2.6
自営業・家族従事者等	110	9.1	1.8	—	—	0.9	6.4	1.8	—	—	—	1.8	7.3	7.3
被雇用者・勤め人	628	8.0	4.5	0.6	1.1	0.5	2.1	1.6	0.3	0.3	—	1.0	4.9	1.8
会社役員	48	12.5	4.2	—	2.1	—	6.3	—	—	—	—	—	8.3	4.2
正規職員(管理職級)	73	2.7	—	—	1.4	—	1.4	2.7	2.7	—	—	—	2.7	—
正規職員(一般職員級)	304	9.9	6.3	1.3	0.7	0.7	2.6	1.0	—	—	—	1.0	5.3	1.3
非正規職員	199	6.0	3.5	—	1.5	0.5	0.5	2.5	—	1.0	—	1.5	4.5	2.5
公務員	75	6.7	4.0	—	—	1.3	1.3	1.3	1.3	—	—	—	1.3	2.7
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
正規職員(一般職員級)	46	10.9	6.5	—	—	2.2	2.2	2.2	2.2	—	—	—	2.2	4.3
非正規職員	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無職者	438	7.1	1.1	0.5	0.9	0.7	3.9	4.8	1.6	1.4	0.7	2.7	12.3	5.3
学生・生徒等	19	—	—	—	—	—	—	31.6	26.3	10.5	—	10.5	21.1	5.3
無職	398	7.5	1.3	0.5	1.0	0.8	4.3	3.8	0.5	1.0	0.8	2.5	12.3	5.5
失業者	18	33.3	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	—	—	5.6	—
年金等生活者	188	4.8	0.5	—	0.5	0.5	3.2	2.1	—	—	0.5	1.6	11.2	6.4
配当・家賃等生活者	3	33.3	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	33.3	—
生活保護受給者	6	83.3	—	16.7	—	16.7	50.0	66.7	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	—
主婦・主夫	167	4.8	1.8	—	1.2	—	2.4	3.0	—	0.6	—	2.4	13.2	6.0
その他無職者	16	6.3	—	—	—	—	6.3	6.3	—	6.3	—	6.3	18.8	—
その他	24	8.3	4.2	—	—	—	4.2	4.2	—	4.2	4.2	—	25.0	—

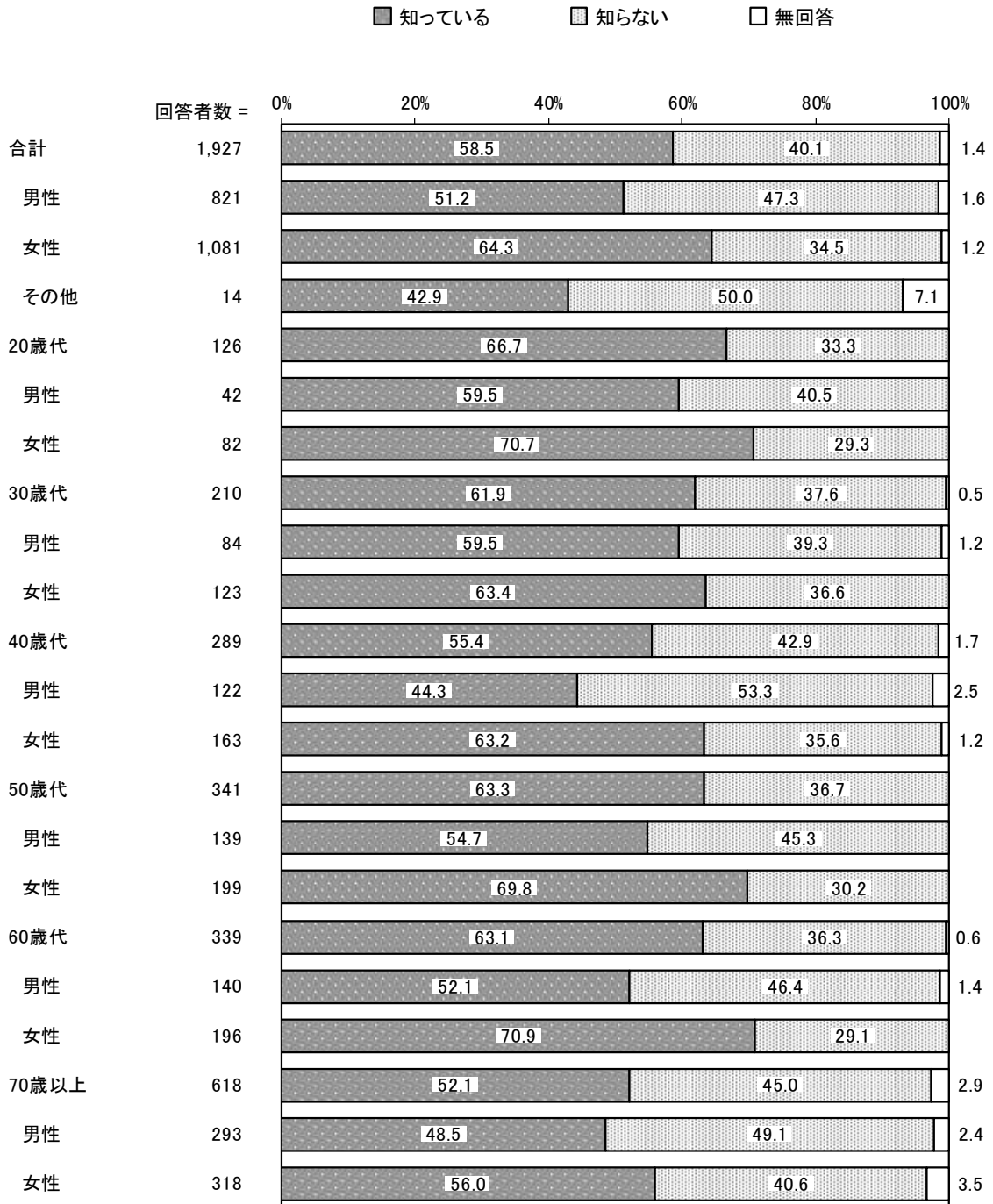
問6 精神的なストレスや不安について、次のページの一例にあるような行政または民間団体等のさまざまな機関で相談できることを知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が58.5%、「知らない」の割合が40.1%となっています。



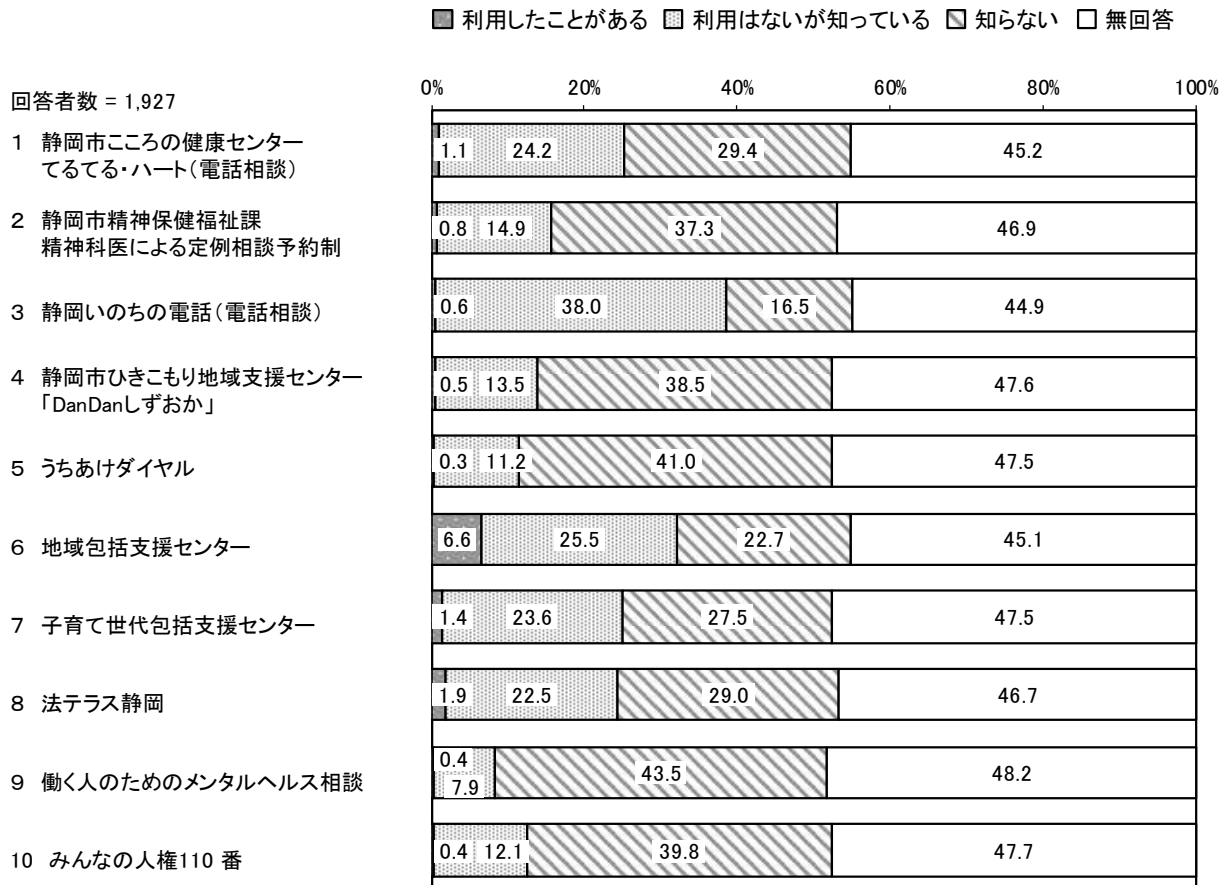
【性別・年齢別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。
 年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「知っている」の割合が高くなっています。



問6-1 次の各相談機関について、回答してください。(それぞれ1つに○)

『6 地域包括支援センター』で「利用したことがある」の割合が、『3 静岡いのちの電話(電話相談)』で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。一方、『5 うちあけダイヤル』『9 働く人のためのメンタルヘルス相談』で「知らない」の割合が高くなっています。



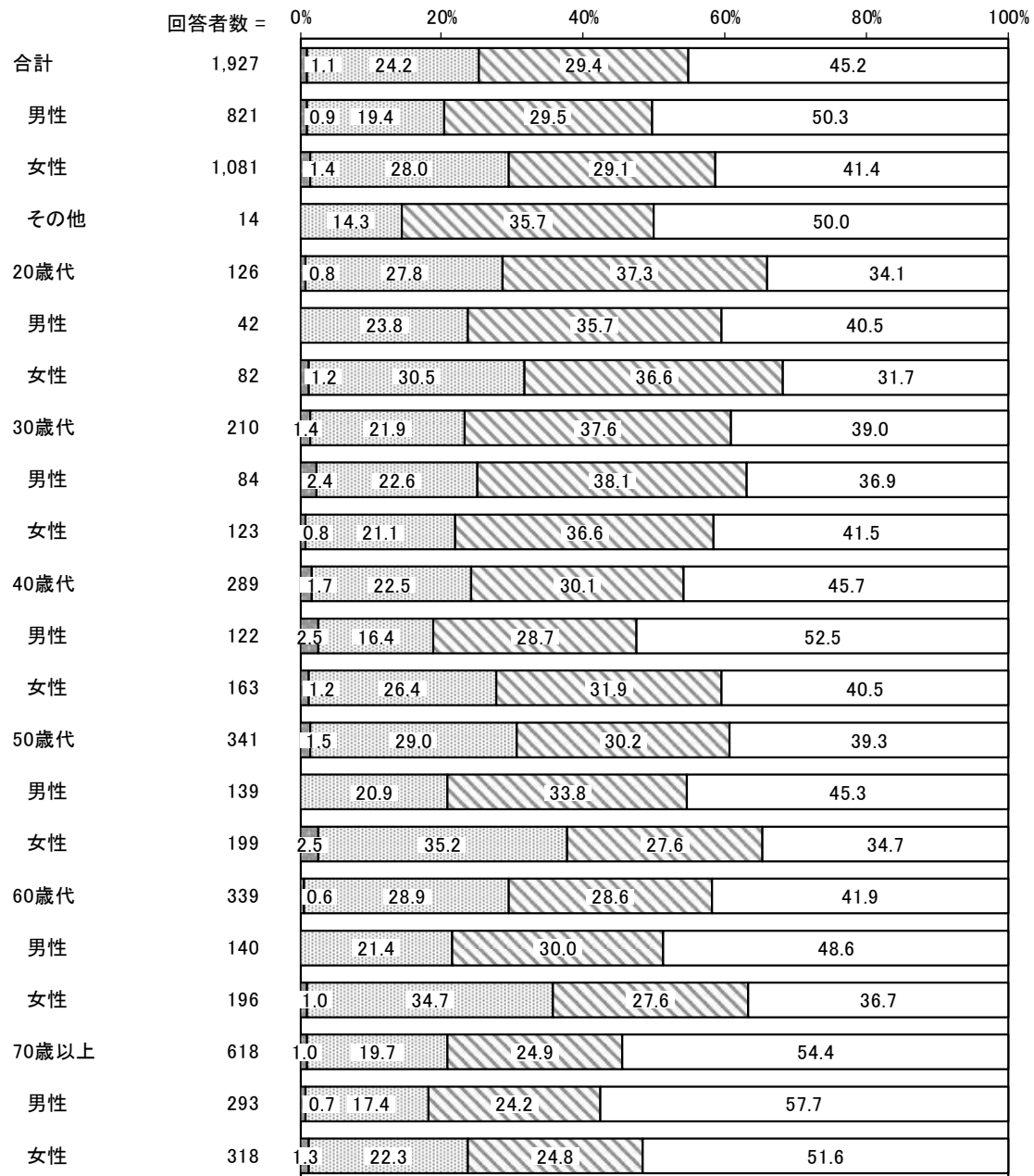
1 静岡市こころの健康センター てるてる・ハート（電話相談）

【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある □ 利用はないが知っている ▨ 知らない □ 無回答

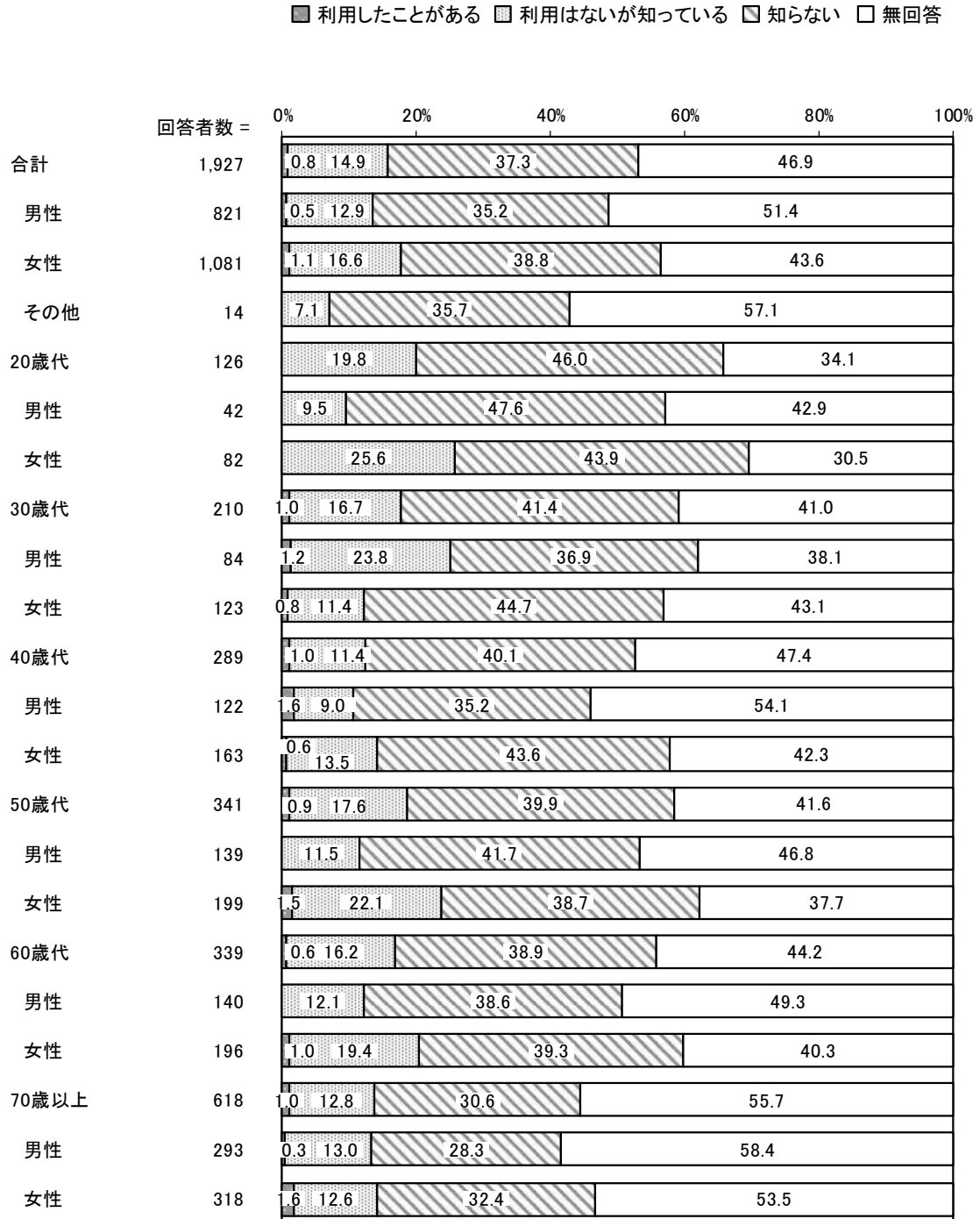


2 静岡市精神保健福祉課 精神科医による定例相談予約制

【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

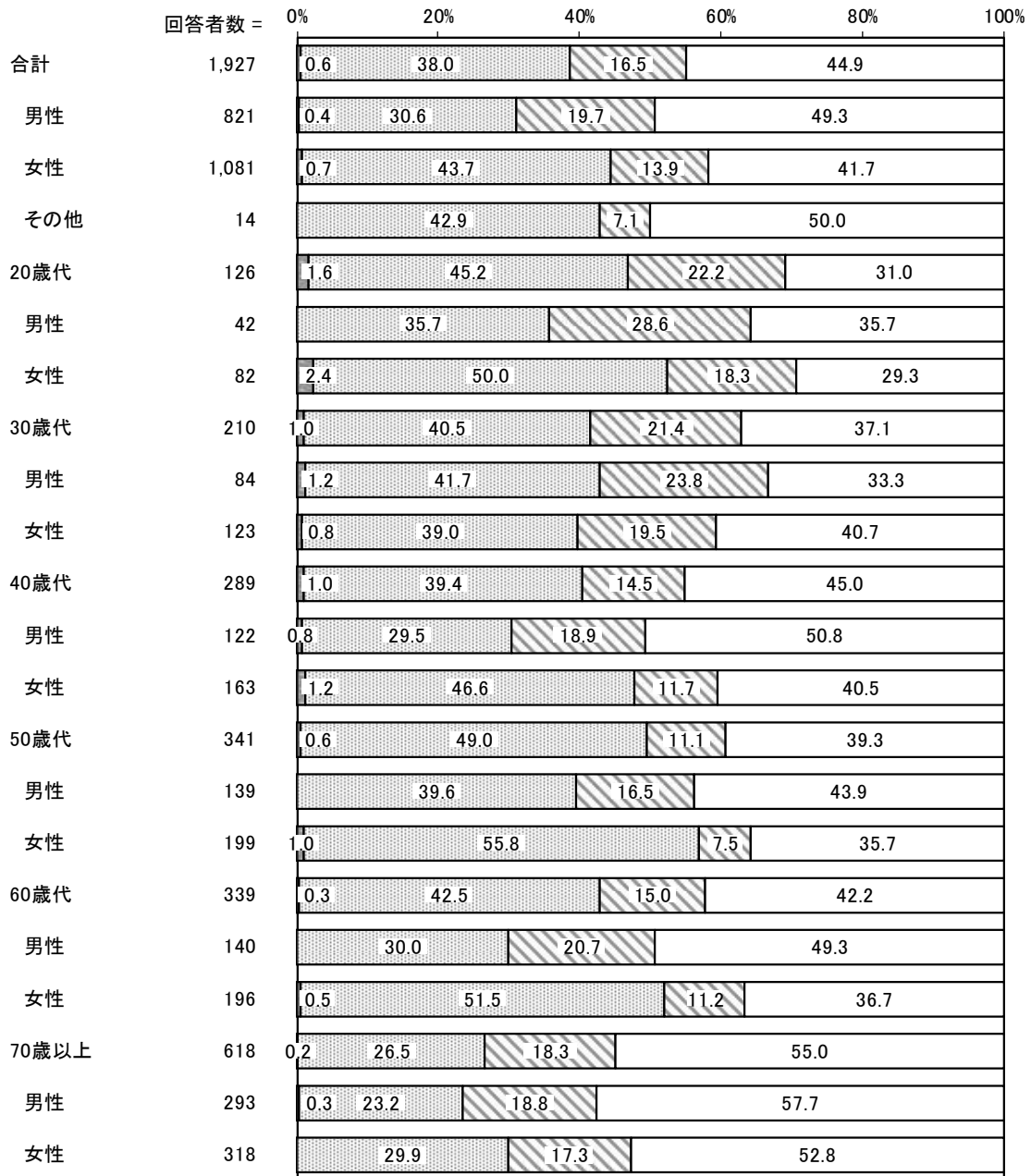


3 静岡いのちの電話（電話相談）

【性別・年齢別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある □ 利用はないが知っている ▨ 知らない □ 無回答

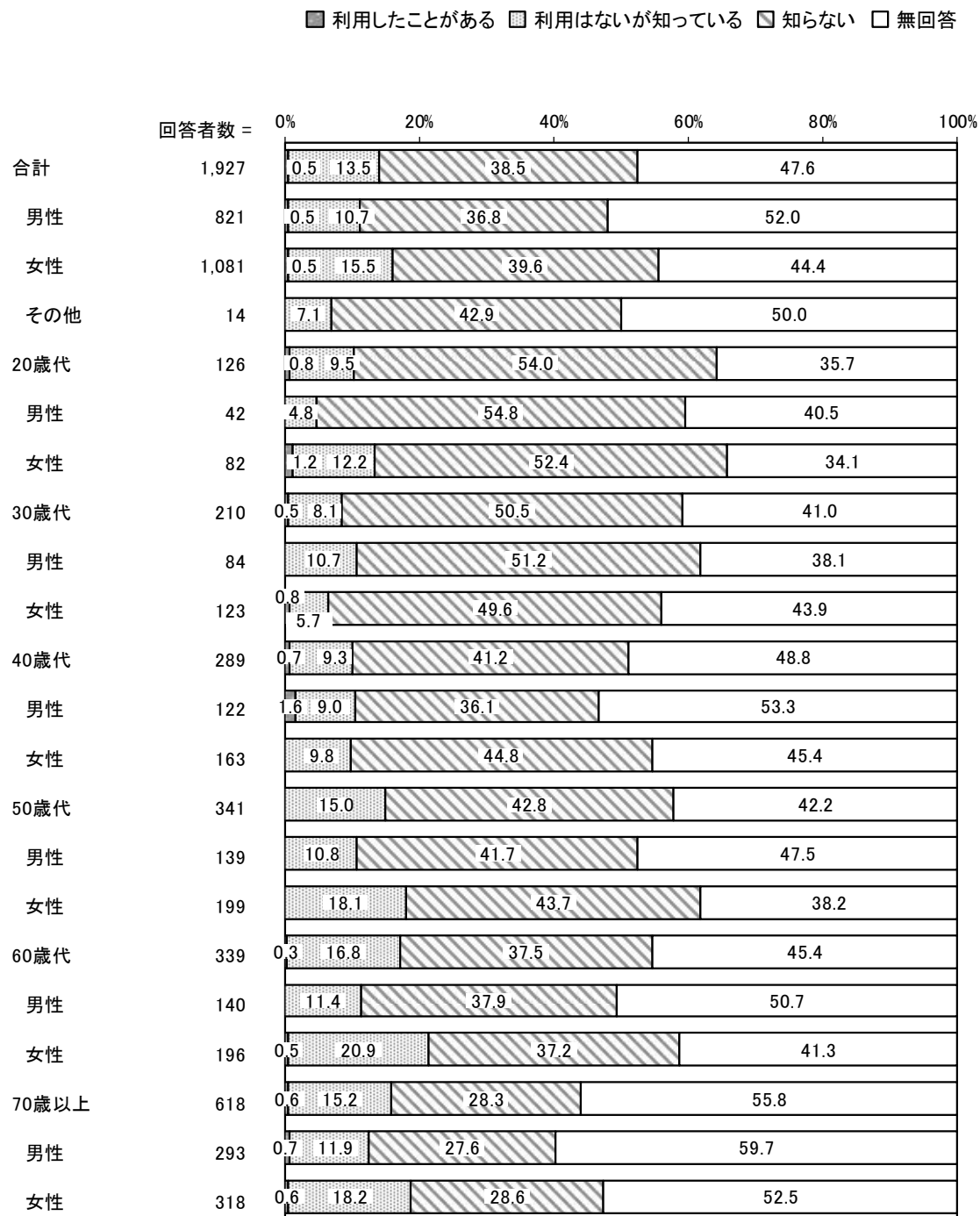


4 静岡市ひきこもり地域支援センター「DanDan しずおか」

【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

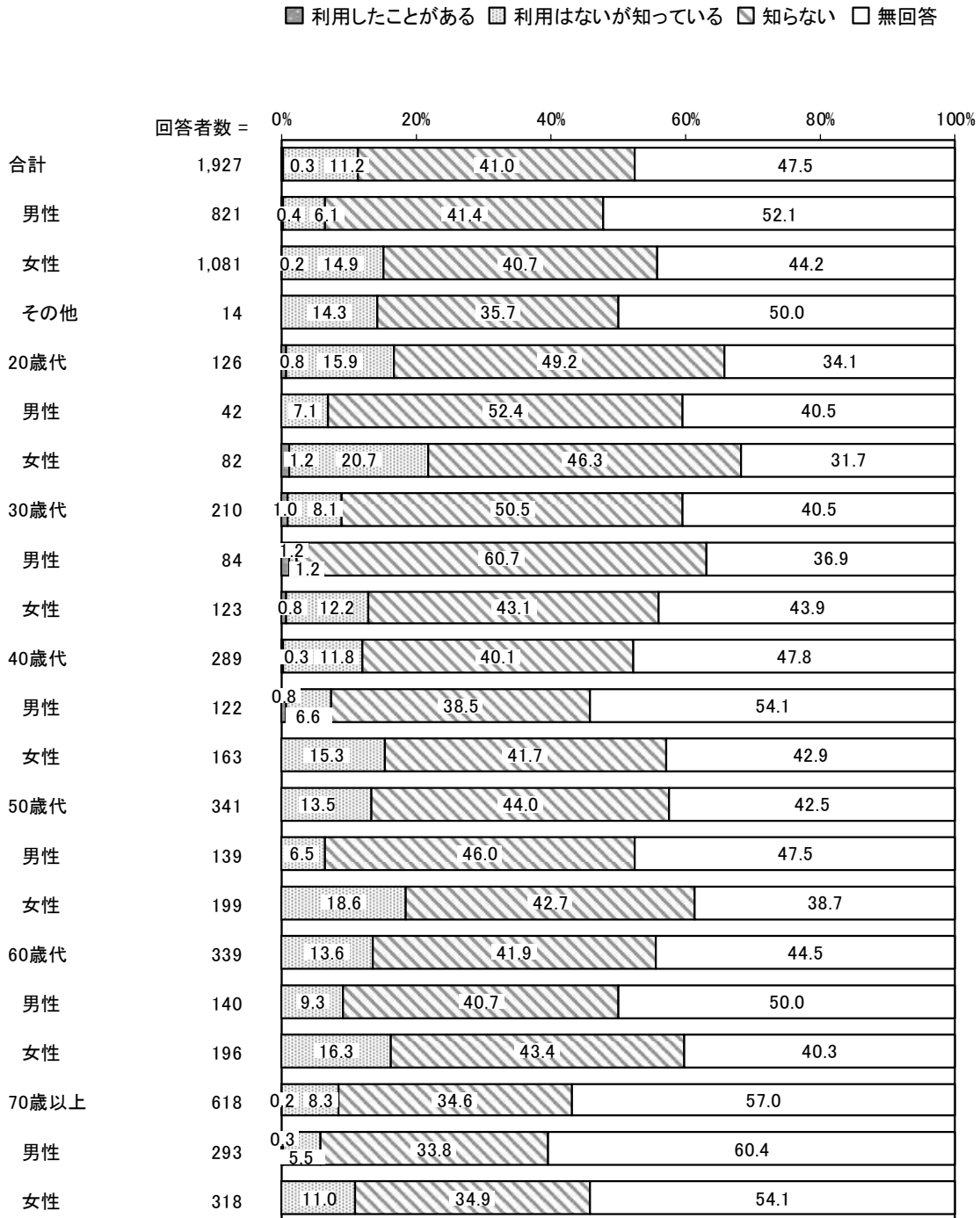


5 うちあけダイヤル

①LINE相談 ②24時間子供SOSダイヤル ③若者こころの悩み相談窓口

【性別・年齢別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。
年齢別で見ると、他に比べ、20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

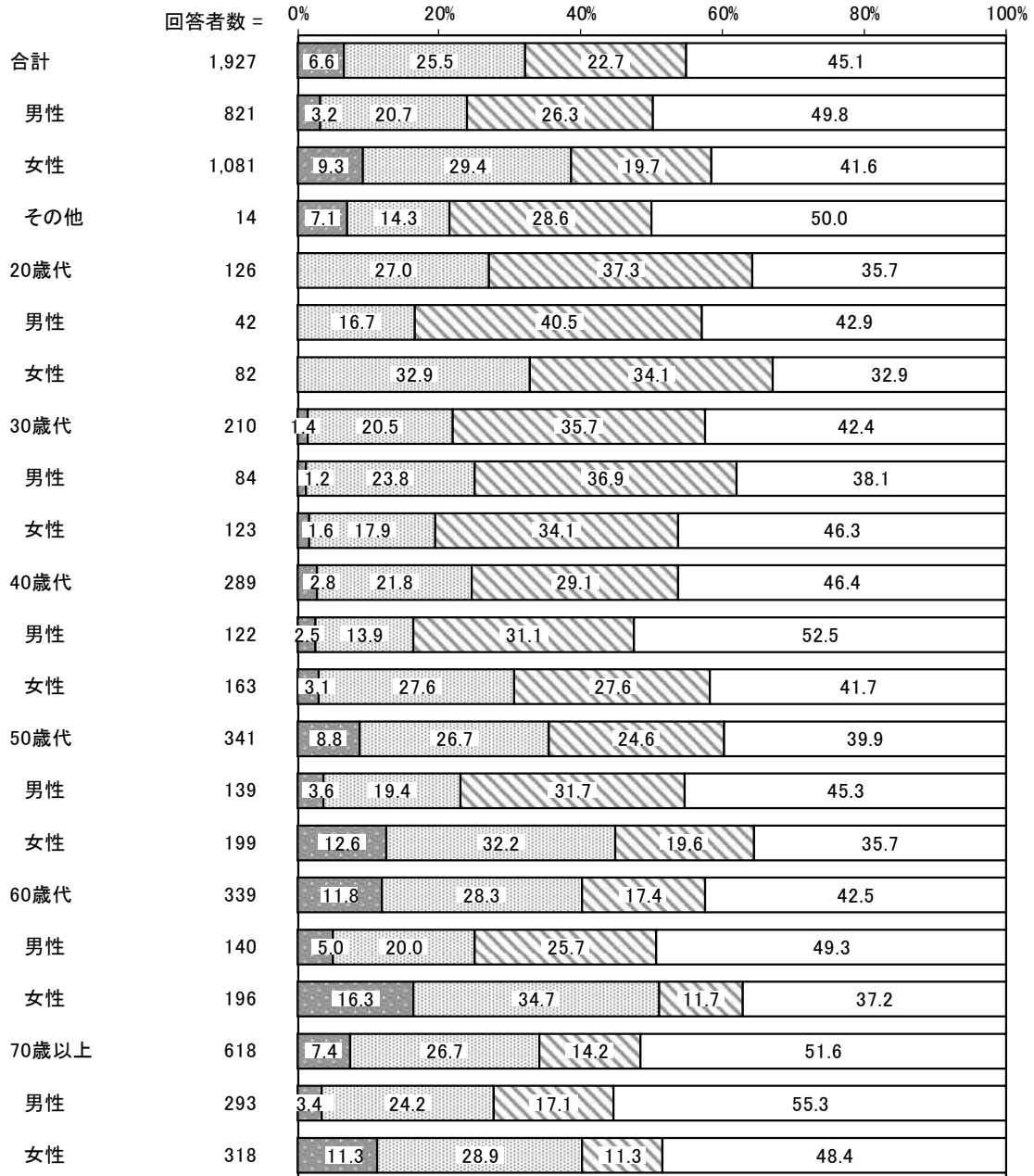


6 地域包括支援センター（市内 29 センター）

【性別・年齢別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「利用したことがある」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある ■ 利用はないが知っている ▨ 知らない □ 無回答

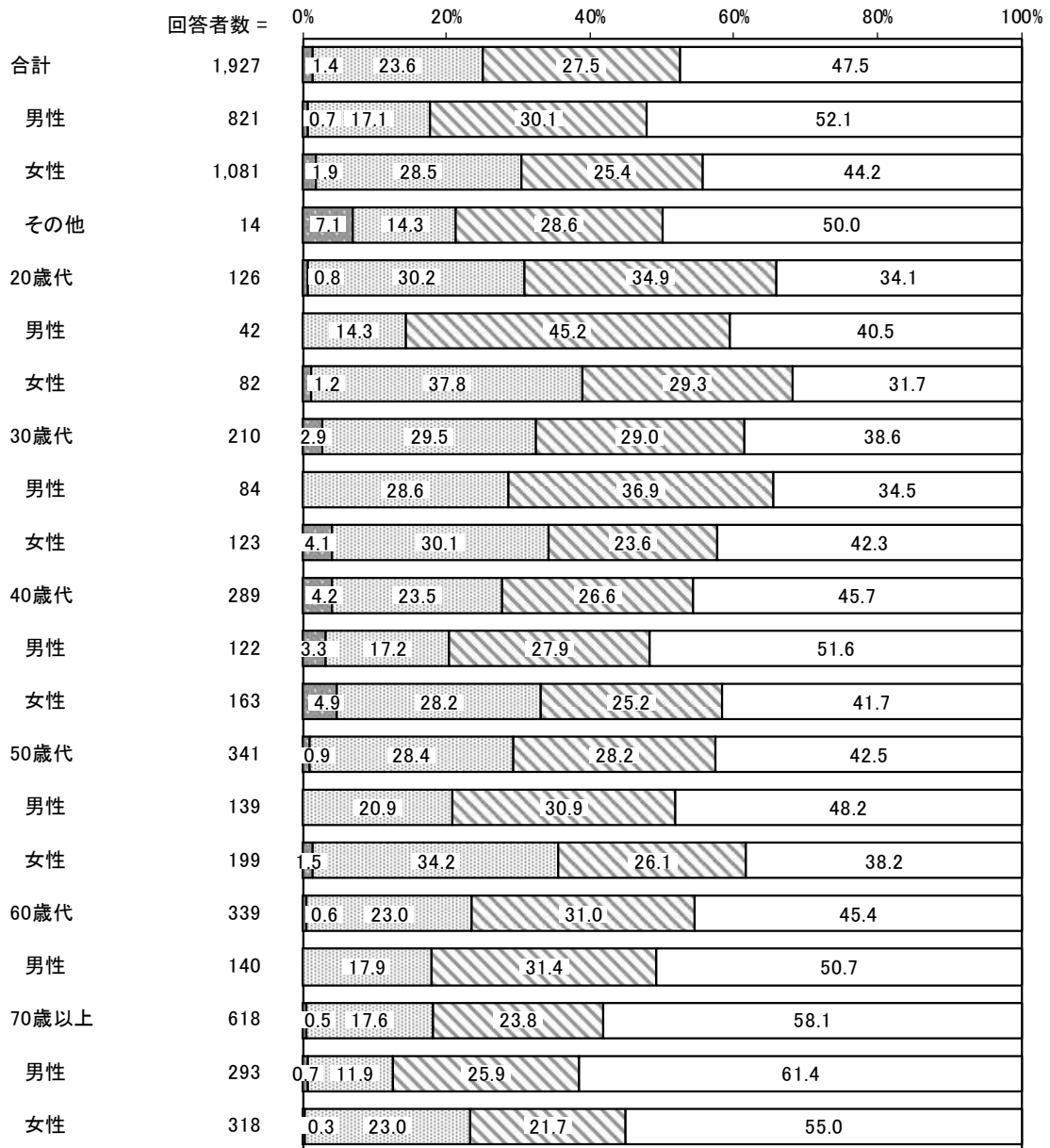


7 子育て世代包括支援センター

【性別・年齢別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。
 年齢別で見ると、他に比べ、20歳代、30歳代、50歳代で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある □ 利用はないが知っている ▨ 知らない □ 無回答



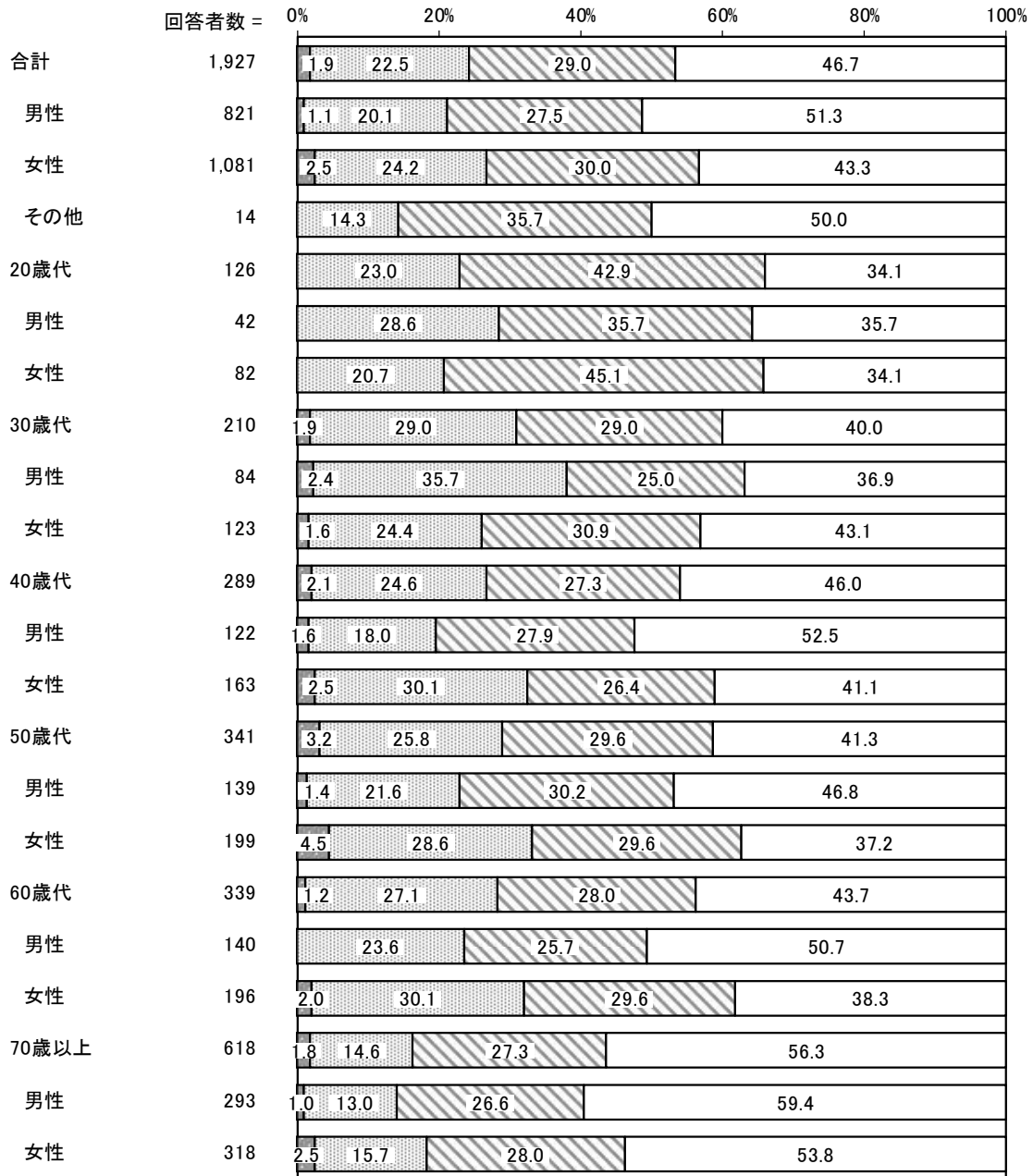
8 法テラス静岡

【性別・年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある □ 利用はないが知っている ▨ 知らない □ 無回答

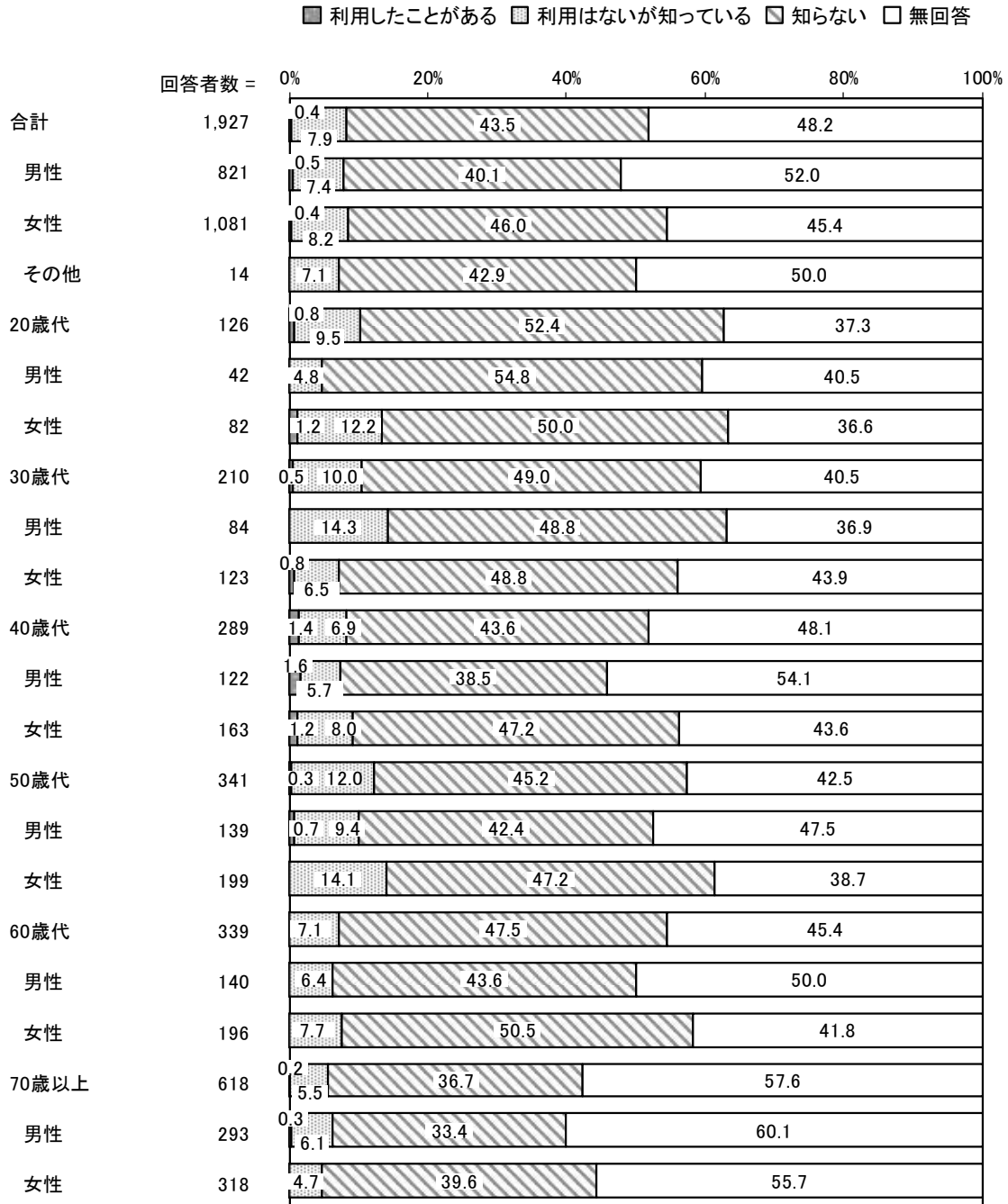


9 働く人のためのメンタルヘルス相談

【性別・年齢別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

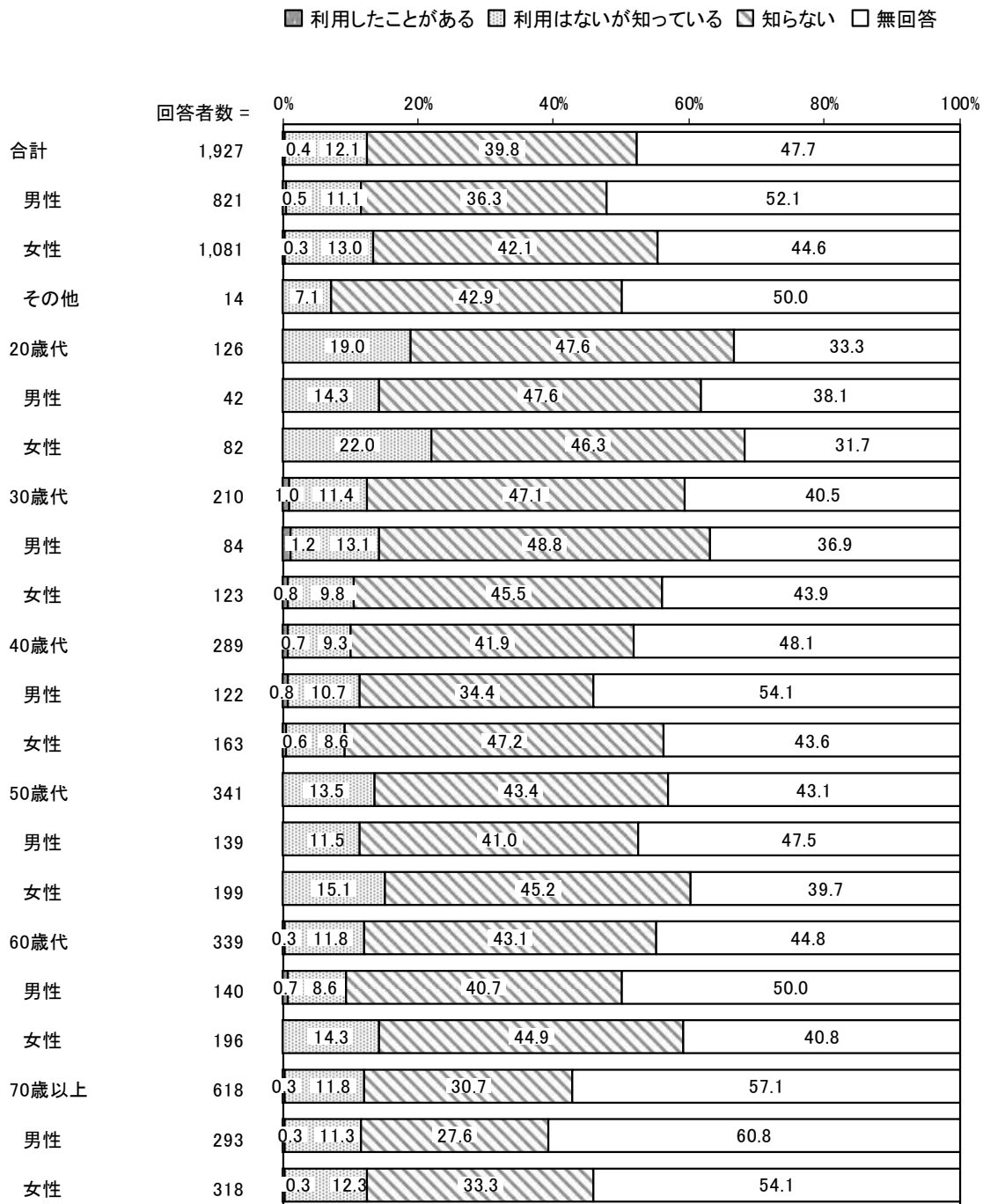


10 みんなの人権 110 番

【性別・年齢別】

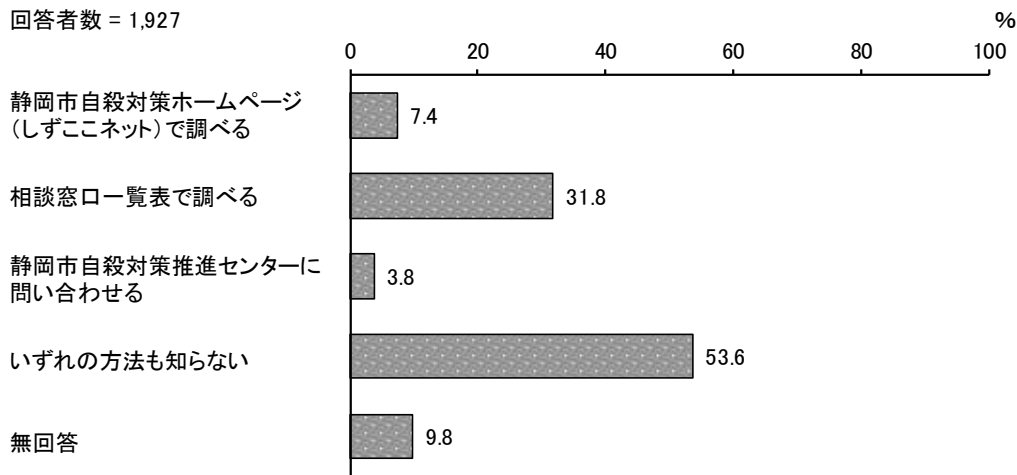
性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「利用はないが知っている」の割合が高くなっています。



問7 どこに相談したら良いか分からない場合、次のような方法があることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「いずれの方法も知らない」の割合が53.6%と最も高く、次いで「相談窓口一覧表で調べる」の割合が31.8%となっています。



【性別・年齢別】

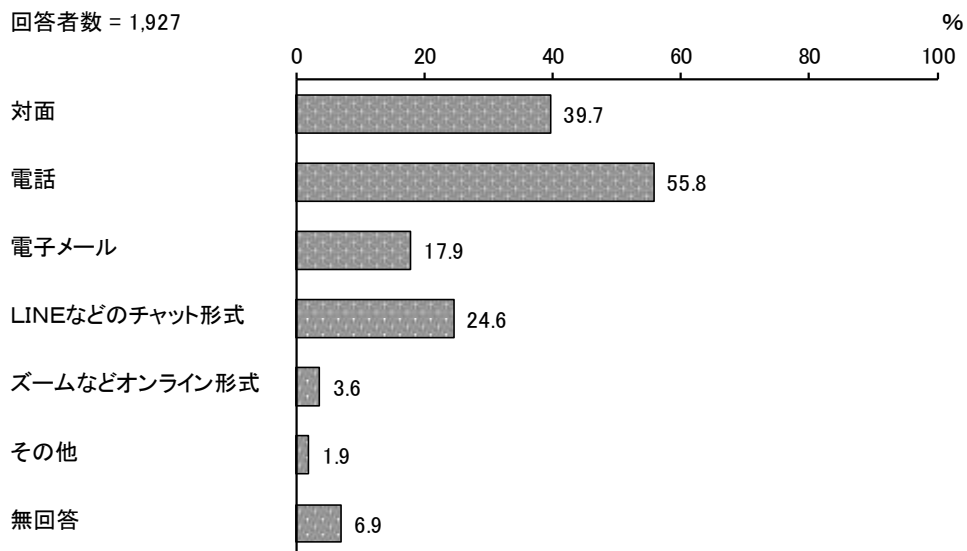
性別でみると、他に比べ、女性で「相談窓口一覧表で調べる」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「相談窓口一覧表で調べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	静岡市自殺対策ホ ームページ(しずこ こネット)で調べる	相談窓口一覧表で 調べる	静岡市自殺対策推 進センターに問い 合わせる	いずれの方法も知 らない	無回答
合計	1927	7.4	31.8	3.8	53.6	9.8
男性	821	8.0	27.3	4.5	59.3	8.2
女性	1081	7.0	35.4	3.1	49.2	10.7
その他	14	7.1	28.6	7.1	64.3	7.1
20歳代	126	11.1	27.0	7.1	58.7	6.3
男性	42	11.9	19.0	9.5	64.3	4.8
女性	82	11.0	30.5	6.1	56.1	7.3
30歳代	210	9.5	28.6	3.8	61.9	2.9
男性	84	11.9	29.8	6.0	58.3	2.4
女性	123	7.3	26.8	1.6	65.0	3.3
40歳代	289	8.0	24.2	1.0	65.4	5.2
男性	122	7.4	19.7	2.5	69.7	5.7
女性	163	8.6	28.2	—	61.3	4.9
50歳代	341	10.3	40.8	4.1	49.0	7.6
男性	139	9.4	28.8	5.0	62.6	5.0
女性	199	11.1	49.7	3.5	39.2	9.0
60歳代	339	8.8	31.9	5.9	52.2	7.7
男性	140	9.3	22.9	2.9	65.0	6.4
女性	196	8.7	38.3	8.2	42.9	8.7
70歳以上	618	3.4	32.5	2.9	47.7	17.0
男性	293	5.5	32.4	4.8	50.2	13.7
女性	318	1.6	33.0	1.3	45.3	19.8

問8 相談に関する手法として、どのような方法が相談しやすいですか。
(あてはまるものすべてに○)

「電話」の割合が55.8%と最も高く、次いで「対面」の割合が39.7%、「LINEなどのチャット形式」の割合が24.6%となっています。



【性別・年齢別】

性別で見ると、他に比べ、その他で「対面」「ズームなどオンライン形式」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「LINEなどのチャット形式」の割合が、60歳代で「電話」の割合が高くなっています。

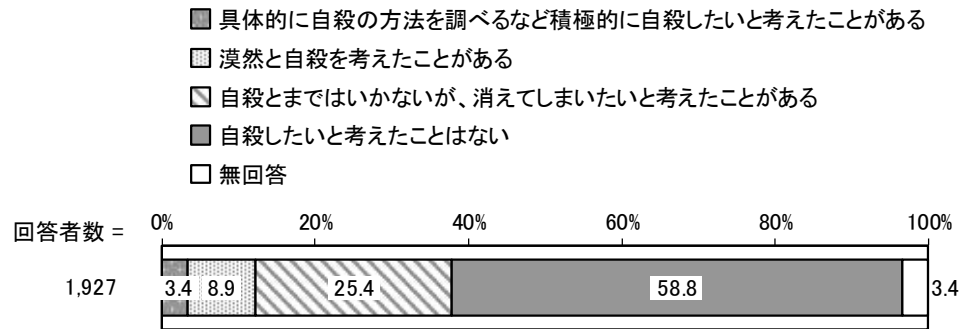
単位：%

区分	回答者数 (件)	対面	電話	電子メール	LINEなどの チャット形式	ズームなどオン ライン形式	その他	無回答
合計	1927	39.7	55.8	17.9	24.6	3.6	1.9	6.9
男性	821	43.7	51.5	21.7	23.3	4.1	2.2	6.3
女性	1081	36.4	59.3	15.0	25.7	3.1	1.7	7.1
その他	14	57.1	57.1	21.4	21.4	21.4	—	7.1
20歳代	126	34.9	42.9	26.2	57.1	6.3	2.4	1.6
男性	42	33.3	31.0	31.0	50.0	4.8	4.8	2.4
女性	82	34.1	48.8	24.4	62.2	6.1	1.2	1.2
30歳代	210	43.3	44.3	26.2	51.0	7.6	2.4	1.4
男性	84	45.2	44.0	23.8	44.0	9.5	3.6	2.4
女性	123	41.5	43.9	27.6	56.1	6.5	1.6	0.8
40歳代	289	38.1	48.1	29.8	39.4	4.5	1.7	3.1
男性	122	43.4	43.4	36.1	38.5	4.9	2.5	3.3
女性	163	33.7	50.3	25.2	39.9	3.7	1.2	3.1
50歳代	341	35.2	58.4	23.5	32.6	4.4	0.9	4.1
男性	139	41.0	51.8	28.1	32.4	5.8	0.7	3.6
女性	199	31.2	63.8	20.1	32.2	3.5	1.0	4.5
60歳代	339	41.0	67.8	14.7	14.7	3.5	2.1	4.4
男性	140	43.6	59.3	22.9	20.7	4.3	1.4	5.0
女性	196	38.8	74.5	8.7	10.7	3.1	2.6	4.1
70歳以上	618	42.2	58.3	6.3	3.2	1.0	2.1	14.2
男性	293	46.4	56.3	9.9	4.1	1.4	2.4	11.3
女性	318	38.1	60.4	3.1	2.5	0.3	1.9	16.7

(4) 悩みやストレスに関することについて

問9 あなたは、これまでの人生のなかで、自殺したいと考えたことはありますか。
(1つに○)

「自殺したいと考えたことはない」の割合が58.8%と最も高く、次いで「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が25.4%となっています。

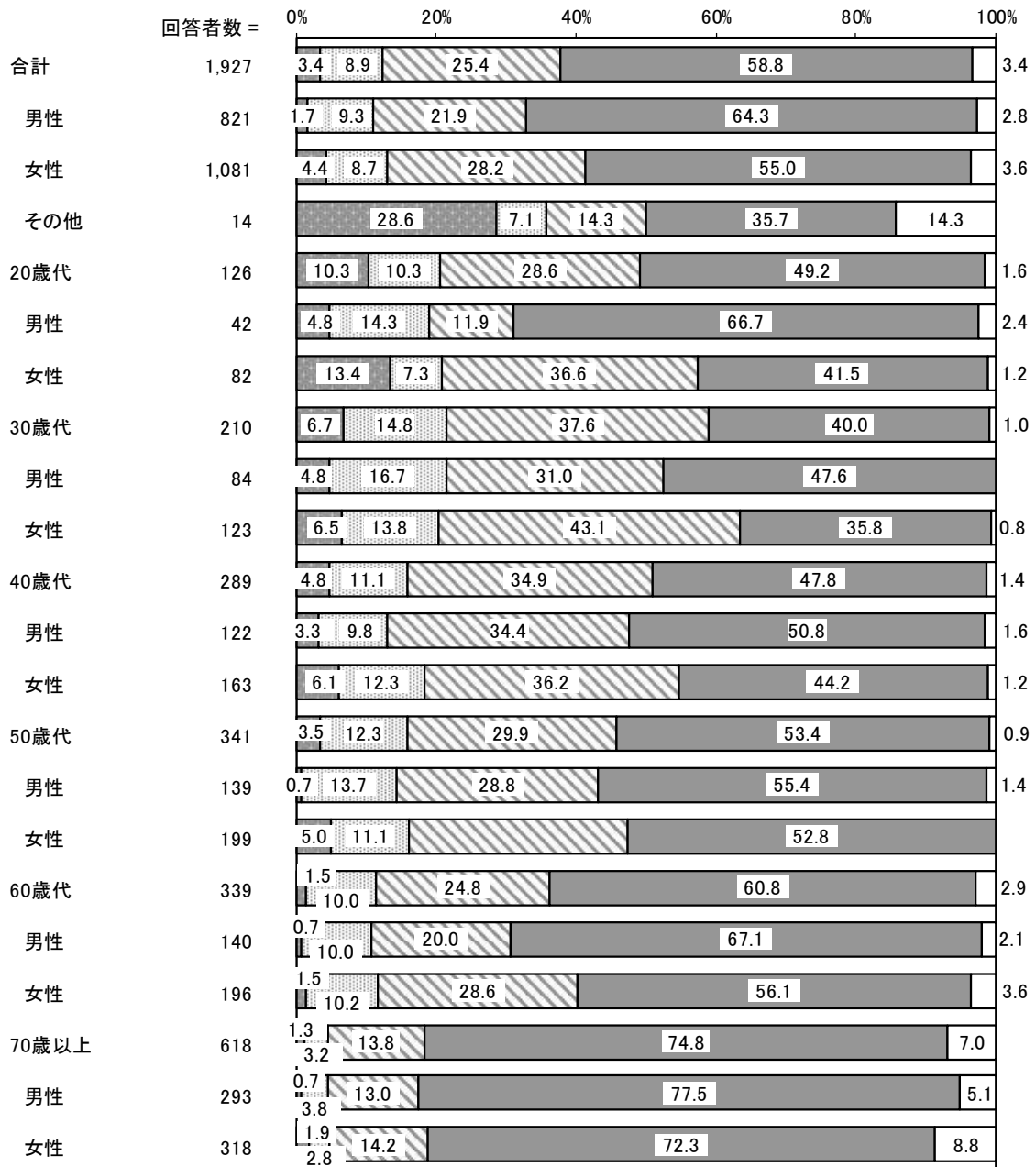


【性別・年齢別】

性別で見ると、他に比べ、その他で「具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある」の割合が高くなっています。

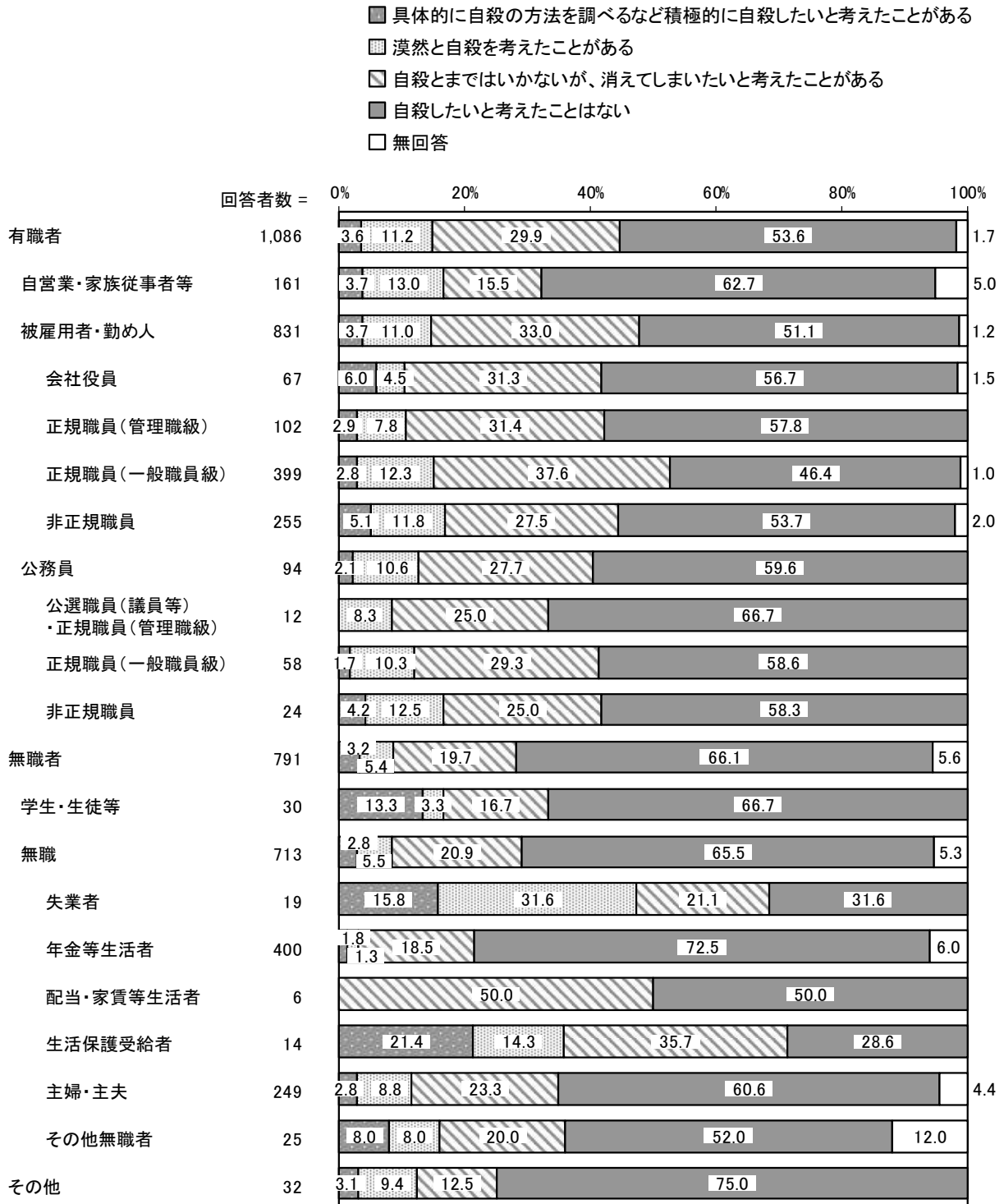
年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が高くなっています。

- 具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある
- ▨ 漠然と自殺を考えたことがある
- ▩ 自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある
- 自殺したいと考えたことはない
- 無回答



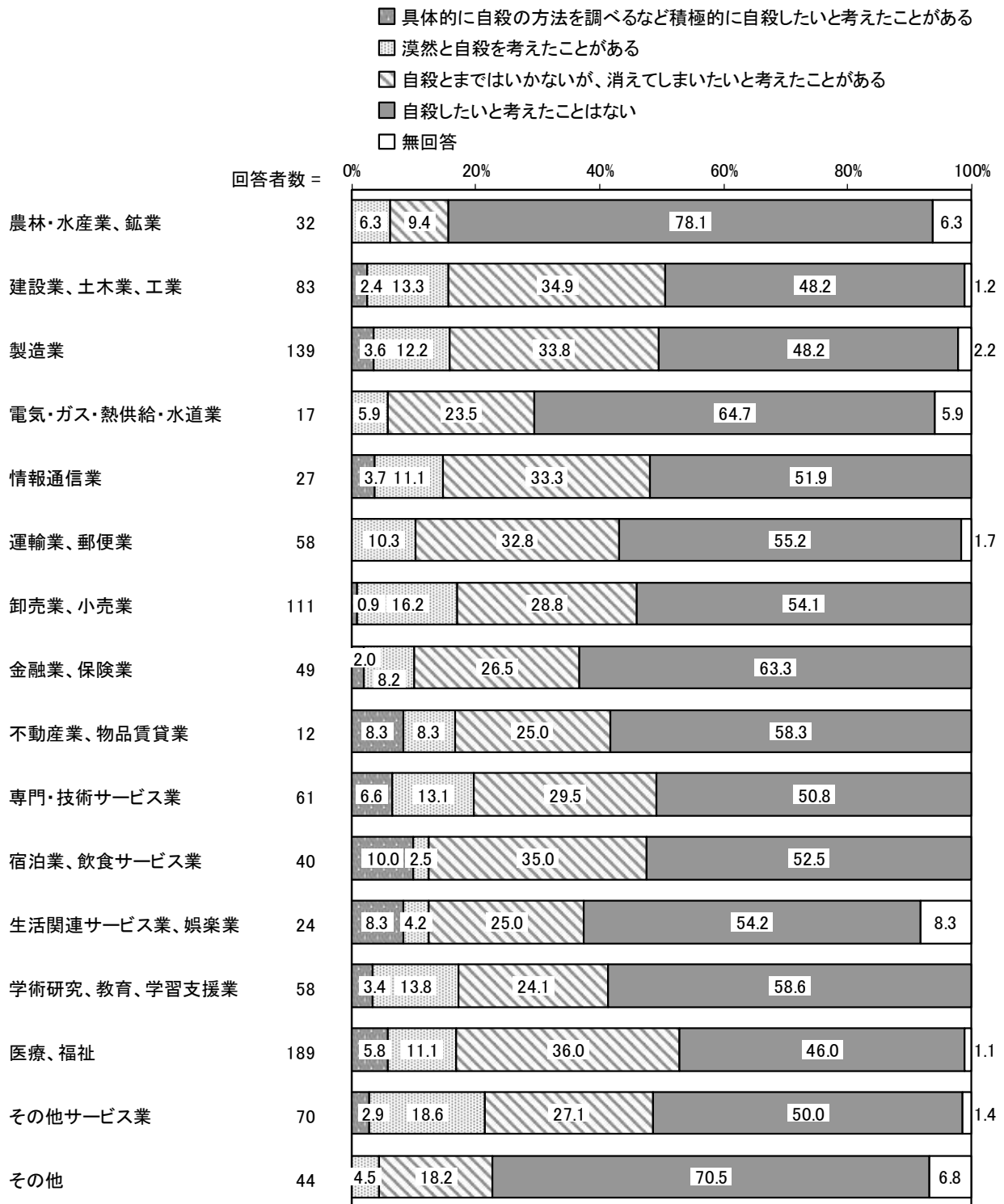
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、失業者、生活保護受給者で「具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある」の割合が、失業者で「漠然と自殺を考えたことがある」の割合が高くなっています。また、年金等生活者で「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



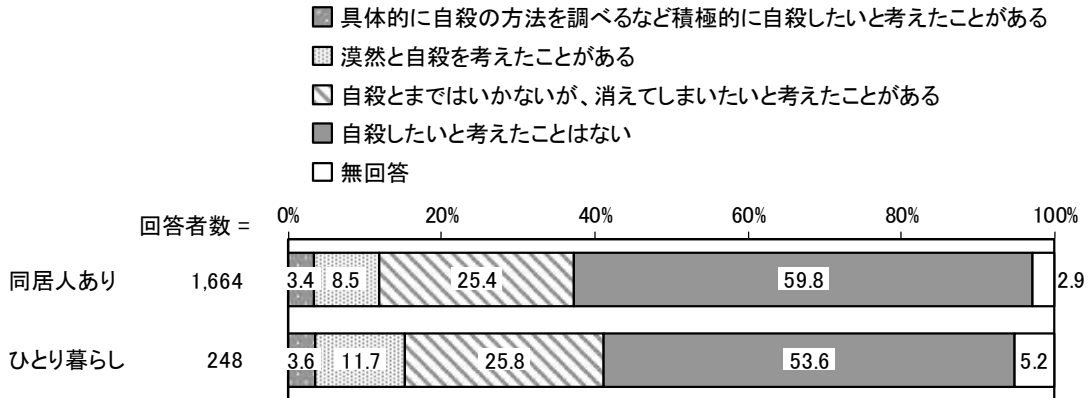
【職種別】

職種別でみると、他に比べ、農林・水産業、鉱業で「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



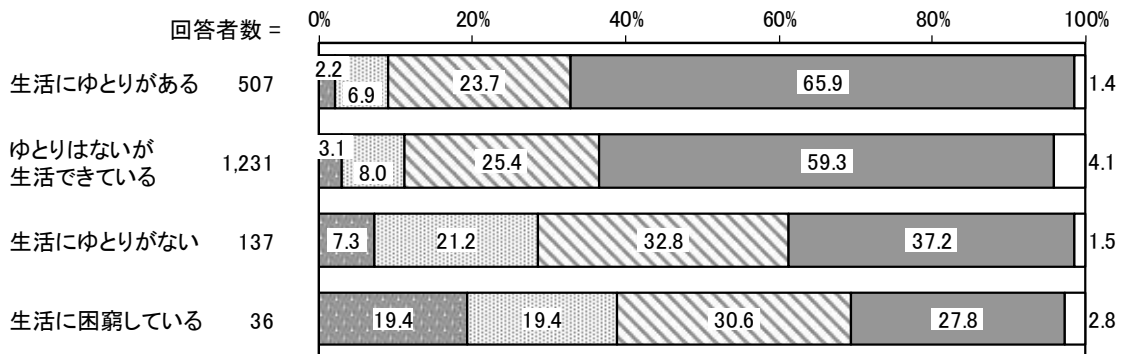
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、同居人ありで「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



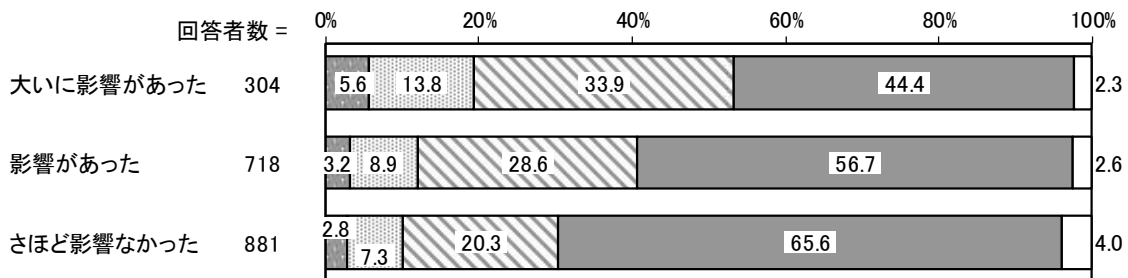
【生活のゆとり別】

生活のゆとり別で見ると、他に比べ、生活に困窮しているで「具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある」の割合が、生活にゆとりがある、ゆとりはないが生活できているで「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



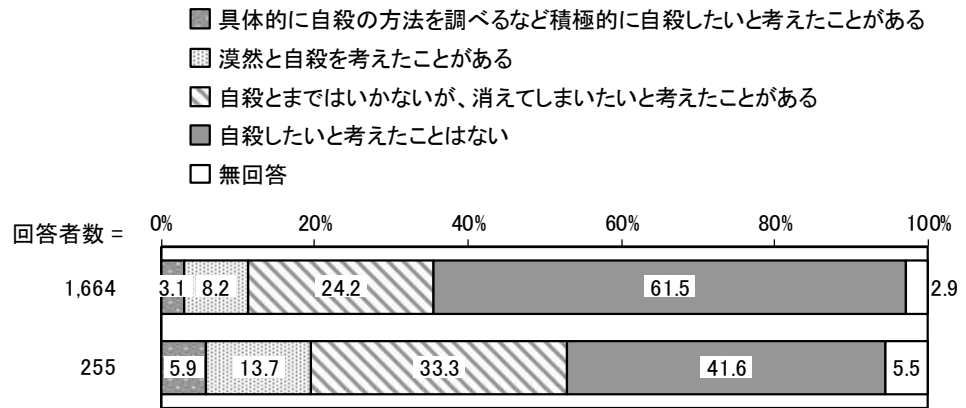
【新型コロナウイルスの影響別】

新型コロナウイルスの影響別で見ると、他に比べ、大いに影響があったで「漠然と自殺を考えたとある」「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が、さほど影響なかったで「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



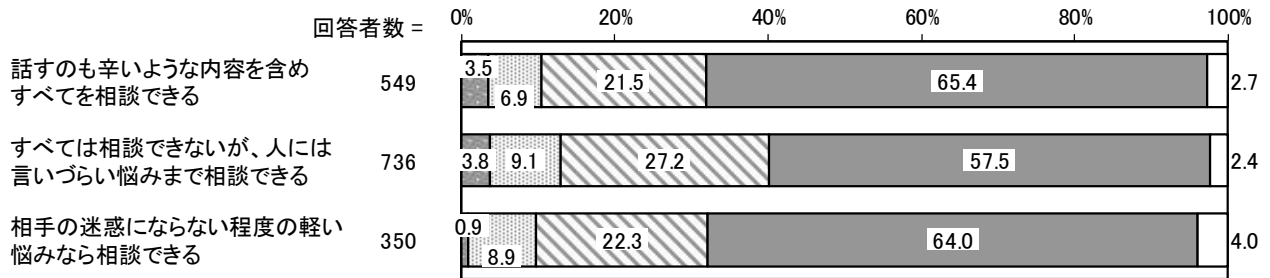
【相談できる相手の有無別】

相談できる相手の有無別でみると、他に比べ、いるで「自殺したいと考えたことはない」の割合が、いないで「漠然と自殺を考えたことがある」「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が高くなっています。



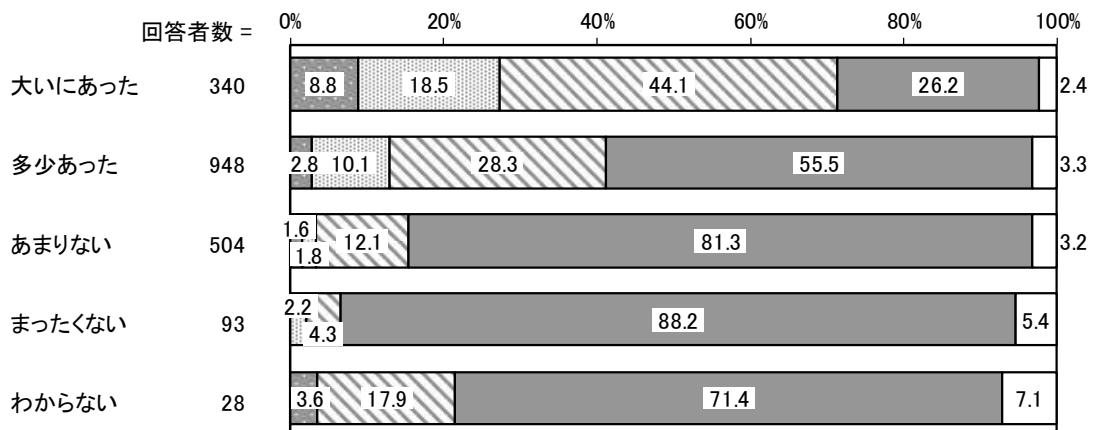
【相談できる程度別】

相談できる程度別でみると、他に比べ、すべては相談できないが、人には言いづらい悩みまで相談できるで「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が高くなっています。



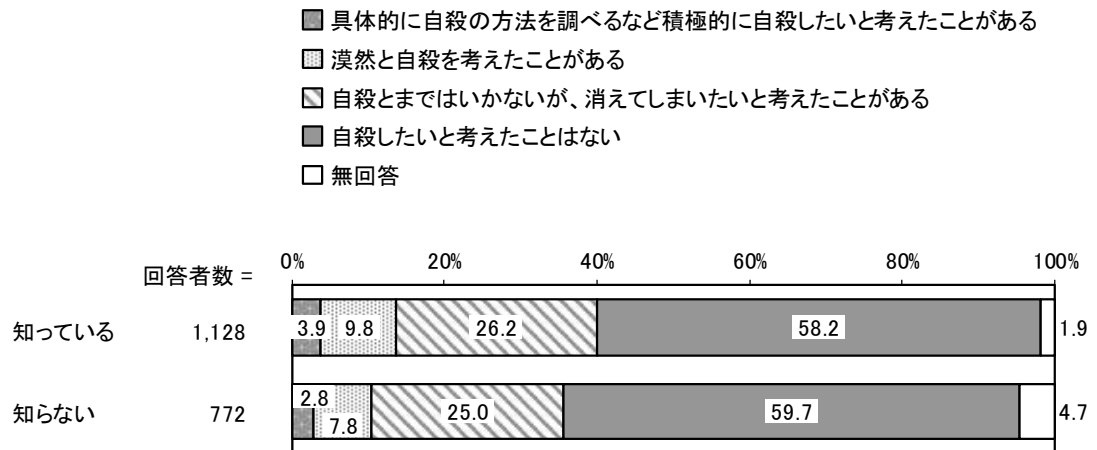
【悩み等の有無別】

悩み等の有無別でみると、他に比べ、大いにあったで「具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある」「漠然と自殺を考えたことがある」「自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」の割合が、まったくないで「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



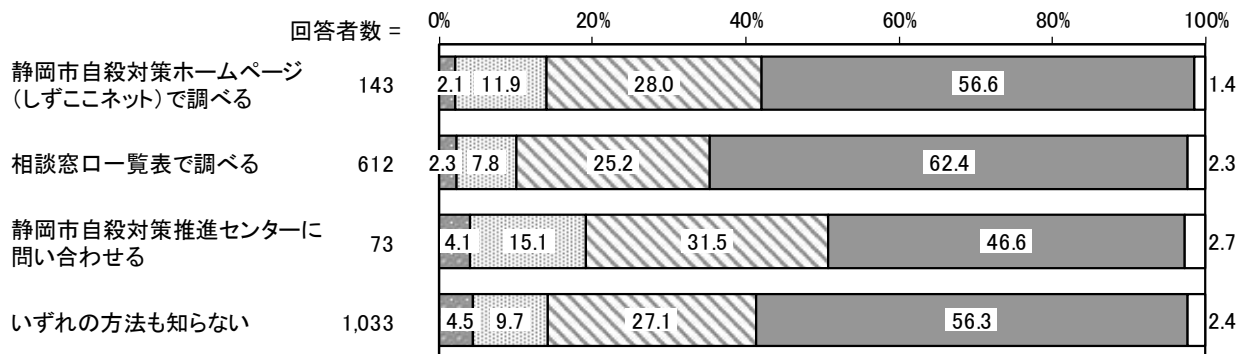
【相談機関の認知度別】

相談機関の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



【相談先の調べ方の認知度別】

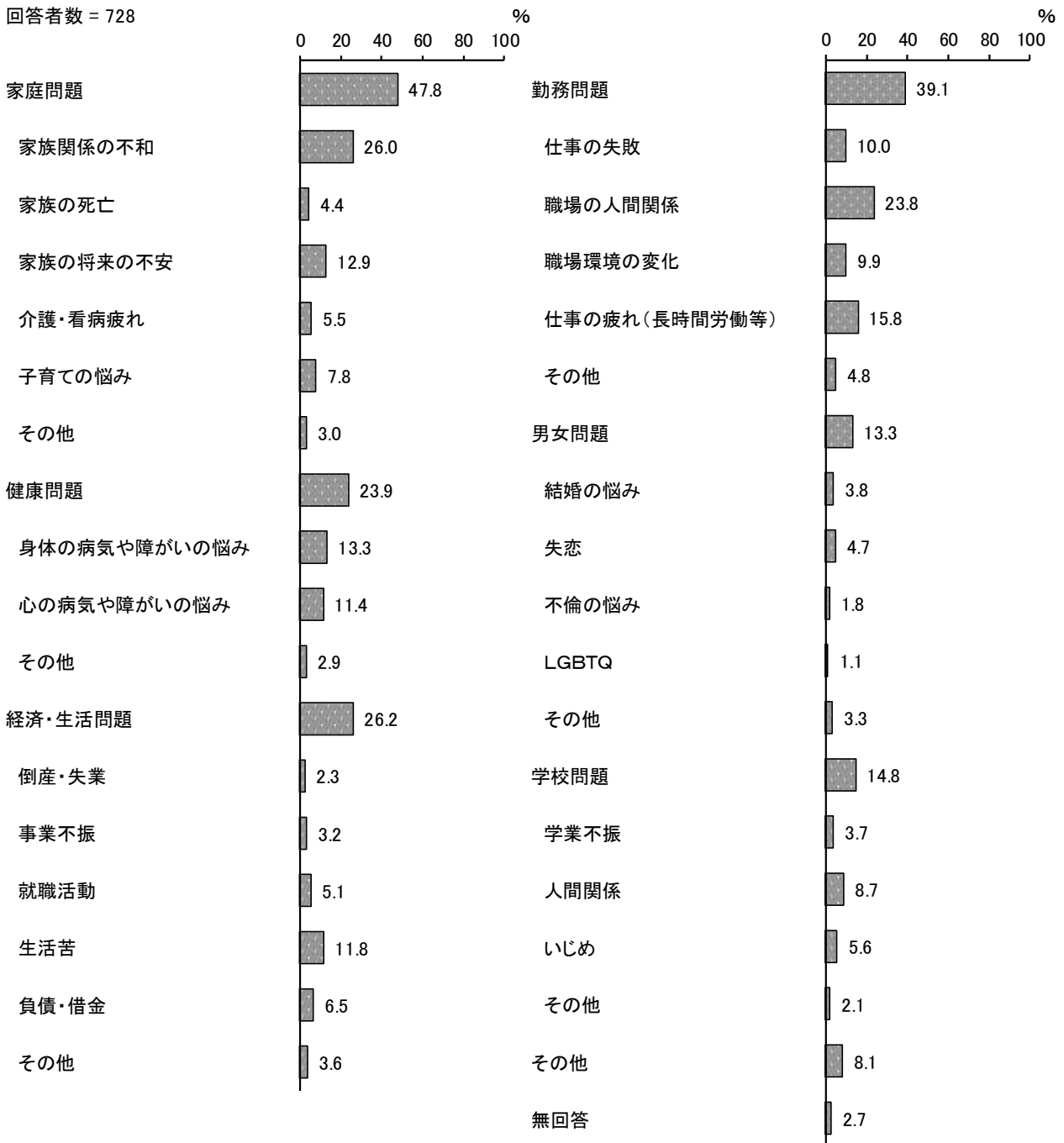
相談先の調べ方の認知度別でみると、他に比べ、静岡市自殺対策推進センターに問い合わせるで「漠然と自殺を考えたことがある」の割合が、相談窓口一覧表で調べるで「自殺したいと考えたことはない」の割合が高くなっています。



問9で「1. 具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがある」、「2. 漠然と自殺を考えたことがある」、「3. 自殺とまではいかないが、消えてしまいたいと考えたことがある」と答えた方にお聞きします。

問9-1 それは、どのような事柄が原因ですか。もし複数回ある場合は、最も最近のことについて回答してください。(あてはまるものすべてに○)

「家庭問題」の割合が47.8%と最も高く、次いで「勤務問題」の割合が39.1%、「経済・生活問題」の割合が26.2%となっています。



【性別・年齢別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族関係の不和」「子育ての悩み」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「家族関係の不和」の割合が、70歳以上で「健康問題」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭問題	家族関係の不和	家族の死亡	家族の将来の不安	介護・看病疲れ	子育ての悩み	その他	健康問題	身体の病気や障がいの悩み	心の病気や障がいの悩み	その他
合計	728	47.8	26.0	4.4	12.9	5.5	7.8	3.0	23.9	13.3	11.4	2.9
男性	270	31.1	17.0	2.2	10.0	2.6	1.9	2.6	22.6	15.2	10.7	2.2
女性	447	58.2	31.5	5.8	14.8	6.7	11.6	3.4	24.4	12.1	11.6	3.4
その他	7	28.6	14.3	—	—	14.3	—	—	42.9	14.3	28.6	—
20歳代	62	40.3	21.0	3.2	9.7	—	8.1	1.6	19.4	9.7	12.9	4.8
男性	13	7.7	7.7	—	—	—	—	—	7.7	7.7	7.7	7.7
女性	47	51.1	25.5	4.3	12.8	—	10.6	2.1	23.4	10.6	14.9	4.3
30歳代	124	46.8	18.5	2.4	19.4	0.8	14.5	1.6	20.2	8.9	14.5	3.2
男性	44	25.0	13.6	—	13.6	—	2.3	—	18.2	11.4	15.9	—
女性	78	60.3	21.8	3.8	23.1	1.3	21.8	2.6	20.5	7.7	12.8	5.1
40歳代	147	37.4	25.9	1.4	8.2	0.7	10.2	4.1	23.1	9.5	12.9	3.4
男性	58	22.4	19.0	—	3.4	—	3.4	1.7	12.1	3.4	8.6	1.7
女性	89	47.2	30.3	2.2	11.2	1.1	14.6	5.6	30.3	13.5	15.7	4.5
50歳代	156	53.2	33.3	5.8	16.0	4.5	4.5	1.9	16.0	7.1	10.3	1.3
男性	60	35.0	18.3	1.7	15.0	1.7	1.7	1.7	18.3	8.3	11.7	3.3
女性	94	66.0	43.6	8.5	17.0	6.4	6.4	2.1	13.8	6.4	8.5	—
60歳代	123	53.7	28.5	7.3	10.6	10.6	8.9	4.1	29.3	16.3	9.8	4.1
男性	43	32.6	18.6	4.7	2.3	4.7	2.3	4.7	25.6	14.0	9.3	4.7
女性	79	64.6	32.9	8.9	15.2	13.9	12.7	3.8	31.6	17.7	10.1	3.8
70歳以上	113	53.1	24.8	6.2	12.4	15.0	0.9	4.4	37.2	31.0	8.8	1.8
男性	51	47.1	17.6	5.9	17.6	7.8	—	5.9	45.1	43.1	9.8	—
女性	60	56.7	30.0	6.7	6.7	18.3	1.7	3.3	28.3	18.3	8.3	3.3

次ページへつづく

単位：％

区分	経済・生活問題	倒産・失業	事業不振	就職活動	生活苦	負債・借金	その他	勤務問題	仕事の失敗	職場の人間関係	職場環境の変化	仕事の疲れ（長時間労働等）	その他
合計	26.2	2.3	3.2	5.1	11.8	6.5	3.6	39.1	10.0	23.8	9.9	15.8	4.8
男性	30.4	3.7	6.3	5.6	10.0	8.9	2.6	53.7	15.9	26.3	13.7	24.4	7.0
女性	23.5	1.6	1.1	4.7	12.3	4.7	4.3	30.6	6.7	22.4	7.8	10.7	3.4
その他	28.6	—	14.3	14.3	28.6	14.3	—	28.6	—	28.6	—	14.3	—
20歳代	27.4	1.6	—	12.9	17.7	1.6	4.8	46.8	14.5	29.0	25.8	25.8	4.8
男性	15.4	7.7	—	7.7	15.4	—	—	38.5	7.7	30.8	23.1	30.8	7.7
女性	29.8	—	—	14.9	17.0	2.1	6.4	51.1	17.0	29.8	27.7	25.5	4.3
30歳代	22.6	1.6	0.8	7.3	12.1	3.2	3.2	45.2	17.7	30.6	8.1	21.8	4.0
男性	29.5	2.3	—	13.6	15.9	6.8	2.3	54.5	31.8	31.8	2.3	27.3	2.3
女性	17.9	1.3	1.3	2.6	9.0	1.3	3.8	39.7	10.3	29.5	11.5	17.9	5.1
40歳代	27.9	3.4	3.4	6.1	13.6	6.1	1.4	46.9	13.6	31.3	10.9	14.3	4.1
男性	31.0	6.9	6.9	8.6	6.9	5.2	1.7	70.7	24.1	37.9	15.5	25.9	8.6
女性	25.8	1.1	1.1	4.5	18.0	6.7	1.1	31.5	6.7	27.0	7.9	6.7	1.1
50歳代	25.0	3.8	5.8	4.5	8.3	8.3	3.8	46.8	8.3	29.5	10.3	21.2	3.8
男性	28.3	6.7	10.0	1.7	6.7	13.3	1.7	70.0	13.3	35.0	20.0	40.0	10.0
女性	22.3	2.1	2.1	6.4	8.5	4.3	5.3	33.0	5.3	26.6	4.3	9.6	—
60歳代	26.8	1.6	2.4	1.6	10.6	8.9	4.1	30.1	4.9	16.3	7.3	8.9	7.3
男性	32.6	—	7.0	2.3	4.7	11.6	4.7	41.9	7.0	14.0	18.6	14.0	7.0
女性	24.1	2.5	—	1.3	13.9	7.6	3.8	22.8	3.8	16.5	1.3	6.3	7.6
70歳以上	29.2	0.9	4.4	1.8	12.4	8.0	5.3	17.7	2.7	4.4	3.5	6.2	5.3
男性	35.3	—	7.8	2.0	15.7	9.8	3.9	27.5	5.9	7.8	5.9	9.8	5.9
女性	23.3	1.7	1.7	1.7	8.3	5.0	6.7	8.3	—	1.7	1.7	3.3	3.3

次ページへつづく

単位：%

区分	男女問題	結婚の悩み	失恋	不倫の悩み	LGBTQ	その他	学校問題	学業不振	人間関係	いじめ	その他	その他	無回答
合計	13.3	3.8	4.7	1.8	1.1	3.3	14.8	3.7	8.7	5.6	2.1	8.1	2.7
男性	12.2	3.0	5.6	0.7	1.9	3.3	10.7	3.3	4.4	4.4	2.6	4.4	2.6
女性	13.6	4.5	4.0	2.5	0.4	2.9	17.0	3.6	11.0	6.3	1.3	10.1	2.9
その他	14.3	—	14.3	—	14.3	—	28.6	28.6	28.6	—	28.6	28.6	—
20歳代	9.7	—	—	1.6	4.8	3.2	43.5	17.7	27.4	14.5	8.1	11.3	—
男性	15.4	—	—	—	15.4	—	38.5	23.1	7.7	7.7	15.4	15.4	—
女性	6.4	—	—	2.1	2.1	2.1	44.7	14.9	31.9	17.0	4.3	10.6	—
30歳代	18.5	7.3	9.7	—	0.8	4.8	21.8	8.1	14.5	8.1	2.4	5.6	2.4
男性	22.7	4.5	15.9	—	—	9.1	18.2	9.1	11.4	4.5	4.5	2.3	2.3
女性	15.4	9.0	5.1	—	—	2.6	23.1	6.4	15.4	10.3	—	6.4	2.6
40歳代	12.9	6.8	4.1	2.7	—	2.0	15.0	1.4	10.2	5.4	2.0	9.5	3.4
男性	8.6	5.2	3.4	1.7	—	—	12.1	1.7	6.9	8.6	1.7	3.4	3.4
女性	15.7	7.9	4.5	3.4	—	3.4	16.9	1.1	12.4	3.4	2.2	13.5	3.4
50歳代	16.0	3.2	7.1	2.6	1.3	3.2	15.4	1.9	6.4	7.1	1.9	6.4	0.6
男性	13.3	3.3	6.7	—	3.3	1.7	8.3	—	1.7	5.0	1.7	—	—
女性	18.1	3.2	7.4	4.3	—	4.3	20.2	3.2	9.6	8.5	2.1	9.6	1.1
60歳代	11.4	1.6	1.6	2.4	1.6	3.3	4.1	0.8	1.6	1.6	—	8.9	0.8
男性	11.6	—	2.3	2.3	2.3	7.0	7.0	2.3	2.3	2.3	—	9.3	—
女性	11.4	2.5	1.3	2.5	1.3	1.3	2.5	—	1.3	1.3	—	8.9	1.3
70歳以上	8.8	1.8	2.7	0.9	—	3.5	1.8	—	0.9	—	0.9	8.8	8.8
男性	5.9	2.0	2.0	—	—	2.0	2.0	—	—	—	2.0	5.9	7.8
女性	10.0	1.7	3.3	1.7	—	3.3	1.7	—	1.7	—	—	11.7	10.0

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、年金等生活者で「介護・看病疲れ」の割合が、被雇用者・勤め人の非正規職員で「子育ての悩み」の割合が高くなっています。また、生活保護受給者で「身体の病気や障がいの悩み」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭問題	家族関係の不和	家族の死亡	家族の将来の不安	介護・看病疲れ	子育ての悩み	その他	健康問題	身体の病気や障がいの悩み	心の病気や障がいの悩み	その他
有職者	486	45.7	26.1	3.9	13.2	3.1	8.0	2.5	19.8	9.5	10.3	2.7
自営業・家族従事者等	52	55.8	23.1	3.8	19.2	5.8	9.6	3.8	25.0	15.4	9.6	—
被雇用者・勤め人	396	44.2	26.8	3.8	12.1	3.0	8.1	2.3	19.4	9.1	10.4	3.0
会社役員	28	35.7	32.1	—	7.1	3.6	10.7	—	28.6	10.7	17.9	—
正規職員(管理職級)	43	37.2	16.3	2.3	11.6	—	4.7	7.0	16.3	4.7	11.6	2.3
正規職員(一般職員級)	210	36.7	21.0	2.4	10.0	2.9	5.2	1.4	18.6	9.5	9.0	4.3
非正規職員	113	62.8	40.7	8.0	17.7	4.4	14.2	2.7	20.4	9.7	10.6	1.8
公務員	38	47.4	23.7	5.3	15.8	—	5.3	2.6	15.8	5.3	10.5	2.6
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	4	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
正規職員(一般職員級)	24	45.8	20.8	4.2	12.5	—	4.2	—	16.7	8.3	12.5	—
非正規職員	10	60.0	30.0	10.0	30.0	—	10.0	10.0	20.0	—	10.0	10.0
無職者	224	53.1	26.8	5.8	12.5	10.7	6.7	4.5	32.6	21.4	13.4	3.1
学生・生徒等	10	50.0	20.0	10.0	10.0	—	—	—	10.0	—	10.0	—
無職	208	53.4	26.9	5.8	12.5	11.5	7.2	4.8	33.7	22.1	13.5	3.4
失業者	13	38.5	30.8	—	7.7	7.7	—	7.7	46.2	15.4	38.5	15.4
年金等生活者	86	46.5	14.0	7.0	15.1	16.3	3.5	5.8	34.9	27.9	9.3	2.3
配当・家賃等生活者	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生活保護受給者	10	40.0	20.0	—	10.0	—	10.0	10.0	50.0	30.0	20.0	—
主婦・主夫	87	64.4	36.8	6.9	11.5	9.2	12.6	3.4	26.4	14.9	10.3	3.4
その他無職者	9	66.7	66.7	—	11.1	11.1	—	—	66.7	44.4	44.4	—
その他	8	25.0	12.5	—	—	—	25.0	—	25.0	25.0	12.5	—

次ページへつづく

単位：%

区分	回答者数(件)	経済・生活問題	倒産・失業	事業不振	就職活動	生活苦	負債・借金	その他	勤務問題	仕事の失敗	職場の人間関係	職場環境の変化	仕事の疲れ(長時間労働等)	その他
有職者	486	25.1	2.7	4.5	4.9	9.3	7.6	3.5	47.9	12.3	29.4	12.3	19.5	4.9
自営業・家族従事者等	52	32.7	—	15.4	—	9.6	15.4	3.8	28.8	1.9	13.5	5.8	17.3	5.8
被雇用者・勤め人	396	25.5	3.3	3.5	5.8	9.6	7.1	3.8	50.0	13.1	30.8	12.9	20.2	5.3
会社役員	28	35.7	3.6	17.9	—	7.1	17.9	3.6	53.6	7.1	32.1	17.9	14.3	7.1
正規職員(管理職級)	43	20.9	—	—	4.7	7.0	4.7	7.0	65.1	20.9	30.2	18.6	37.2	9.3
正規職員(一般職員級)	210	24.3	3.8	3.3	6.2	7.6	6.7	3.3	54.8	14.8	35.2	12.9	23.8	6.2
非正規職員	113	26.5	3.5	1.8	7.1	15.0	6.2	3.5	34.5	8.8	23.0	9.7	8.8	1.8
公務員	38	10.5	—	—	2.6	5.3	2.6	—	52.6	18.4	36.8	15.8	15.8	—
公選職員(議員等)・正規職員(管理職級)	4	—	—	—	—	—	—	—	75.0	25.0	50.0	25.0	50.0	—
正規職員(一般職員級)	24	8.3	—	—	4.2	—	4.2	—	54.2	20.8	41.7	16.7	12.5	—
非正規職員	10	20.0	—	—	—	20.0	—	—	40.0	10.0	20.0	10.0	10.0	—
無職者	224	28.6	1.8	0.4	5.4	16.1	4.5	4.0	21.0	5.4	11.6	4.9	8.0	4.9
学生・生徒等	10	40.0	—	—	20.0	20.0	—	—	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	—
無職	208	28.4	1.9	0.5	4.3	16.3	4.8	4.3	21.2	4.8	11.1	4.3	8.2	5.3
失業者	13	53.8	15.4	—	30.8	30.8	—	—	61.5	30.8	38.5	15.4	15.4	15.4
年金等生活者	86	25.6	1.2	1.2	3.5	15.1	4.7	3.5	20.9	3.5	7.0	4.7	10.5	3.5
配当・家賃等生活者	3	33.3	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—	33.3	—	33.3	—
生活保護受給者	10	90.0	—	—	—	50.0	20.0	20.0	10.0	—	—	—	—	10.0
主婦・主夫	87	19.5	1.1	—	2.3	10.3	2.3	4.6	14.9	3.4	10.3	3.4	3.4	4.6
その他無職者	9	33.3	—	—	—	33.3	11.1	—	33.3	—	22.2	—	22.2	11.1
その他	8	12.5	—	—	—	12.5	—	—	25.0	—	25.0	—	—	—

次ページへつづく

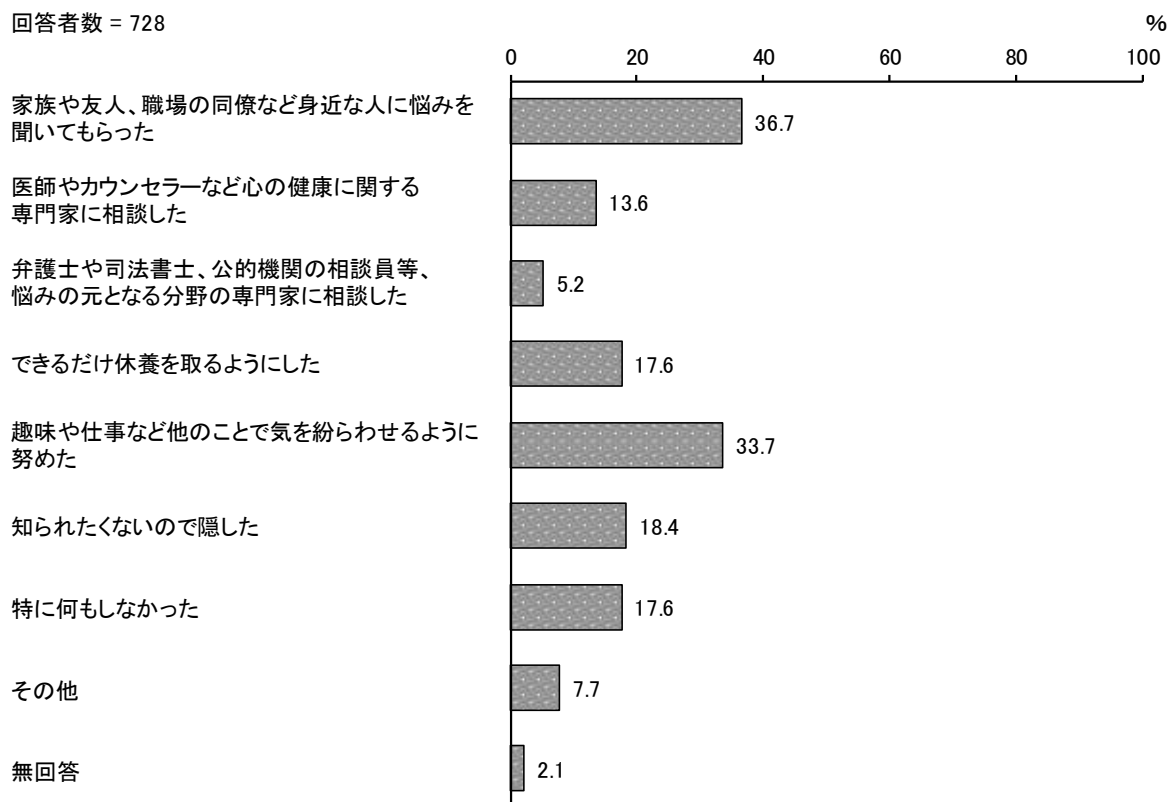
単位：%

区分	回答者数 (件)	男女問題	結婚の 悩み	失恋	不倫の 悩み	L G B T Q	その他	学校問題	学業不振	人間関係	いじめ	その他	その他	無回答
有職者	486	13.6	4.5	5.3	1.4	1.0	2.9	15.0	3.1	8.8	6.4	2.1	5.8	2.3
自営業・家族従事者等	52	3.8	—	—	1.9	1.9	—	13.5	1.9	5.8	5.8	1.9	3.8	5.8
被雇用者・勤め人	396	14.6	5.1	6.3	1.5	1.0	3.0	15.2	2.8	9.3	6.6	2.0	6.3	2.0
会社役員	28	7.1	—	—	—	—	7.1	7.1	—	3.6	3.6	—	10.7	—
正規職員(管理職級)	43	—	—	—	—	—	—	9.3	2.3	7.0	2.3	—	4.7	2.3
正規職員(一般職員級)	210	16.2	6.2	7.6	2.4	1.4	2.9	16.2	3.8	9.5	7.1	2.9	6.2	1.9
非正規職員	113	19.5	6.2	8.0	0.9	0.9	3.5	17.7	1.8	11.5	8.0	1.8	6.2	2.7
公務員	38	15.8	5.3	2.6	—	—	5.3	15.8	7.9	7.9	5.3	2.6	2.6	—
公選職員(議員等) ・正規職員(管理職級)	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
正規職員(一般職員級)	24	12.5	—	4.2	—	—	8.3	25.0	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	—
非正規職員	10	30.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無職者	224	12.5	2.7	2.7	2.2	1.3	4.5	13.8	4.9	8.0	3.1	2.2	12.9	3.6
学生・生徒等	10	—	—	—	—	—	—	70.0	60.0	30.0	—	10.0	20.0	—
無職	208	13.0	2.9	2.4	2.4	1.4	4.8	11.1	2.4	7.2	2.9	1.9	13.0	3.8
失業者	13	30.8	—	7.7	7.7	7.7	7.7	30.8	7.7	15.4	23.1	—	7.7	7.7
年金等生活者	86	8.1	2.3	2.3	1.2	1.2	2.3	4.7	2.3	2.3	—	2.3	12.8	5.8
配当・家賃等生活者	3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—
生活保護受給者	10	50.0	—	10.0	—	10.0	20.0	20.0	—	10.0	—	10.0	10.0	—
主婦・主夫	87	10.3	4.6	—	3.4	—	4.6	13.8	2.3	11.5	2.3	1.1	12.6	2.3
その他無職者	9	11.1	—	—	—	—	11.1	11.1	—	—	11.1	—	22.2	—
その他	8	12.5	—	12.5	—	—	—	25.0	12.5	25.0	12.5	—	12.5	—

問9-2 そのように考えたとき、どのように対処しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

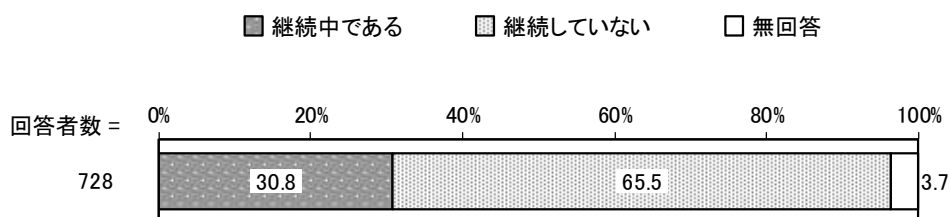
「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」の割合が36.7%と最も高く、次いで「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」の割合が33.7%、「知られたくないので隠した」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 728



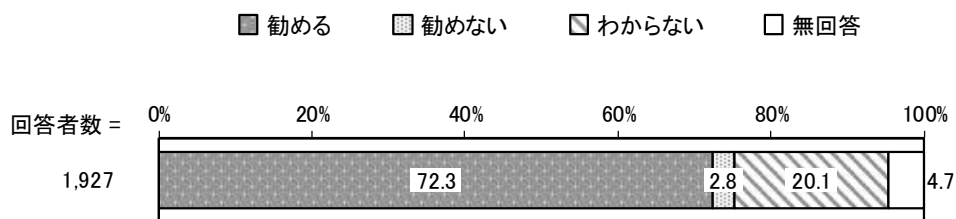
問9-3 その問題は、現在も継続中ですか。(1つに○)

「継続中である」の割合が30.8%、「継続していない」の割合が65.5%となっています。



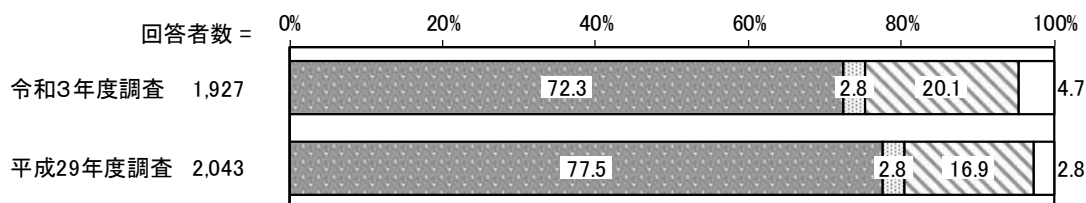
問 10 もし仮に、あなたが、あなたの家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、医療機関へ相談することを勧めますか。(1つに○)

「勧める」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.1%となっています。



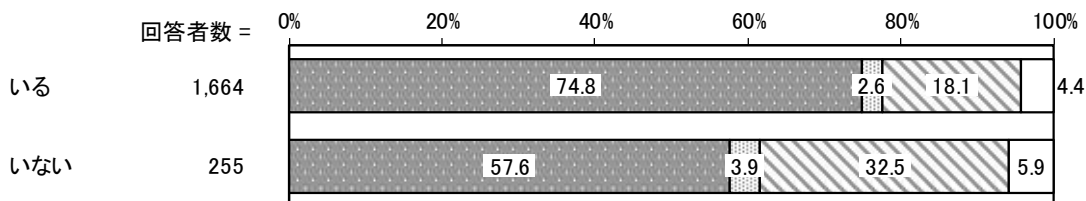
【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「勧める」の割合が減少しています。



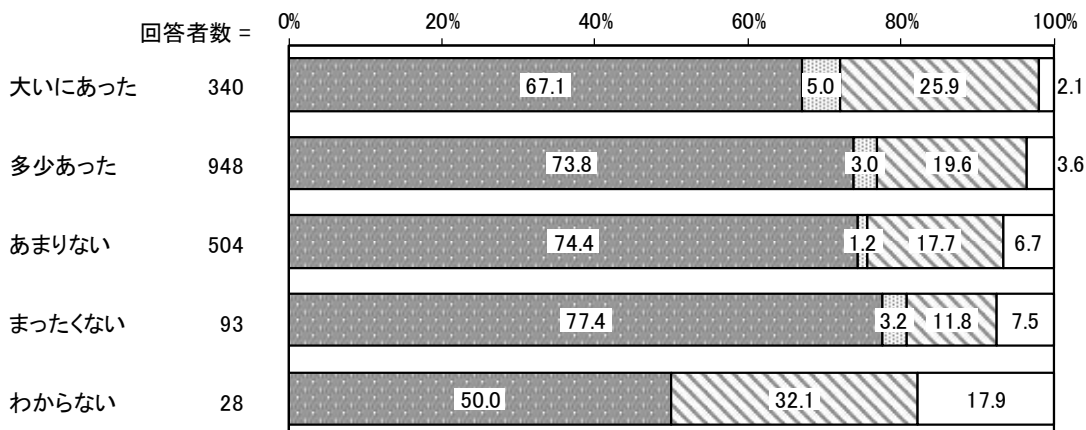
【相談できる相手の有無別】

相談できる相手の有無別で見ると、他に比べ、いるで「勧める」の割合が、いないで「わからない」の割合が高くなっています。



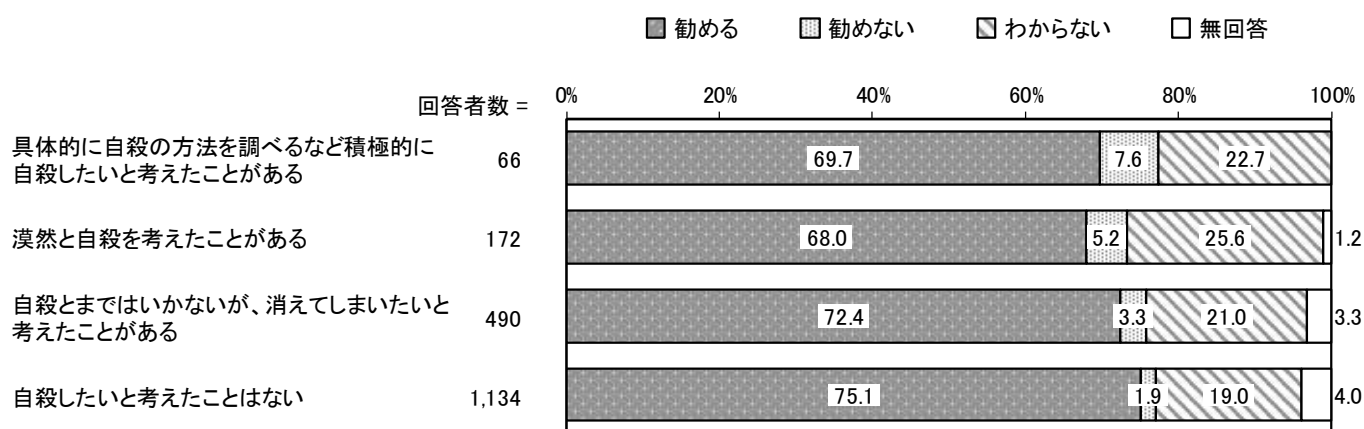
【悩み等の有無別】

悩み等の有無別で見ると、他に比べ、まったくないで「勧める」の割合が高くなっています。



【自殺を考えたことがあるか別】

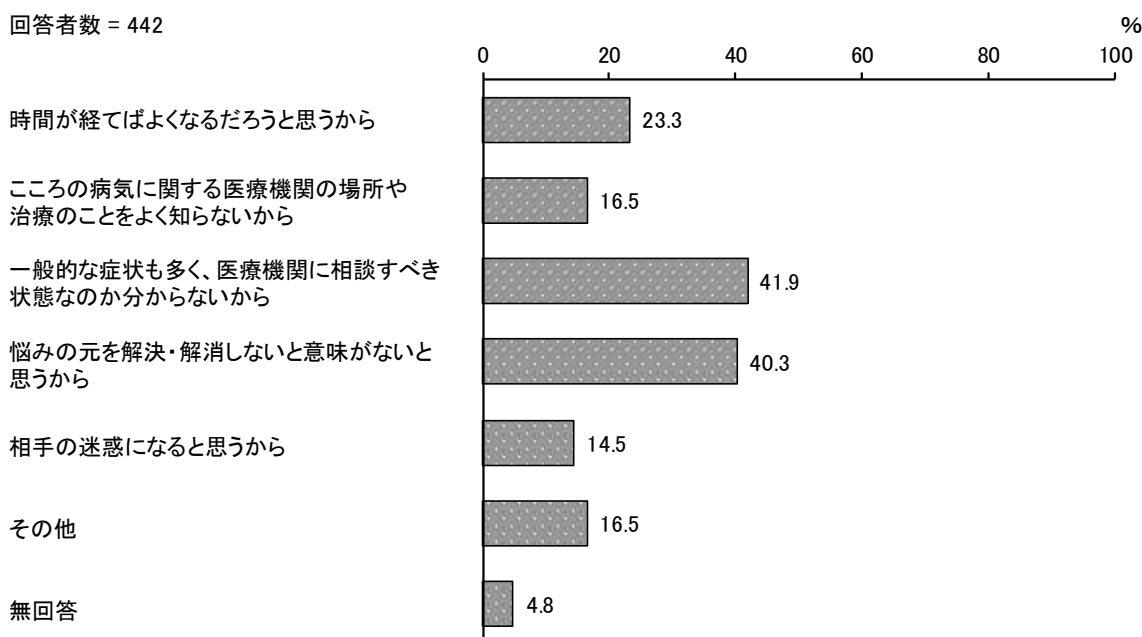
自殺を考えたことがあるか別でみると、他に比べ、漠然と自殺を考えたことがあるで「わからない」の割合が、自殺したいと考えたことはないで「勧める」の割合が高くなっています。



問 10 で「2. 勧めない」、「3. わからない」と答えた方にお聞きします。

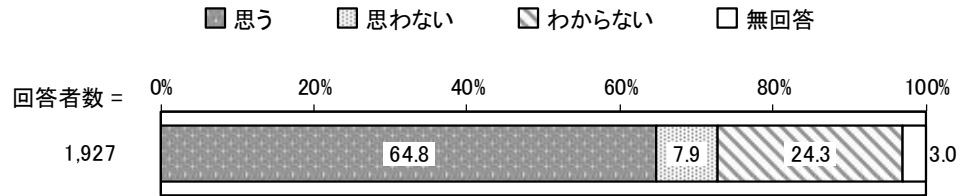
問 10-1 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「一般的な症状も多く、医療機関に相談すべき状態なのか分からないから」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「悩みの元を解決・解消しないと意味がないと思うから」の割合が 40.3%、「時間が経てばよくなるだろうと思うから」の割合が 23.3%となっています。



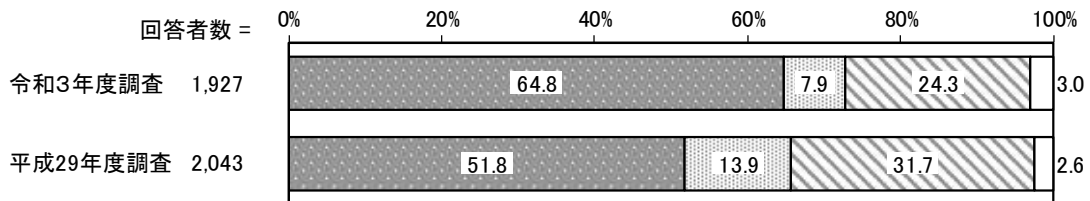
問 11 もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、または、あなたの家族など身近な人から医療機関へ相談することを勧められたとき、医療機関へ相談しに行こうと思いますか。(1つに○)

「思う」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.3%となっています。



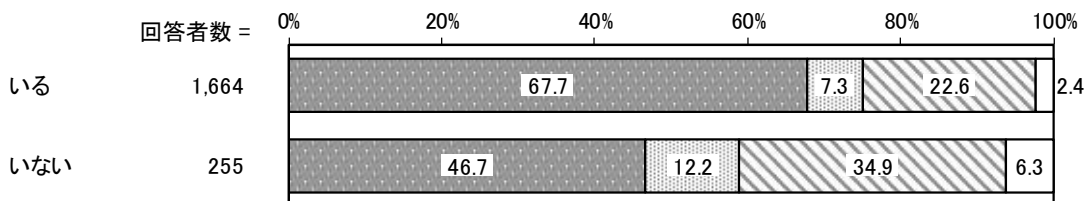
【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」「わからない」の割合が減少しています。



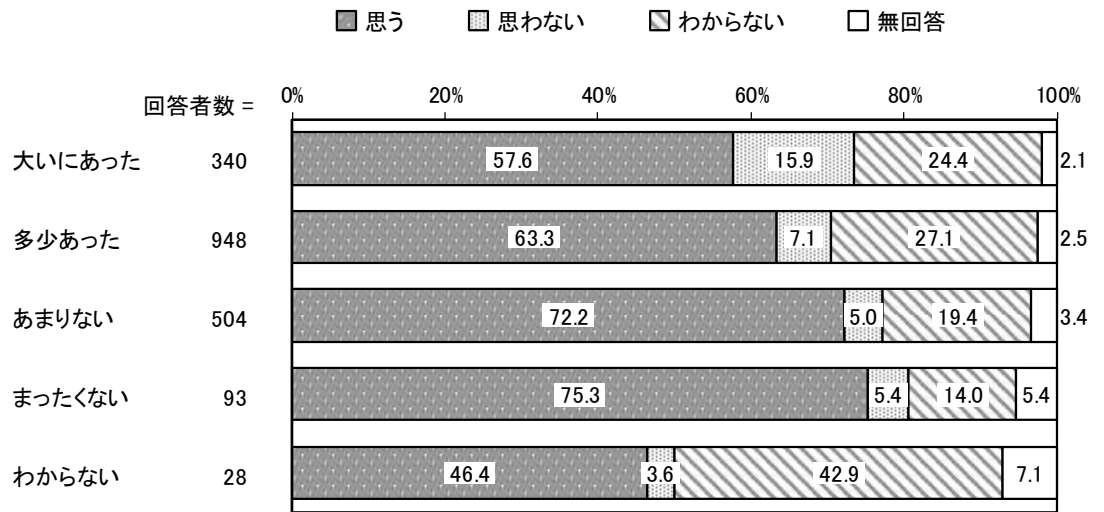
【相談できる相手の有無別】

相談できる相手の有無別でみると、他に比べ、いるで「思う」の割合が、いないで「わからない」の割合が高くなっています。



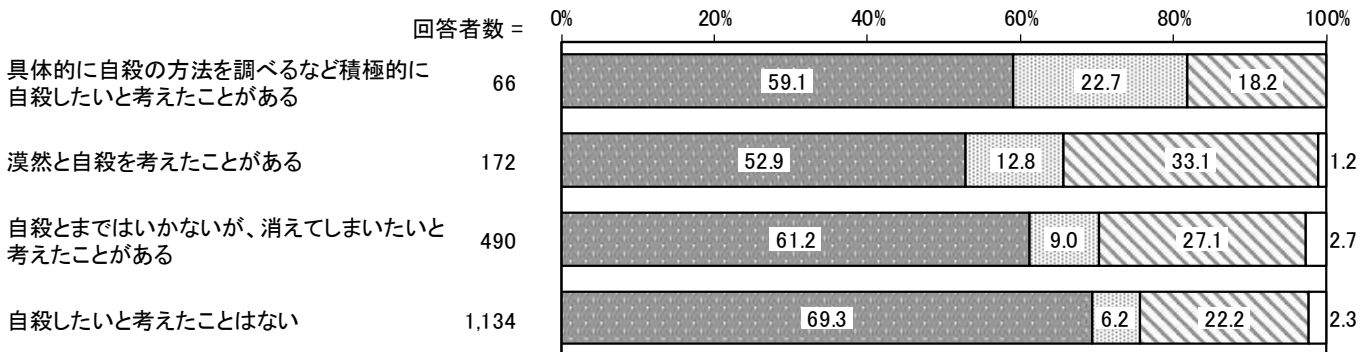
【悩み等の有無別】

悩み等の有無別で見ると、他に比べ、大いにあったで「思わない」の割合が、あまりない、まったくなくて「思う」の割合が高くなっています。



【自殺を考えたことがあるか別】

自殺を考えたことがあるか別で見ると、他に比べ、具体的に自殺の方法を調べるなど積極的に自殺したいと考えたことがあるで「思わない」の割合が、漠然と自殺を考えたことがあるで「わからない」の割合が高くなっています。また、自殺したいと考えたことはないで「思う」の割合が高くなっています。

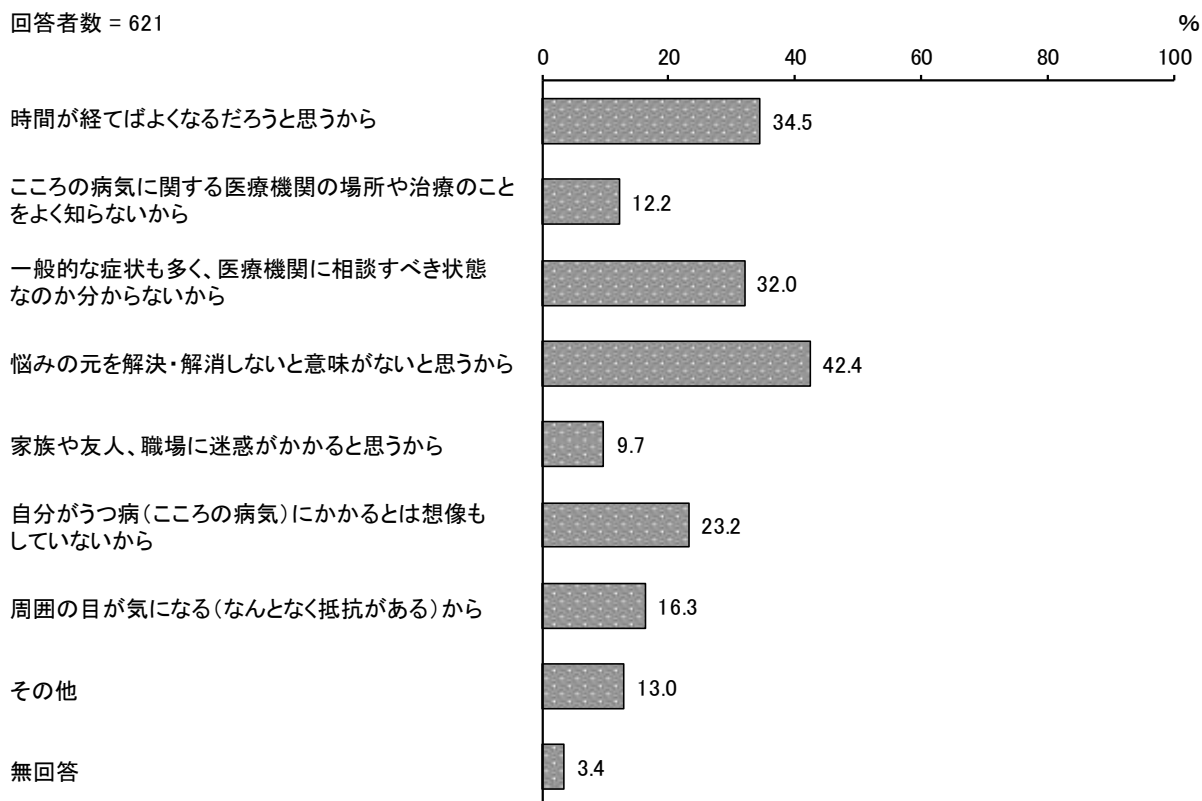


問 11 で「2. 思わない」「3. わからない」と答えた方にお聞きします。

問 11-1 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「悩みの元を解決・解消しないと意味がないと思うから」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「時間が経てばよくなるだろうと思うから」の割合が 34.5%、「一般的な症状も多く、医療機関に相談すべき状態なのか分からないから」の割合が 32.0%となっています。

回答者数 = 621

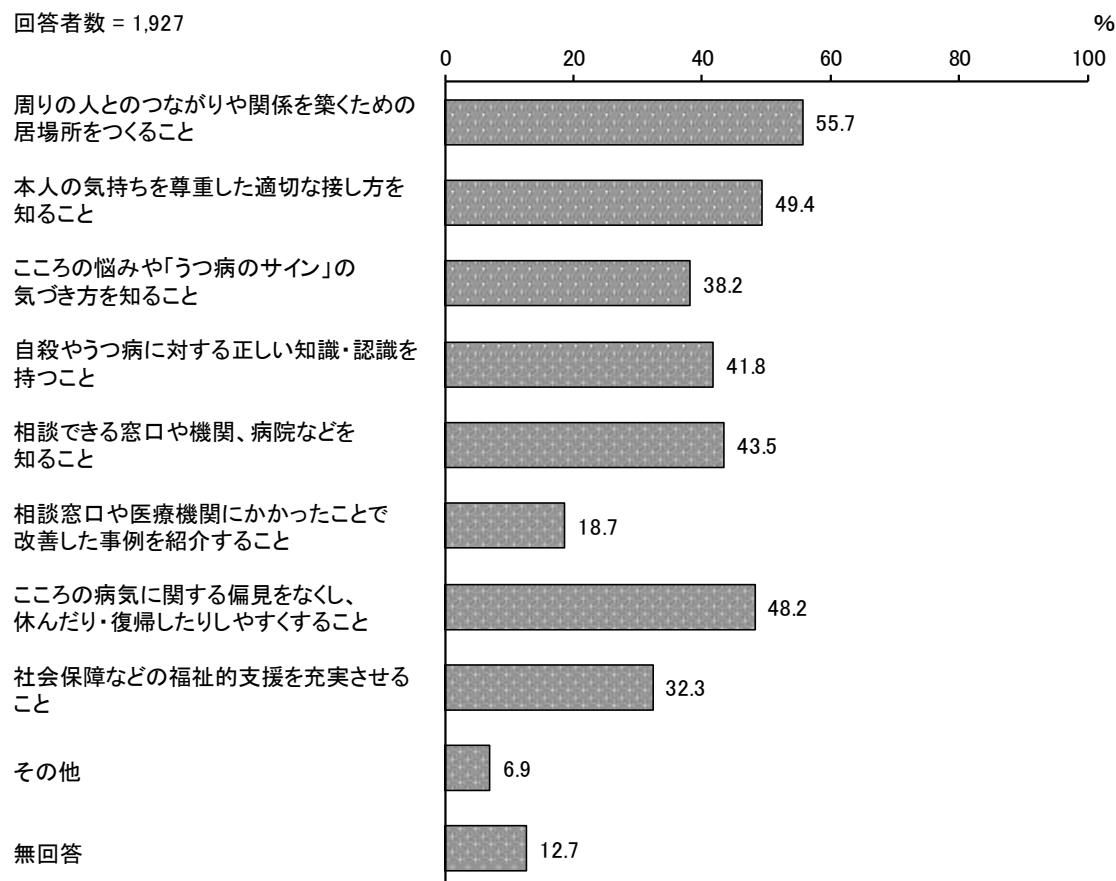


(5) 本市自殺対策に必要な取組等について

問 12 自殺は、その多くは様々な悩みが原因で心理的に追い詰められ、自殺以外の選択肢が考えられない状態に陥ること等による「追い込まれた末の死」であると言われて
ています。あなたは、自殺で亡くなる方を減らすために何が必要だと思いませんか。
(あてはまるものすべてに○)

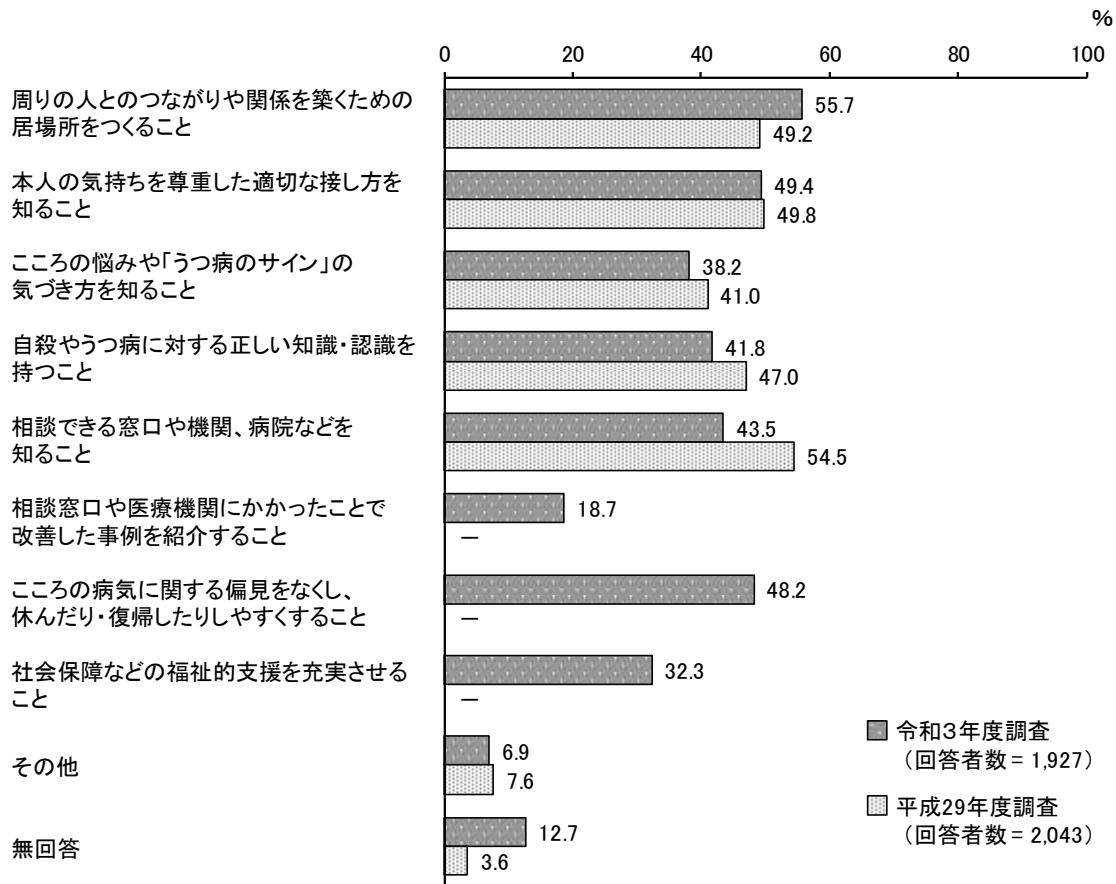
「周りの人とのつながりや関係を築くための居場所をつくること」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「本人の気持ちを尊重した適切な接し方を知ること」の割合が 49.4%、「こころの病気に関する偏見をなくし、休んだり・復帰したりしやすくすること」の割合が 48.2%となっています。

回答者数 = 1,927



【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「周りの人とのつながりや関係を築くための居場所をつくること」の割合が増加しています。一方、「自殺やうつ病に対する正しい知識・認識を持つこと」「相談できる窓口や機関、病院などを知ること」の割合が減少しています。



※平成 29 年度調査に「相談窓口や医療機関にかかったことで改善した事例を紹介すること」「こころの病気に関する偏見をなくし、休んだり・復帰したりしやすくすること」「社会保障などの福祉的支援を充実させること」の選択肢はありませんでした。

令和3年度 静岡市
自殺対策に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和4年3月発行
静岡市保健福祉長寿局 保健衛生医療部
保健所 精神保健福祉課
静岡市葵区城東町24番1号
TEL 054-249-3179